

Title	旧鈔本趙注孟子校記(一)
Sub Title	
Author	高橋, 智(Takahashi, Satoshi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1989
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.24 (1989.) ,p.277- 365
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000024-0277

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

旧鈔本趙注孟子校記(一)

高 橋 智

前 言

後漢の趙岐(？)建安六年)注する「趙注孟子」一四巻の文献整理は、日本の山井鼎(元禄三年)享保一三年)が「七経孟子考文」を、荻生徂徠(寛文六年)享保一三年)が「補遺」を撰じて諸本の校合整理を示して以来、清の阮元(乾隆二九年)道光二九年)により「孟子注疏校勘記」が編定され、その後出現した最良の善本とされる宋刊「孟子趙注」(四部叢刊所収)について、近人孟森による「宋槧大字本孟子校記」(国立北平図書館刊第九巻第四号)に於いて詳細に行なわれた。論考には

小林俊雄氏「四部叢刊本孟子源流考」(支那学研究二四号・二五号)がある。翻って日本に流伝するテキストに関する研究は、足利衍述、阿部隆一、井上順理氏等により、儒教受容の思想史研究の側面からの「孟子」講読の形態と意義を討究され、校勘学的側面から、小林俊雄氏「清家本孟子テキスト考」(日本中国学会報三二号)が著されるなどの成果がみられた。

テキストの伝流は、刊本を主とする中国と、鈔本を主とする室町以前の日本とで、両様のことであるから、その成立過程か

らよりて生ずる問題には質を異にする点が多々あり、日本の旧鈔本の文献的意義は、中国刊本との関係、旧鈔本それぞれの相互の関係など、縦横に錯綜する相関が想定され、それを正確に解明することは殆んど困難に属し、従つて旧鈔本が作られる際に依拠した本と比較勘定に用いた本との間に横たわる空間を検討するには、更に充全なる基礎的な校勘作業を前提としなければならぬ。とり分け、現在の日本の旧鈔本については、本文の研究は未だ全般に亘る総合的結果をみるに至っていない。今回の試みは、日本伝存の旧鈔本の調査に基づいて、校勘作業の第一歩を試みたものである。伝存旧鈔本については、清家の本文の研究と享受は抜きんでるものの、同時に清家本以外の旧鈔本も

引 扱 各 本 略 解

広隆寺本

斯道文庫蔵 孟子一四卷 漢趙〔岐〕注〔南北朝室町初問〕

写 五冊

標色表紙二四×一九糎。左肩に朱筆にて「孟子一二（以下冊順に、三四五、六七八、九十一、十二三十四）」と。古書肆

無視しえない。本号に掲げる校異は、清家本以外の旧鈔本についてのものである。ついで次回に於いて、更に清家旧鈔本をあわせて校異の対象とし、日本旧鈔本の本文研究の第一次の指標とすることを存念しているものである。ともあれ、数多の思想学的背景を持つ課題を包含する旧鈔本の第一次の基礎整理作業は、実物の徹底調査と、でき得る限り恣意をさしはさまぬ愚直なる異同の校合が必要不可欠であることは言うまでもなく、よつてここに非才を顧みず、作業に及んだ次第である。

尚、旧鈔本の調査研究の基盤は全て阿部隆一博士の遺業に係るものであり、実物調査に御理解を賜った諸機関に対しては深甚なる謝意を表するものである。

のものと思われる覚書が一枚あり「題籤掖齋書」と言う。収納する桐箱には「孟子／古槧本」と墨書の貼り紙があり、蓋の裏に「三井家聴水／閣攷藏之記」の朱印あり。無辺無界。每半葉七行一六字注小字双行。字面高さ約二〇糎。寄合書か。巻一のみ「章題注」を附し、「章指」は備えない。附訓、返り点、送

りがな、縦点、校合注、音注、解注を墨筆にて、句点、ヲエト点、各章の始まりを示す点を朱筆にて書入れる。異体字が極めて多い。料紙は斐楮交漉紙。総裏打。袋綴。小口に「孟子木（以下冊順に火、土、金、水）」と墨書す。毎冊首に「校齋」「北本蔵」「安田文庫」（共に朱文）、毎冊尾に「広隆寺／摠持院」（朱文）の蔵印あり。眉上の書入れは、朱熹「集注」からの引用が全巻に亘り、巻一までは「正義」「解」をも頻繁に引用する。題辭については専ら「正義」「解」「句解」を引用書入れる。「経籍訪古志」著録。「斯道文庫創立十周年近蒐善本展観目録」（昭和四五年）「慶応義塾大学所蔵漢籍古鈔本展観書目録」（昭和三八年）へ共に阿部隆一博士編著録。「本邦中世ま孟子受容史の研究」（井上順理博士著・昭和四七年・風間書房）に解題がある。

元良本

東洋文庫蔵 孟子一四卷 漢趙岐注 [室町後期] 写
七冊

収納する桐箱に「古鈔本孟子」と墨書。後補褐色表紙二四・三×一四・三糎。中央左よりに「孟子一之一（以下十三之十四迄）」と墨書。いずれも本文とは手を異にする墨書。原表紙は

本文共紙表紙。袋綴。第一冊は右肩に「石氏輯録」、第二冊は右肩に「有浩然氣／有四端／在四篇下」、左肩に「孟子二三之四」、第四冊は左肩に「孟子四七之八」、第五冊左肩に「孟子五九之十」、第六冊は右肩に「有杞柳文」、左肩に「孟子六十一之十二」、第七冊は左肩に「孟子七十三之十四」と墨書。「孟子題辭」が九葉あり、第九葉裏に「丁公著案漢書趙岐本伝云……嘗仕州郡以廉直疾惡見憚焉」と趙岐本伝の一部分を引くが、孫奭「孟子音義」中に丁公著が援引する本伝とは異なる部分である。内題「孟子卷第一」の下に後手にて「音注本／後漢太常趙岐邠卿注」とあり、音注本が校合に使われたことがわかる。無辺無界毎半葉五行一四字注小字双行。字面高さ約一八・五糎。料紙は楮紙。墨筆による附訓、返り点、送りがな、縦点、校合、音注、声点があり、朱筆による朱引、句点、ヲエト点、附訓、返り点、送りがな、縦点、合点、校字、音注がある。朱墨筆ともに数手による。柱に「孟子序之一丁」などと墨筆による丁付がある。小口に左から「一孟二」などと墨書する。眉上や巻頭末の空欄を利用して、章題注、章指を書入れ、朱熹「集注」・「四書輯釈」（元倪士毅撰）・「大広益会玉篇」・孫奭「孟子音義」を引用し、又音注本から音注を抜抄する。全て墨書により、朱書によって合点

や句点、訓点が附される所もある。この書入れもさして時代差をみぬ数蹟からなる。卷十四の尾題の後に「孟子篇叙」が本文とは異なる手によって加えられる。「孟子篇叙」が終わり、卷十四最後葉裏左下に「元良」と署名がある。従って釈元良の所持本であったことが知れるが、釈元良がこの書の筆写書入れに如何なる関わりがあつたかは不明に属する。近人の手になる覚書が附されてあり言う。「顕伝明名録元ノ部／元良 南禅寺金地院巢雲」又一葉に言う。「名家全書／僧元良／名元良字最岳巢雲ト号ス／大興禅師ヲ賜フ」各冊首に双辺朱文印「大□院」、各冊末に朱文印「雲邨文庫」、第一冊後補表紙裏に「鐵太」朱文印あり。他本との異同、広隆寺本と似たる所多し。「岩崎文庫貴重書書誌解題稿(三)」(「東洋文庫書報」第一八号)所載。「孟子受容史の研究」所載。

伊佐早本

斯道文庫蔵 孟子一四卷 漢趙(岐)注 (室町末近世初問)写 七冊

栗皮表紙二七・七×二〇・一糎。青色題簽に「古写趙注孟子一(至七)」と墨書(本文と同手)。袋綴。「孟子卷第一」と題する。「孟子題辭」が八葉あり、九葉目に本文巻頭がくる。「章題注」

を有し、「章指」は卷一四「孟子曰逃墨必歸於楊」章から以下に存す。「孟子篇叙」は附さない。単辺有界、每半葉六行一三字注小字双行(界は七行に区切るが、のどの部分一行は未用)。内界(六行分)二〇・四五×一五・五糎。界幅二・六糎。墨筆により附訓、送りがな、返り点、縦点、校字、解注、音注を書き入れ、朱筆にて句点、朱引(一、□二種)を入れる。墨・朱ともに本文と一筆である。料紙は楮紙。卷四に錯叙あり。異同によれば、注疏本に近いが、なお複雑な由来を持つ。每冊首に「伊佐早兼／古書之宝」「米沢藏書」「安田文庫」朱文印記あり。「慶応義塾大学所蔵漢籍古鈔本展観書目録」「斯道文庫創立十周年近蒐善本展観書目録」所載。「孟子受容史の研究」に解題あり。

養安院本

台北故宮博物院蔵 孟子存卷一至四 漢趙(岐)注 (室町)写 二冊

筆者未見。校記はマイクロフィルムによる。詳細な解題は阿部隆一博士「中国訪書志」参照。卷二「齋宣王問曰人皆謂我毀明堂」章の内、「王曰善哉言乎善此王政之言」十二字を前文の注中に誤つて加え、同筆にて訂正してある。卷三卷四には音注が趙注の後

に双行で加えられ、内容は孫奭「音義」と一致し、旧刊本とは必ずしも一致しない。巻四には「重言」「重意」「互註」がみえる。「章題注」「章指」を有す。

竜谷本

竜谷大学図書館蔵 音注孟子一四卷 漢趙岐注〔室町中

期〕写 七冊

栗皮表紙二七・三×二一・四糎。袋綴。遊紙一葉あり。「趙氏孟子題辭」が七葉あり、内題が続く。单边有界每半葉七行一四字。内界二一・一×一七・二糎。界幅二・五糎。注小字双行。

「章題注」「章指」を備えるが「孟子篇叙」は附さない。墨の附訓、返り点、送りがな、縦点、声点、校字、朱によるヲコト点、校合、合点、句点あり。以上の書入れは、ほぼ本文と同筆であるが、数箇所本文と別筆と覚しき書入れを存す。繕写本。料紙は斐楮交漉紙。旧刊本「音注孟子」に比するにやや字句の異同が見られる、書写年代は室町中期をやや下る可能性もある。毎冊首に「写字台之藏書」(だ円朱文) 印記あり。「竜谷大学図書館善本目録」(昭和一二年) 所載。

三条本

慶応義塾図書館蔵 孟子存卷六至八 漢趙〔岐〕注 宋孫

奭音義 〔室町中期〕写 一冊

帙題簽に「三条西家本／孟子趙注

足利中期古写本 朱点つき 欠一冊

と墨書。香色表紙二七・四×二〇・九糎。右肩に「自六至八」、左肩に

「孟子」、中央左よりに「垂」、左下に「全部五冊」とそれぞれ

墨書。袋綴。無辺無界每半葉七行十四字注小字双行。字面高さ

約二三・八糎。「章題注」を附し「章指」は附さない。墨筆に

よる附訓、返り点、送りがな、縦点、声点、校字、音注、朱筆

による附訓、送りがな、ヲコト点、句点、合点がある。柱に丁

付あり。料紙は斐楮交漉紙。総裏打。卷八末に錯簡脱落あり。

〔禹稷当平世〕章の注「世三過其門者」から注「孔子俱賢也」

まで注「禹稷急民之難」から「公都子曰匡章通国」章の注「不

若是以」まで〕卷八末「齊人有一妻一妾而处室者其良人出」以

下欠。卷六首に「雪嶺」(白文) 印あり。各卷末に孫奭の「音

義」を附す。吉石庵叢書に収める影宋本「孟子音義」に比する

と若干文字の異同がある。各巻を更に上下に分かつ(卷八のみ

上・下と題し、卷六・七は上・下とは題さない。) ことから、注

疏本より出たることは明瞭であるが、校合の跡は、複数のテキ

ストを用いたことを想定せしめ、テキストとしての価値は高

い。「慶応義塾大学所蔵漢籍古鈔本展観書目録」所載。「孟子受

容史の研究」所載。

仁和寺本

仁和寺藏 孟子一四卷 趙注單經本 「永祿」写 三冊

栗皮表紙二二×一五・四糎。後補題簽に「孟子上(中下)」と本文と異なる後手による墨書。袋綴。「孟子題辭」が五丁あり本文が続く。無辺無界每半葉八行一五字。字面高さ約一八・四糎。墨による附訓、返り点、送りがな、声点、合点あり。朱による句読点、又各章文頭に朱点あり。いずれも本文と時代を同じくするが、一部、うす墨による校字、訓が散見し、やや時代が下る筆蹟をまじえる。料紙はうす手の斐紙。本文の墨蹟について、「題辭」と巻二首数葉の字体が大ぶりであるのに対し、その他の字体が小ぶりである如く、筆勢に二種が想定され、大部分を親辺の人に書写せしめたという可能性もぬぐい切れない。第一冊のみ総裏打を施す。小口に右から「孟子」と各冊に、背に「三ノ内」と各冊に墨書する。各冊首に双边印記「仁和寺(白文)／文庫(朱文)」あり。写年は、永祿八年の奥書を有する同寺藏「中庸章句」と筆蹟が相似することから阿部隆一博士が推定されたものである。「孟子受容史の研究」所載。

大和本

大和文華館藏 孟子一四卷(卷一〇以下題音注孟子) 趙

注單經本 「慶長元和間」写 三冊

茶褐色元表紙二六・四×二〇糎。題簽に第一冊「孟子上」第二冊「孟子中」第三冊「孟子下」と墨書(本文と同筆)。袋綴。「孟子題辭」第六丁四行目迄。五行目が本文巻頭。单边有界七行一六字。内界二一・八×一六・一糎。界幅二・二糎。墨筆による附訓、送りがな、返り点、縦点、声点、合点、校合あり。朱筆による附訓、送りがな、朱引、句点、合点、校字、また各巻の首を示すしるしが柱にある。墨筆の附訓に濃墨と淡墨の二種あり、濃墨は本文と同手、淡墨はやや時代を下る本文とは別手か。墨の校合にも濃淡二種あり。濃墨は本文と同手、淡墨はやや時代を下る本文とは別手である。朱筆は全体に一筆であるが、本文はやや時代が下る。ただし、墨筆朱筆の同手異手のそれぞれ関係はにわかには断ることができない。料紙は楮紙。裏打を施す。巻五・巻一三の両巻に各一箇所の錯叙あり。巻一四末葉裏に奥書があり、「元和六_申歲十一月十二畢」と墨書する。筆勢が本文とやや時代の差があるように感じられ、校合を畢えた年とする可能性も含めて、書写年代と断定し切れない印象があり、本文の書写年代は元和六年よりややさかのぼる可能

性がある。各冊表紙裏に「尚□／舎蔵」朱文印記あり。鈴鹿文庫。「孟子受容史の研究」所載。

身延本

身延山久遠寺身延文庫蔵 孟子篇叙(外題) 「室町後期」

写一冊

本文共紙表紙二七・五×八糎。仮綴。料紙は乳白色で斐楮交漉紙。外題「孟子篇叙」は、本文と手を異にする後人の墨筆に係る。

「孟子篇叙」に続いて「(低二格)史記之文也(隔五格)孫奭撰而置之」と題して「按史記歳在乙酉周顯王二十三年梁惠王三十五／年齊宣王七年惠王与宣王会乎河南……(中略)……史記不載其始終出処莫知其歳数也正義曰按史記世家云易／(低一格)王立十二年……(中略)……三年國乱……三年國乱」なる文があり、続いて「孟子世系」と題して「孟子尽心末篇」と「唐韓愈原道篇」による二種の伝道系譜がある。

末に「自始至斯文者誰文云事 不知」と。連接して底一格で「孟子正義序」と題して孫奭の序文を載せ、末に底一格小字双行で

「孫氏音義云趙氏丁公著云……(中略)……九十余建安六年卒也」の一文を附す。次に「孟子注疏題辭解」が続く。その後

八葉は界線のみ。更に「時曰支干五行旺相孤虚図」「孟子年譜」「孟子弟子」等、「孟子」講読の参考にあつる図表が続く。単辺

墨界一八・九五×一五糎。界幅約一・九糎。上層五・五糎。後半葉九行二〇字注疏小字双行(但図第三丁は一〇行)。丁付は書囊にあり、本文墨付丁数三八丁。「孟子篇叙」から「孟子注疏題辭解」まで一七丁、その後八葉には丁付を欠き、図表は十三丁で「図ノ一(至十一)」とあり、第十二・十三丁には丁付を欠く。尾題は「孟子篇叙」末に「孟子卷第十四」「孟子注疏題辭解」末に「孟子序正義終」とある。附訓・返り点、送りがな、解注、校合注あり墨筆。朱は―と□の朱引、句点。本文、朱墨の書入れ全て手を同じくする。「孟子注疏題辭解」の眉上書入に「句解」を数ヶ所引く。とり分け、「孟子篇叙」は、異本との校合の跡も含めて、他の現存本に比して異同が多く、極めて珍重に値する。

八行本

台北故宮博物院蔵 孟子注疏解經一四卷 漢趙岐注 旧題
宋孫奭疏 「南宋寧宗理宗間兩浙東路茶塩司」刊「元・明初」通修 五冊

筆者未見。校記は影印本(民国七五年・同院)による。詳細な解題は阿部隆一博士「中国訪書志」参照。部分的な補刻が多く、校異中にその全てを録し得なかつた。「趙注孟子」のテキスト

の流れを大きく変えた注疏本の原姿を比することは旧鈔本の整理に必要不可欠である。

旧鈔本趙注孟子校記

凡 例

尚、以上各図書の原本調査に際しては、本文庫平澤五郎、大沼晴暉先生の御教指を得た。

一、本校記は、「宋孝宗朝・蜀」刊の「趙注孟子」（四部叢刊影印）を底本とし、現存する旧鈔本「趙注孟子」八種並びに越刊八行本「孟子註疏解経」の経文と趙注の文字の校異を示すものである。

一、底本の経文注文の各句を摘録標出（注文は経文より二格を低す）し、一格を空けて校異を記す。経文は一句の異同を記して改行するが、注文は次の経文を標出するまで改行せずにつけて掲げる。従って注文の各句は必ずしも標出する経文に対する注であるとは限らない。

一、掲出の一句について、校異が一本に二つ以上ある時は「、」で区切り、各本毎の別は「・」で示し、その句についての終りを「。」で閉じる。

一、字体は、原則として通行の活字体を用いた。稀にみる特別の字、および全体を通校して必要と認め得る字以外、本邦旧鈔本に多く慣用される異体字・略字・俗字、又木偏と手

偏・草冠と竹冠の混用などは原則として記さない。

一、引拠各本の書名は略号を使用し、「引拠各本略解」にそれを記した。

一、原本の復元を目的とする為に用いた校異中の記号の意味する所は次の通り。

() は書入れなどによる補入。△章指▽の校異にみえる(元良本)は、元良本の△章指▽が書入れであることを意味する。

「」は虫損などによる不明の字を補記したことを意味する。

△は原本の字の傍に見せ消すのしるしがあることを意味し、原則としてすべて当該字の右側に記した。

×は原本の字を抹消してあることを意味する。例えば

「比」は「比」字を抹消して「此」字に訂してあるの意。

◎は字順の訂正を示す。例えば、「獸肥◎則濯濯鳥胞肥」

は「胞」字が「肥」字の下に来る様に指示訂正してあることを意味するもので、本来「肥」と「則」の間が空格ではない。

・は原本に書入れされた校合が朱筆であることを意味する。「イ民」は「イ」のみが、「イ民・」は「民」のみが、「イ民・」は「イ」「民」両字ともに朱筆であるの意。

一、原本に書入れられた他本との校合又は訂正は欄上・欄脚や字の左側に書入れられた場合も全て「甚」の如くに当該字の右傍に記した。但し字形不明瞭の字に対する書入れや、当該字が判読不明で且つ右傍に附された字が底本と異ならない場合はこれを特記しない。

一、校異中、「各本」というのは全テキストを指し、「各本冬作各・養安院本城作域」とあれば、養安院本が夫々「各」「域」に作ることを意味し、「竜谷本班作白・各本班作班」とある場合の各本は竜谷本を除く全テキストを意味する。

旧鈔本趙注孟子校記

題辭解

右八行本

孟子題辭

趙氏 元良本同 仁和寺本大和本無趙氏二字·各本如左。

趙氏孟子題辭

音義曰張謐云即序也趙生尚異故不謂之序而謂之題辭也

右竜谷本文中附孫氏音義

孟子題辭

孫氏音義曰張謐云即序也趙生尚異故不謂之序而謂之題辭也

題辭解

紫金魚袋臣

孫奭撰進

右身延本

趙氏 丁公著云案本伝名岐字邠脚京兆長陵人也初名嘉生於御史台

因字台卿後避難故改名岐少明經有才芸公府鷹辟為京兆尹近為功

曹先是岐常貶職中常侍唐珩兄玘為京兆尹岐遂避難四方無所不

及諸唐滅乃出仕歷并州刺史議

卒年

右広隆寺本文中附孫氏音義

孟子卷第一

右米沢本

孟子註疏題辭解

朝散大夫尚書兵部郎中充竜岡閣待制知通進銀台司兼門下封駁事兼判国子監上護軍賜紫金魚袋臣孫奭撰進

孟子註疏題辭解 孟子魯公族孟孫之后名軻字子齊適梁俱不遇退而与公孫丑万章之徒難疑答問著書七篇後漢趙岐字邠卿事靈帝獻帝官至大僕撰序及七篇注解矣也

朝散大夫尚書兵部郎中充竜岡閣待制知通進

銀台司馬兼門下封駁事兼判国子監上護軍賜

題辭解

国近魯 身延本作^{国イ}近魯。孟孫之後 身延本後作后·以下後字倣此。三桓子孫 伊佐早本子孫下復有子孫二字·元良本桓作栢。争彊 各本彊作強。墮廢 各本墮作隳。不能信三代之余風 伊佐早本作不能(信)三代之余風·按八行本此葉係補刻。恥没世而無聞焉 仁和寺本竜谷本大和本伊佐早本恥作耻。深切著明也 身延本切作功^{切イ} 論集所与 伊佐早本集作某。高第弟子 広隆寺本第作弟·元良本大和本八行本弟作第·身延本弟作才。難疑答問 伊佐早本難下有答字。帝

王公侯侯 身延本侯作倭。巫聖 元良本巫作惡。刪詩定書

身延本作刪。◎詩定書。此句傍有校語謂イ本ニ爾り。七十子

之疇。竜谷本疇作疇。五經之錯。身延本館作館。衛靈公

問陣於孔子。大和本無於字。毀鬲。身延本鬲作隔。按八行本

以上係補刻。故篇籍得不泯絕。伊佐早本篇作笱。開延 竜

谷本延作筵。大和本延作筵。長於譬喻。身延本譬作辟。按

八本以下係補刻。意已独到。身延本八行本已作以。斯言殆

欲使。身延本斯下有以字。其說又多乖異。伊佐早本又作文。

不但施於說詩也。伊佐早本作(不)但施於說詩也。世尋丕

祚。身延本作(世)尋丕祚。元良本八行本祚作祚。雅德君

子。竜谷本作雅德君(子)。矜我劬瘁。身延本矜作怜。辯

之者既已詳矣。元良本大和本身延本辯作辨。縵與身延本縵

作縵。辯惑。元良本大和本辯作辨。身延本辯作弁。別其指

身延本指作旨。

孟子卷第一 各本篇題各有所異詳記于下。

孟子卷第一 廣隆寺本

梁惠王章句上
梁惠王者魏惠王也魏國名惠諡也王
號也時天下有七王皆僭号者也猶春
．．．．．
丁云案

史記梁惠王魏武侯
之子名營營音囂

凡七章

孟子見梁惠王孟子適梁魏惠王
礼請孟子見之 王曰叟

孟子卷第一

梁惠王章句上凡七章 趙氏注

孟子見梁惠王孟子適梁魏惠王
礼請孟子見之 王

孟子卷第一

梁惠王章句上凡七章 趙氏註

梁惠王者魏惠王也魏國名也
惠諡也王号也時天下有七王

孟子見梁惠王孟子適梁魏惠王
以礼請孟子見之

孟子卷第一

梁惠王章句上

凡七章

養安院本

趙氏註

梁惠王者魏惠王也魏國名惠諡也王号也
時天下有七王皆僭号者也猶春秋之時與

孟子見梁惠王孟子適梁魏惠王
以礼請孟子見之 王曰叟不遠

音注孟子卷之一

梁惠王章句上

竜谷本

梁惠王者魏惠王也魏國名惠諡也王号也時天下有七王皆僭号王魏武侯之子名罃音駕

後漢太常趙岐邠卿注

孟子見梁惠王 孟子適梁魏惠王禮請孟子見之

孟子卷第一

梁惠王章句上凡七章 趙氏注

孟子見梁惠王王曰叟不遠千里而來

孟子卷一

梁惠王章句上凡七章 趙氏注

孟子見梁惠王王曰叟不遠千里而來亦

孟子註疏解經卷第一上

梁惠王章句上凡有七章 孫奭疏

趙氏註 梁惠王者魏惠王也魏國名惠諡也王号也時天下有七王皆僭号者猶春秋之時

疏 梁惠王章句上正義曰梁惠之目及次第也揔而言之

孟子見梁惠王 孟子適梁魏惠王禮請孟子見之 王曰叟不遠

仁和寺本

○梁惠王章句上 魏國名 伊佐早本名下有也字。吳楚之君 伊佐早本與楚之君。孟子亦以大儒為諸侯所師 伊佐早本大儒作七篇、無所字。為一例也 広隆寺本養安院本八行本例下有者字。伊佐早本為下有之字、例下有者字

○孟子見梁惠王至何必曰利

大和本

孟子去齊 伊佐早本作孟子(去)齊。興利除害也 広隆寺本也作者者乎。養安院本八行本伊佐早本竜谷本也作者乎。元良本作興利除害也。因為王陳之 元良本養安院本竜谷本之下有也字。伊佐早本因為王(陳)之也。

何以利吾身 養安院本作何以為(利)吾身。

必至於篡弑則 広隆寺本弑作殺。千乘兵車千乘謂諸侯也 伊佐早本無千乘兵車四字。夷羿之弑夏后 広隆寺本弑作殺。

弑其君者 広隆寺本弑作殺、但訓シイス

有兵車百乘之賦者也 養安院本賦作則、無也字。亦皆弑其君 広隆寺本弑作殺。伊佐早本弑作殺、無其字。諸侯以國為家 広隆寺本為下有以字。自饜飽其欲 養安院本伊佐早本八行本欲下有矣字。

未有仁而遺其親者也 大和本作未有仁(而)遺其親者也。

忽後其君者 養安院本伊佐早本下有也字。重嗟歎其禍

廣隆寺本養安院本八行本伊佐早本禍下有也字。〈章指〉當以

仁義為名 養安院本名下有也字。君臣集穆 養安院本龍谷

本集作輯。

○孟子見梁惠王至豈能獨樂哉

以為娛樂夸吃孟子 養安院本伊佐早本八行本夸作誇。然後

乃得樂此耳 養安院本伊佐早本樂此作此樂。不賢之人 伊

佐早本賢下有者字。雖有此當為人所奪 養安院本伊佐早本

八行本當作亦。

不日成之 伊佐早本作不(日)成之。

言文王始經營規度此台 養安院本當作始。自來趣之 伊佐

早本八行本趣作趨。若子來為父使也 養安院本伊佐早本八

行本使下有之字。特鹿也 養安院本伊佐早本八行本特作牝

·元良本作牝(特)。文王在此園中 養安院本八行本無此字。

獸肥飽則濯濯鳥肥飽 伊佐早本作獸肥◎則濯濯鳥肥胞。

鶴鶴而沢好 廣隆寺本好下有也字·元良本龍谷本八行本好

下有而已 伊佐早本好下有而已也·養安院本好下有(而已)也。

曰靈沼樂其有 養安院本作曰靈沼(樂)其有。

古之人与民偕 伊佐早本作古(之)人与民偕。

与民共同其所樂故能樂之 伊佐早本無共字、樂之作得其樂。

八行本無共其所三字、樂之作得其樂。

及女皆亡 元良本仁和寺本皆作偕、民欲与之皆亡皆字同。

時乙卯日也 廣隆寺本元良本養安院本八行本時作日。而誓

之 養安院本無之字·伊佐早本八行本無而之一字。我与汝

俱 元良本養安院本龍谷本伊佐早本八行本汝作女。台池禽

獸 龍谷本禽作鳥。何能復獨樂之哉 伊佐早本作何能与湯

共亡復獨樂之哉·八行本無復字。不樂也 養安院本伊佐早

本無也字。〈章指〉無道之君 養安院本無上有又字。其所樂

也 養安院本無也字。

○梁惠王曰至天下之民至焉

欲利百姓焉耳者 伊佐早本耳下有矣。兼得河內也 伊佐早

本得下有其字。無如己也 伊佐早本無也字。王自徑 伊佐

早本作王自堅^徑。

笑百步則何如 養安院本何如作如何。

足以笑百步止者不 廣隆寺本足作是·元良本足作是、傍校

足、不作否·伊佐早本無以字、不作否·八行本無止字、不作

否·按八行本此句係元修。直事不百步耳 各本皆事作爭。

移民轉穀 伊佐早本八行本穀作粟·按八行本係元修。何異

於以五十步 養安院本伊佐早本八行本無以字·按八行本係元修。不可勝食 養安院本食下有也字。

不可勝用也 伊佐早本也作之。

民所用者足故無恨 竜谷本足作是、傍校足。民心無恨 養安院本伊佐早本心下有得字。故言王道之始 伊佐早本無之字。以為宅冬入保城 各本冬作各·養安院本城作域。

百畝之田勿奪 伊佐早本田下有之字。

奪其時功 養安院本作◎其奪時功。頒者班也 竜谷本班作

白·各本班作班。頭半白斑班者也 広隆寺本元良本白下有

日頒二字·竜谷本白下有日頒二字、者下有負字·伊佐早本

白作也·各本班作班。故斑白者不負戴也 広隆寺本元良本

故下有日字、戴下有於道路三字·養安院本班作頒、戴下有於

道路三字、無也字·伊佐早本班作頒、戴下有道路二字·八行

本班作頒·竜谷本戴下有於道路三字。修行積之 養安院本

之作此。率土之民 広隆寺本率作卒。人食不知 広隆寺本

元良本竜谷本食下有而字。以用振救之也 竜谷本養安院本

伊佐早本八行本振作賑。

○梁惠王曰至民飢而死也

王曰杖刃殺人 各本杖作挺。王復曰政殺人無以異也 広隆

寺本殺作教·元良本作王復曰。刃政殺人無作異也·養安院本八行本作王復曰挺刃殺人与政殺人無異也·伊佐早本無復字其他同養安院本·竜谷本曰下有刃字。為率獸以食人也

広隆寺本元良本竜谷本下有者字·養安院本伊佐早本八行本無為字、以作而字。虎狼食禽獸人猶尚 元良本竜谷本作古

者虎狼之中能常食於禽獸是人所惡今人猶尚·養安院本作古者虎狼之中能常食於禽獸人猶尚·伊佐早本作(古者)虎狼

(之中)食禽獸人猶尚。牧民為政 養安院本作牧民(為政)。

父母之道也 竜谷本也下有己字。夫惡其始造 伊佐早本作

夫惡其始(造)。如之何其使此民 養安院本伊佐早本八行本

此作斯。飢而死邪 伊佐早本八行本邪作也。以教王愛民

伊佐早本愛下有其字、民下有而已矣三字·八行本愛下有其

字、民下有也字。〈章指〉以政殺人 養安院本作以(政)殺

人。人君之咎 養安院本無之字。

○梁惠王曰至王請勿疑

晋国天下強也 広隆寺本元良本下有莫字、強下有之字·竜

谷本也作之·伊佐早本也作焉·八行本下有之字、也作焉。

求策謀於孟子 養安院本伊佐早本策謀作謀策。百里之地

養安院本伊佐早本地作邑。

壯者以暇日 大和本暇作暇。

易耨芸苗 伊佐早本耨下有其字。王如行此政 伊佐早本無如字。以捶敵國堅甲利兵 伊佐早本作以捶(敵) 國堅甲利兵。恥之不雪也 養安院本雪下有矣。伊佐早本雪作曾^雪。夫誰與共 元良本作夫誰(與)為共。禦王之師為王敵乎 養安院本伊佐早本八行本師下有而字敵上有之字。暴虐已 養安院本已下有已字。竜谷本已作以。勿有疑也 養安院本伊佐早本無也字。〈章指〉以攻傷民 (元良本) 竜谷本養安院本攻作政。以挺服強 養安院本脱此四字。不仁也 養安院本竜谷本仁下有者字。

○孟子見梁襄王至誰能禦之

魏之嗣王也 広隆寺本魏作梁。孰能一之者 伊佐早本者字左有校語謂異本無者字。竜谷本作誰能一之者。皆苦虐政 広隆寺本虐作虎。喻人象也 広隆寺本八行本象作婦。元良本象字左有校語謂一本作婦。夏之五六月 竜谷本無之字。沛然下雨 広隆寺本作沛然[○]雨下。今夫天下之人 伊佐早本作今天下(之)人。已盛孰能止之 養安院本之下有也字。伊佐早本之下有乎字。〈章指〉一道而已 竜谷本一道作仁政。(元良本)作一道而已^{仁政}。

○齊宣王問曰至未之有也

孟子冀得行道 養安院本冀作既樂二字。伊佐早本作孟子既冀得(行道)。故仕於齊不用 養安院本伊佐早本八行本重齊字。乃適於梁 養安院本伊佐早本八行本無於字。欲以仁義首篇 養安院本伊佐早本八行本義下有為字。然後道齊也 広隆寺本齊下有之事二字。元良本齊下有(之)事二字。竜谷本齊下有事字。養安院本八行本伊佐早本齊下有之事二字、無也字。

後世無佞焉 養安院本伊佐早本世作生。

心賤薄之 元良本竜谷本養安院本八行本心作必。欲伝道之者 広隆寺本無之字。問霸事也 広隆寺本事下有之字。養安院本伊佐早本八行本作問霸者之事。曰德何如則 養安院本作曰德何如[△]以則。當何如而可得以王乎 養安院本伊佐早本無而字。安民則惠黎民懷之 養安院本伊佐早本八行本惠下有而字。可以安民 養安院本伊佐早本安作保。當到死地也 養安院本作當^到死地也。伊佐早本作當到[△]死地所。墮屢逆性 竜谷本墮作隋。伊佐早本墮作塗。孟子曰臣受胡斃。養安院本無臣字。有此仁不知誠有之否 養安院本無此字、否作不。伊佐早本無

此字、否下有也字。王推是仁心。養安院本無仁字。王見牛恐懼。養安院本懼下有貌字。伊佐早本懼下有貌字、無恐字。易之以羊耳。養安院本耳作也。伊佐早本作易之以羊（耳）也。百姓之謂王愛財也。広隆寺本愛下有其字。養安院本無之也二字、愛下有其字。伊佐早本無之王也三字、愛下有其字。八行本無之字。王如痛其無罪。伊佐早本無王字。不能自免為百姓所非。養安院本自字在不字上。伊佐早本無自字。無傷於仁。養安院本伊佐早本仁作牛。養安院本傍有校謂或仁。時未見羊。広隆寺本元良本竜谷本養安院本時上有王字。不欲見其生食其肉也。伊佐早本生作牲。

所以合於王者何也。養安院本無也字。

以嗟歎。広隆寺本八行本歎作嘆。何能足以王也。養安院本

作何能◎以合於王也足。伊佐早本八行本王上有合於二字。

伊佐早本無也字。百鈞三千斤也。養安院本伊佐早本無也字。

・竜谷本千作十。非不能也。養安院本無也字。

曰不為者与不能者之形何以異。此十三字広隆寺本脱。

王問其狀何以異也。広隆寺本脱此八字。

挾大山。各本大作太。非挾大山之大字亦同。注文大字倣此。

若是王則。伊佐早本作若是則王。按摩。広隆寺本按作接。

故以為喻也。養安院本無也字。敬我之老亦敬人之老。広隆

寺本作敬我之老（亦）敬人之老。天下可¹轉之掌上言易也。

広隆寺本¹轉作運。養安院本伊佐早本八行本言下有其字。加

於人耳。養安院本伊佐早本八行本耳作而已。可以稱輕重也。

養安院本伊佐早本八行本無也字。可以量長短也。広隆寺本

八行本無也字。心比於物尤當為之甚者也。伊佐早本作此^比。

広隆寺本作心比於物尤當◎之甚者也欲使王度心如度物也為◎。

如度物也。養安院本伊佐早本無也字。如是乃快邪。元良本

竜谷本邪作耶。伊佐早本快邪作地聊^{快耶}。以求我心。養安院本

伊佐早本八行本我作吾。所大欲者耳。広隆寺本耳作也。欲

令王自道緣以陳之。養安院本伊佐早本八行本緣以二字作遂

因而三字。養安院本伊佐早本之下有也字。堯異端以問也。

養安院本伊佐早本八行本問下有之字。我不為是也。養安院

本伊佐早本無也字。

朝秦楚莅中国。大和本秦作秦。

莅臨中国而安四夷者也。養安院本伊佐早本八行本莅臨作臨

莅。養安院本無者字。

若是其甚与。伊佐早本作若是（其）甚与。

王謂比之緣木求魚。広隆寺本比作此。元良本比作此^比。伊佐

早本比^比。為大甚。八行本同。各本大作太。養安院本伊
佐早本為上有已字。

無後災。伊佐早本作無魚後災。

破国之災。養安院本伊佐早本無之字。

曰可得聞与。養安院本伊佐早本曰上有王字。

曰鄒人与楚人戰。大和本作(曰)鄒人与楚人戰。

異於鄒敵楚哉。養安院本哉作乎。

小弱固不如強大。養安院本如下有以敵二字。伊佐早本八行

本如作可以敵三字。猶鄒欲敵楚。養安院本伊佐早本楚下有

也字。王欲服之道。広隆寺本養安院本伊佐早本不重之字。

王道之本。広隊寺本元良本竜谷本八行本下有耳字。養安

院本伊佐早本下有也字。誰能止之者。養安院本伊佐早本

八行本者作也。我情思悖乱。竜谷本情作悖。元良本作我情^悖

思悖乱。進行此仁政。伊佐早本無此字。嘗使少行之也。養

安院本少作小。伊佐早本無也字。常有所善心也。養安院本

作常有(所)善心也。伊佐早本八行本無所字。凡民迫於飢

寒。竜谷本作況民^凡迫於飢寒。其常善之心。養安院本伊佐早

本無之字。竜谷本八行本心下有也字。是由張羅罔。養安院

本由作猶。是政何可為也。元良本作是故^政何可為也。

不免於死亡。養安院本無於字。

不給何暇。元良本作不給^終何暇。

狗彘之畜。伊佐早本作狗彘之(畜)。

七十者可以食肉。広隆寺本作七十(者可)以食肉。

可以無飢。養安院本作可以(無)飢。

〈章指〉猶不成德。(元良本)德作佳。欲踐其路。(元良本)

竜谷本路作跡。

孟子卷第一。竜谷本欠尾題。伊佐早本作孟子卷第一終。八行本

作孟子註疏解經卷第一下。

孟子卷第二

趙氏注

梁惠王章句下。広隆寺本梁惠王章句下有凡十六章、無趙氏注

三字。元良本仁和寺本大和本無趙氏注三字。竜谷本無後漢

太常等數字、卷第三以下倣此。八行本章數作凡十六章、八行

本以下章數無有字。其他樣式各本同各本卷第一。伊佐早本

養安院本同各本卷第一。章數各本作十六。

○莊暴見孟子至同樂則王矣

好樂何如。養安院本何如作如何。

問曰王好樂何如。養安院本何如作如何。伊佐早本作問曰

(王)好樂何如。齊國其庶幾治乎。伊佐早本作齊國甚庶幾。

有是語不。元良本養安院本伊佐早本八行本不作否。王言我

不能好先聖王之樂也。廣隆寺本竟谷本無聖字。元良本後補

聖字。養安院本言下有曰字、無也字。伊佐早本言作曰。八

行本無也字。可得聞邪。養安院本伊佐早本邪作乎。與人共

聽樂樂也。養安院本伊佐早本八行本聽下有其字、樂樂也作

樂為樂邪。廣隆寺本也作邪。不如與眾共聽之樂也。養安院

本伊佐早本八行本之下有為字。養安院本無也字。伊佐早本

眾下有人字。不若與眾人共聽樂樂也。養安院本作不若與眾

◎共聽樂為樂人。伊佐早本八行本樂樂也作樂為樂。欲為王

陳獨樂與眾人樂之狀。養安院本無獨之二字。八行本之作樂。

使我至於此極也。伊佐早本無於字。

父子不相見。仁和寺本子作母。

鼓樂者樂以鼓。伊佐早本以上有者字。若笛短。廣隆寺本養

安院本伊佐早本笛短作短笛。故使百姓愁。養安院本八行本

百姓作民。八行本愁下有也字。伊佐早本作故使使百姓愁也。

不與民同樂也。養安院本無也字。

民驅獸供給。廣隆寺本供作借。

王鐘鼓之聲。伊佐早本作王鏡鼓之聲。

有喜色而相告曰。養安院本無相告二字。

有惠益。伊佐早本作(有)惠益。

拳欣欣然有喜色。伊佐早本作齊欣欣然有喜色。

王以農隙。伊佐早本隙作隙。有愍民之心。廣隆寺本養安院

本伊佐早本八行本愍作憫。是以民悅也。養安院本伊佐早本

八行本悅下有之字。《章指》民樂其事。養安院本作與民同樂

其事

○齊宣王問曰至王之不好勇也

於傳文有是言。養安院本是作此。

民猶以為小也。養安院本伊佐早本小作少。注文小字做此。

言文王之民。伊佐早本作尚以言文王之民。王以為文王在岐

豐之時竟谷本無為字。廣隆寺本作岐豐。養安院本伊佐早本

八行本豐作山。土地尚狹而圍以大矣。養安院本伊佐早本尚

作猶。以為寡人圍。養安院本伊佐早本八行本人下有之字。

芻蕘者。養安院本伊佐早本八行本芻作蕘。

芻蕘者。八行本芻作蕘。刈其芻蕘。養安院本伊佐早本芻作

蕘。是其宜也。養安院本無也字。設陷阱者。元良本作設陷

阱者。民苦其大。養安院本八行本苦作言。古聖賢之比。元

良本養安院本伊佐早本八行本比下有也字。

文王事混夷 広隆寺本同・各本混作昆。

詩云混夷 元良本同・各本混作昆。伊佐早本作詩（云）昆

夷。謂文王也。伊佐早本作謂文王云也。退於会稽 広隆寺

本於下有禽字。身自官事 養安院本八行本官作臣・伊佐早

本作身自臣事。聖人樂行天道 伊佐早本天作昊。詩周頌

伊佐早本作詩周頌頌。安其大平之道 広隆寺本竜谷本伊佐

早本八行本大作太。

大哉言矣 養安院本哉下有斯字。

有疾疾於好勇 広隆寺本於作在・養安院本下疾作病・伊佐

早本作有疾在（於）好勇・八行本下疾作在。聖賢之所履也

養安院本無也字。此一夫之勇 広隆寺本元良本八行本夫

作匹夫二字。

詩云王赫斯怒 伊佐早本云作曰。

匹夫之小勇 伊佐早本八行本勇下有而已二字。所謂在予一

人 元良本予作于。

一人衡行於天下 伊佐早本一人衡行於（天）下。

今王亦一怒而安天下之民 竜谷本脱此十一字。

民恐王之不好勇耳 八行本同・各本民下有惟字。〈章指〉勇

勇以討至百姓安之 養安院本作樂不循四溢之行是以文王不

敢盤于遊田也。按此文次章章指之文。

○齊宣王見至畜君者好君也

雪宮離宮之名也 伊佐早本離上有之字。禽獸之饒 広隆寺

本無禽字。亦能有此樂乎 伊佐早本無能字。有不得志者也

広隆寺本伊佐早本八行本得下有其字。

民亦樂其樂 養安院本無亦字。

君助憂之 養安院本伊佐早本八行本作君亦助之憂。為之赴

難也 養安院本伊佐早本無也字。言古賢君樂則 竜谷本作

言古賢君樂時則。

南放于琅邪 竜谷本邪作耶・養安院本伊佐早本邪作耶。元良本

邪作耶。

又言朝水名也 養安院本伊佐早本言作曰。遵循也 伊佐早

本作遵循也。至於琅邪琅邪東南境上邑也 竜谷本邪二字共

作耶・養安院本伊佐早本邪二字共作耶。八行本無南字。元

良本邪二字共作耶。先王先聖之王也 養安院本伊佐早本無

之字。春省耕問來耜之不足 養安院本春下有有字、問作補

伊佐早本八行本問作補。助其力不足也 各本足作給・養

安院本伊佐早本力下有之字 夏禹之世民之諺語 伊佐早本

夏作憂。王者巡狩觀民 養安院本狩作守。豫亦遊也 広隆

寺本伊佐早本也下有遊亦豫也四字。晋范宣子豫焉 養安院
本范作^韓。元良本范作^韓。我何以 養安院本伊佐早本我作
吾。得見振贈助 広隆寺本同。各本振作賑。

今也不然師行 伊佐早本今也不然(師)行。

人君興師行軍 伊佐早本作人君行師興軍。在位者又賄賂

広隆寺本伊佐早本八行本位下有在職二字 更相讒惡 伊佐

早本惡作^惡。而作惡惡也 養安院本伊佐早本八行本下有

其字。方猶放也放棄不用先生之命 各本生作王。八行本放

二字共作逆。伊佐早本無也下放字。

從流上而忘反 養安院本反作婦。

或浮水而下 竜谷本作或浮水(而)下。連者引也 養安院

本伊佐早本八行本無者字。丹朱慢遊無水而行舟 養安院本

八行本遊下有是好二字。伊佐早本遊下有好事。豈不引舟於

水而上行乎 養安院本八行本伊佐早本水而上行四字作水上

而行。伊佐早本無於字。言聖人之行 養安院本無之字。伊

佐早本無言字。惟君所欲行也 伊佐早本無惟字。遊於琅邪

竜谷本邪作耶。養安院本伊佐早本邪作耶。元良本邪作耶。

而無益於民也 養安院本伊佐早本作而無於民益也。大脩戒

備於國 養安院本無戒字。以振貧下不足者也 広隆寺本養

安院本伊佐早本振作賑、下作困。元良本振作賑、訓スクフ、
ニキハス二種。八行本下作困。

召大師日為我 仁和寺本竜谷本大作太。

說君謂之好君 八行本無下君字。所以道晏子景公之事者

養安院本無晏子二字者字。伊佐早本作景公(之)事、其他

同。八行本道作導。矜夸雪宮 竜谷本養安院本伊佐早本夸

作誇。欲以若賢者 広隆寺本養安院本者下有也字。

○齊宣王問曰至於王何有

勸宣王 養安院本伊佐早本八行本勸下有齊字。

王欲行王政 広隆寺本作王欲欲行王政。

寧可得聞 養安院本伊佐早本聞下有乎字。詩云樂爾妻孥

竜谷本伊佐早本云作曰。不及妻子也 養安院本伊佐早本及

下有其字。天下之窮民文王 広隆寺本伊佐早本八行本民下

有而字。竜谷本無之字、民下有而字。養安院本民下有也字。

富人但憐愍 元良本憐作怜。養安院本憐愍作^{憐愍}。伊佐早

本憐愍作怜憫。八行本愍作憫。文王行政如此也 養安院本

也下有王曰善哉言乎善此王政之言十二字、以下連接此句補

入十二字如下、王曰善哉言乎^{善此王政之言}。按也下之十二字誤入次

之經文与注文後訂而補入。王如善此王政 養安院本善下有

行字・伊佐早本此作行。何為不行也 広隆寺本也作之。我有疾疾於好貨 広隆寺本無疾一字。

糗糧 養安院本伊佐早本八行本糗作餼・大和本糧作糗。糗イ

用光弓矢 広隆寺本矢作矣。矢

有裹囊也・伊佐早本作有(裹)囊也・竜谷本囊作囊。糧大全

用有寵光也 広隆寺本竜谷本養安院本伊佐早本寵作寵・養安院本也作之。

以武備之四方啓道路 広隆寺本元良本伊佐早本啓下有行字

八行本四作曰、啓下有行字。我有病病好色 元良本同・各

本病病作疾疾於三字。不能行也 養安院本伊佐早本能下有

得字。

詩云古公亶甫 竜谷本云作曰。

当是詩也 各本詩作時。

亶甫大王名也 養安院本伊佐早本八行本甫作父。循西方水

滸 広隆寺本循作脩。於其与姜女 各本其作是。非但与姜

女俱行而已也 広隆寺本八行本無也字・元良本但作但・養

安院本無与字、無也字。〈章指〉誘人誘人 養安院本作誘人

(進入)。

○孟子謂齊宣王至王顧左右而言他

絶友道也 養安院本伊佐早本友下有之字、無也字。

王顧左右 大和本作王曰左右。〈章指〉無墮其職 養安院本其作

厥。

○孟子見齊宣王至可以為民父母

喬高也 竜谷本作喬(高)也。常能輔其君 伊佐本本輔作

輔。不精心意 広隆寺本意下有詳審之三字・養安院本伊佐

早本意下有而詳審三字 八行本意下有詳審之而四字。尊卑

親疎 元良本疎作友・竜谷本養安院本疎作疎・伊佐早本親

疎作戚疎・八行本親疎作疎戚。豈可不重慎之 広隆寺本之

作歟・竜谷本之下有歟字・養安院本之作乎・伊佐早本無重

字、之作歟乎二字・八行本無重字、之作歟。核郷原之徒 養

安院本伊佐早本八行本核下有其字・伊佐早本郷作嚮。論曰

養安院本伊佐早本作論語曰。以毀忠正 広隆寺本養安院

本伊佐早本八行本正下有也字。可以子畜百姓也 養安院本

無也字。

○齊宣王問曰至未聞弑君也

臣弑其君 養安院本伊佐早本弑作殺。

何以得弑其君 養安院本弑作殺。未聞弑君也 広隆寺本作未聞弑(其)君也・養安院本弑作殺、也

作之。伊佐早本絨作殺。大和本絨下有其字。不聞絨其君也。

養安院本無其字，絨作殺。伊佐早本絨作殺。八行本無其

字。此之謂也。伊佐早本也作乎。〔章指〕以崇惡（元良本）

作以崇德。欲以深寤（元良本）作（欲）以深寤。

○孟子謂齊宣王曰至彫琢玉哉

為巨室則 伊佐早本巨作臣。

巨室大宮也。伊佐早本巨作臣。爾雅曰 養安院本伊佐早本

曰作云。以此喻之。八行本此作比。

幼而學之 伊佐早本作幼而學而學之。

先王之正法 養安院本伊佐早本八行本正法作道。此何如也

養安院本伊佐早本作此如何也。二十兩為鎰。廣隆寺本為下

有一字。養安院本二十作二十四。八行本二十作三十。按八

行本此句係補刻。詩云彫琢其章。龜谷本云作曰。必須玉人

養安院本必下有頒字。至於治國家。養安院本無家字。不得

其道。元良本其作是。玉不得美好。廣隆寺本玉下有人字。

何由能治者乎 養安院本伊佐早本八行本無者字。〔章指〕不

成圭 龜谷本養安院本圭作器。

○齊人伐燕勝之至亦運而已矣

時燕國 元良本作時燕國。養安院本燕作戰。侵地廣大 廣

隆寺本脫大以下十五字後補寫。書曰歲三百 廣隆寺本元良

本伊佐早本龜谷本八行本歲作暮。養安院本歲作期。曰作云。

伊佐早本書曰作書（云）。天与不取 伊佐早本作天地天与不

取。

取之古之人 廣隆寺本無上之字。

有行之者 伊佐早本作（有）行之者。

取之而燕民 養安院本無上之字。

益甚則亦運行 養安院本無亦字。可取之 養安院本伊佐早

本八行本之下有而已二字。

○齊人伐燕取至可及止也

將謀救燕 伊佐早本救燕作燕救。

伐齊救燕 養安院本伊佐早本八行本作救燕伐齊。

自葛始天下 養安院本伊佐早本始下有而字。

奚為後我 伊佐早本作奚（為）後我。

皆尚書逸篇之文也 伊佐早本皆作留。面者嚮也 養安院本

伊佐早本八行本嚮作向。東嚮征西夷 廣隆寺本征作往。養

安院本伊佐早本八行本嚮作向。

怨者去王城 養安院本伊佐早本無者字。夷服之國也 廣隆

寺本服作服。元良本龜谷本養安院本伊佐早本服作狄。故謂

之四夷 広隆寺本作（故謂之）四夷。我蘇息也 広隆寺本

息下有而已二字・伊佐早本也作而已矣。

王往而征之 養安院本伊佐早本作征。

水火之中也 養安院本伊佐早本大和本無也字。

簞食壺漿 仁和寺本漿作醬。

毀其宗廟 伊佐早本廟作広廟。

如之何其可也 広隆寺本無也字。

若此安可哉 竜谷本哉作也哉。今復并燕一倍之地 養安院本

伊佐早本復作亦・伊佐早本倍作候倍。旄老旄也 養安院本伊

佐早本八行本下旄字作毫。〈章指〉以小王大夫 竜谷本作以

大王小夫・養安院本作以小至大夫王。

○鄒与魯闕至其長矣

不可勝誅不誅則 養安院本無不誅二字・伊佐早本作不可勝誅

（不誅）則。

長上軍率也 養安院本八行本率作帥。問其罰當謂何也 竜

谷本同・各本何下有則可二字・伊佐早本作問其罰（當）謂

何則可也。

壯者散而 伊佐早本壯作將壯。

以振救之 養安院本伊佐早本八行本振作賑・竜谷本養安院

本伊佐早本之下有者字。殘賊其下也 養安院本伊佐早本下

下也上有者字。

曾子曰戒之戒之出乎爾者 伊佐早本此句作夫民今而後得六字。

夫民今而後得。伊佐早本此句作曾子曰戒之々々出乎爾者十一字。

今得反報 伊佐早本作今得反執報。君無過責之也 八行本責

作壳・按八行本此字係補刻。憂民 伊佐早本作憂民民△。窮

困則 養安院本伊佐早本八行本作困窮則。民化而親其上

伊佐早本上作之上。

○滕文公問至是可為也

滕文公問曰滕小国也 大和本滕二字共作勝滕。

居齊楚之間 伊佐早本八行本楚下有二国二字。皆不由礼

養安院本礼下有儀字・八行本礼下有義字。誰可事者也・伊

佐早本作誰可事（者）也。不得已有一謀 養安院本伊佐早

本八行本已有則字 則可為矣 広隆寺本可下有以字・養

安院本伊佐早本則下有是字、可下有以字、矣作也・八行本則

下有是字。

○滕文公問曰至強為善而已矣

捩而居之 養安院本伊佐早本八行本之下有焉字。

必有王者矣 伊佐早本作有必王者矣。

君子造業 養安院本伊佐早本八行本造作創。豈如彼齊何乎
但當自強為善法 養安院本無何字、無當自二字。遺後世也
伊佐早本八行本也作而已矣三字。

所欲者吾土地也 大和本無者字·養安院本伊佐早本無也字。

如此而去之 養安院本伊佐早本八行本之下有矣字。如歸趨

於市 養安院本趨作走。先人之之所受也 各本不重之字·

伊佐早本受作守^{受イ}。世世守之 養安院本伊佐早本不重世字。

○魯平公將出至使子不遇哉

今乘輿已駕矣 伊佐早本作今乘輿（已駕）矣。

孟子弟子也 伊佐早本作孟子（弟子）也。不便見孟軻 養

安院本伊佐早本八行本軻下有也字。

以五鼎与 伊佐早本作以[△]五鼎与。

前者以士礼士礼後者以大夫礼 養安院本伊佐早本八行本無

者二字。貧富不同也 伊佐早本作貧富不^同曰也。

吾之不遇魯侯天也 広隆寺本侯作公。

及其欲止 伊佐早本及作乃·養安院本及作乃^及。冀得行道

伊佐早本作冀得（行道）。臧倉小子 広隆寺本竜谷本子作

人·元良本子作子^{人イ}·養安院本伊佐早本八行本作臧氏小子。

孟子卷第二 広隆寺本伊佐早本二下有終字·竜谷本作音注孟子

卷之二·八行本作孟子註疏解經卷第二下。

孟子卷第三 趙氏注

公孫丑章句上 広隆寺本公孫丑章句上下有凡九章·無趙氏注三

字·元良本仁和寺本無趙氏注三字·其他樣式各本同各本卷

第一·竜谷本同竜谷本卷第一·大和本無趙氏注三字、無章

數·其他樣式同大和本卷第一·伊佐早本養安院本同各本卷

第一·八行本本同八行本卷第一上·有章數者章數皆作九。

○公孫丑章句上

広隆寺本無注 以下章做此。

○公孫丑問曰至惟此時為然

許猶與他 伊佐早本作許猶與（也）。得當仕路於齊 伊佐早

本齊下有也字。

晏子而已矣 大和本無矣字。

蹙然猶蹙蹙也 養安院本伊佐早本蹙蹙作足蹙蹙三字。故曾

子畏敬之 元良本畏敬作敬畏·竜谷本畏敬作[◎]敬畏。使之

專國政 元良本作使（之）專國政。不帥齊桓公行王道 広

隆寺本帥作師、但訓ヒキイ·養安院本伊佐早本帥作率。恥

見比之甚也 元良本無也字。非丑之言小也 養安院本伊佐

早本言下有為字。尚不可為邪。広隆寺本養安院本伊佐早本

可下有以字。竜谷本可下有以字。伊佐早本邪作耶。

弟子之惑。伊佐早本惑作感、但訓マトイ。

不足以為法邪。伊佐早本邪作耶。

婦殿久矣久則。伊佐早本下久作反。

猶運之掌也。伊佐早本無也字。

故言何可當也。伊佐早本可作下。謂大甲大戊。伊佐早本同

・竜谷本上大作太。各本大二字共作太。言易也。養安院本

作言是其易然也。伊佐早本作言是其易然。八行本言下有其

字。

齊人有言曰。広隆寺本作齊人(有)言曰。

耒耜之屬。伊佐早本作耒耜(之)屬。今時易以行王化者也

養安院本無今字。伊佐早本時下有之字、也作而已矣三字。

雞鳴狗吠。仁和寺本養安院本雞作鷄。

地不改辟矣。伊佐早本作地不改辟矣。

王莫之能禦也。養安院本大和本無之字。

今齊地土民人已足矣。各本已作以。言民室屋相望。伊佐早

本作言民室(屋)相望。

未有甚於此時者也。伊佐早本無於字。

〔章指〕管晏雖勤。竜谷本(元良本)晏作嬰。

○公孫丑問曰至有盛於孔子也

如此則動心。養安院本無則字。

居齊卿相之位。元良本無之字。恐不能行否邪。伊佐早本邪

作耶。養安院本邪作耶。不敢欲行也。伊佐早本無也字。不

妄動心有所畏也。伊佐早本心作正。堅勇過孟賁。伊佐早本

過下有於字。賁勇士也。八行本勇作男。按八行本此字係補

刻。孟子勇於德。伊佐早本德下有也字。

不膚撓。伊佐早本作(不)膚撓

思以一豪。元良本豪作豪。伊佐早本豪作毫。

目不轉精逃避。八行本同。各本精作睛。勇氣如是。伊佐早

本勇氣作氣勇。伊佐早本八行本是下有也字。

後進慮勝而後會。伊佐早本作後(進)慮勝而後會。

施舍自言其名。伊佐早本作施(舍)自言其名。但曰舍豈能

広隆寺本伊佐早本八行本重舍字。要不恐懼而已也。養安院

本伊佐早本也作矣。若此畏三軍之衆。養安院本伊佐早本此

下有則字。

夫二子之勇。元良本作夫二(子)之勇。

孟子以為曾子。伊佐早本作孟子以(為)。曾子孝之大也。養

安院本無也字。故以舍譬曾子。養安院本伊佐早本舍上有施字。

昔日曾子謂子襄。養安院本作（昔日）曾子謂子襄。

詩云惴惴其粟。伊佐早本云作曰。広隆寺本竜谷本伊佐早本八行本粟佐慄。

不得於言。伊佐早本言作善_言。

知人之有惡心。元良本竜谷本無之字。孟子以為是則可。伊

佐早本作孟子以為（是則）可。

夫志氣之帥。養安院本伊佐早本大和本帥作師、但訓スイ、養安院

本伊佐早本注文帥字倣此。

所以充滿形体為喜怒也。伊佐早本怒作好。

志至焉氣次焉。大和本無下焉字。

氣為其次。伊佐早本八行本次下有焉字。無乱其氣。伊佐早

本無下有暴字。志閉塞則氣不行。伊佐早本作志閉塞則（氣）

不行。志氣之相動也。養安院本竜谷本無也字。

敢問夫子惡乎長。広隆寺本作（敢問夫子）惡乎長子惡乎長。

才志所長何等。伊佐早本等作言。我能自養育我之所有浩然

之大氣也。元良本自作身_白。伊佐早本浩然作浩（然）。

塞于天地之間。大和本作塞于天（地）之間。

治於神明。広隆寺本竜谷本養安院本治作合。元良本治作合_治。不以邪事干害之。伊佐早本邪作耶_邪。

無是餒也。養安院本無也字。

無形而生有形。広隆寺本生下有於字。八行本形作刑。按八行本此字係補刻。能養此道氣。八行本無此字。按八行本此

句係補刻。常以充滿五藏。広隆寺本常作当。元良本竜谷本

伊佐早本藏作臆。密声取敵。八行本無密字。按八行本此句

係補刻。從内而出。伊佐早本作從内（而）出。但以為福。伊

佐早本但作便。但心勿忘其為福。伊佐早本但下有人字。芒

芒罷倦之貌。広隆寺本元良本竜谷本罷上有然字。以喻人之

情邀福。広隆寺本元良本之作助。元良本邀作違_遲。反使之枯

死也。竜谷本死下有者字。天下人行善。伊佐早本人上有之

字。由此揠苗之人也。養安院本無此字。八行本此作比、無之

字。非徒無益於苗乃反害之。養安院本乃作而。急欲求其福

。広隆寺本福下有亦若揠苗者矣六字。元良本福下有正亦若

此揠苗者矣八字。竜谷本福下有亦若此揠苗者六字。養安院

本福下有若此揠苗者矣六字。伊佐早本福下有若此揠苗者

矣七字。若孀孟言雄雞。広隆寺本孟下有子字。竜谷本孟下

有子_△字。有淫美不信之辭。広隆寺本元良本養安院本淫作滯。

麗姬勸晉獻公 広隆寺本麗作肱・竜谷本伊佐早本八行本麗作驪。与申生政能知 養安院本政作事・伊佐早本生下有之字・八行本政作之。知其所趨者也 八行本無者字。

害於其政 養安院本作(害)於其政。

必妨害仁政 竜谷本無必字。必從我言也 竜谷本言下有者字。不能如二子 竜谷本伊佐早本子下有也字。四肢股肱也

伊佐早本作(四)肢股肱也。昔曰竊聞 伊佐早本作昔(日)竊聞。孟子曰且置是 伊佐早本是作之。可願比伯夷不 広隆寺本伊佐早本八行本不作否。

非其君不事 四部叢刊本此句上脱曰不同道言伯夷之行不与孔子伊尹同道也 十八

字・此十八字各本同・竜谷本言伯夷作言伯夷△。非已所好之君也 養安院本已下有以字。其得行道而已矣 各本其

作冀。我心之所庶幾 養安院本之作無。問此三人之德 伊佐早本問此作此問。班然而等乎 伊佐早本乎作也。

然則有同与 広隆寺本仁和寺本伊佐早本然上有曰字・元良本作曰イ然則有同与。

然則此三人 竜谷本作然則(此)三人。此二人君国 元良本二作三・養安院本脱二人君国以下至是則孔子三十二字。

三人之智足以識 竜谷本足作是足。亦不至於其所好 元良本

於其作於(阿)其・各本於作阿。陳三子之道孔子也 養安

院本伊佐早本之下有以字・八行本三作二。予宰我名也以為孔子 伊佐早本作予(宰)我名也以為孔宰子。如使当堯舜

之処賢之遠矣 八行本同・各本処作世・賢上有觀於制度四字。其政之可以致大平也 竜谷本無之字・広隆寺本元良本

竜谷本養安院本八行本大作太。知其德之可与文武同也 元良本可下有上字。未能備若孔子也 広隆寺本元良本同・各

本未能作未有能。泰山之於丘垤 仁和寺本泰作太。

至於人類卓絶 伊佐早本作(至)於人類卓絶。〈章指〉聖人量時 (元良本)無聖人以下二十三字。学孔子也 養安院

本無也字。○孟子以力至此之謂也

然後能霸 元良本能作彼能。若湯文王是也 広隆寺本作若(湯)文王是也。服就於人 広隆寺本八行本就作從。非心

服也 伊佐早本八行本服下有者字。以己德不如彼而往 伊佐早本不如作不(如)而下有如字。顔淵子貢等 元良本淵

作子。從四方来者 伊佐早本者作皆者。〈章指〉力服心服 (元良本)無力服以下二十字。德以懷之

竜谷本懷作來。

○孟子仁則榮至此之謂也

民安得其榮 伊佐早本竜谷本安下有故字。蒙其恥辱惡辱而

元良本竜谷本伊佐早本恥作耻。伊佐早本惡下有耻字、而作

如。譬若惡濕而居墀下 広隆寺本元良本竜谷本伊佐早本墀

作卑。伊佐早本濕作温濕 近水泉之地也 広隆寺本元良本竜

谷本伊佐早本地下有者字。及無鄰国之虞 伊佐早本無下有

其字。審其刑罰 広隆寺本伊佐早本罰作討。必來畏服 伊

佐早本服下有也字。

其知道乎 広隆寺本無其字。

迨及徹取也 伊佐早本及下有也字。元良本及徹作及徹也。天

未陰雨而 竜谷本作天未陰雨而。伊佐早本作天未陰雨

而。怠惰 伊佐早本惰作情惰。是以見侵 伊佐早本作是以

見以侵。

大甲曰 竜谷本同。各本大作太。

高宗 養安院本宗作來。雖雉 伊佐早本作雅雉雉。若帝乙慢

神 伊佐早本作若。帝乙慢神。是為不可活也 伊佐早本

是下有以字。〈章指〉元良本無。

○孟子曰尊賢使能至未之有也

出衆者也 伊佐早本衆作之衆。万人者 竜谷本養安院本伊佐

早本万上有勝字。国宅無征 伊佐早本無国字。周礼大宰

広隆寺本八行本大作太。治公田不横稅賦 伊佐早本田下有

而字。周礼戴師曰 伊佐早本作周礼周戴師曰 不耕者出屋

粟 伊佐早本同。各本者出作者有出。氓民也 伊佐早本氓

上有氓者乃謂其民也矣八字。生民以來 広隆寺本元良本同

各本生上有自字。按八行本此葉係元修。為政当為天 広

隆寺本政作故。天吏也 竜谷本吏下有者字。〈章指〉衆夫擾

擾 竜谷本擾擾作擾擾。

○孟子曰人皆至不足以事父母

人皆有不忍人之心 広隆寺本作人皆有不忍人之心。

言人人皆有 元良本不重人字。

可掌之掌上 伊佐早本作可掌之掌上。

孺子未有知小子也 元良本知作如知

見小小孺子 広隆寺本伊佐早本不重小字。元良本作見小

小孺子 情發於中 広隆寺本情作以。元良本無情字。非

為其人也 元良本作非為其仁也人。故怵惕也 伊佐早本作故

為之。怵惕者而然也。可引用之 竜谷本之下有也字。

火之始然 八行本然作燃。

凡有端在於我。各本有下有四字。知皆靡而充大。 広隆寺本
知作智。何以事父母也。元良本何下有保字。〈章指〉充広其
道。 (元良本) 充広以下十三字欠。上以匡君。 養安院本上
以匡君以下八字係補入。

○孟子曰矢人至反求諸己而已矣

作鎧之人也。 養安院本無也字。利在於人死也。 広隆寺本作
利◎於人在死也。

焉得智。大和本智作知。

夫簡挾不処仁。 養安院本無簡字。

夫仁天之尊爵也。 竜谷本作夫仁天(之)尊爵也。

恥為役由弓人。 養安院本役作用。

仁恩之未至。 伊佐早本作仁恩有所未至也(不)怨勝人者。

〈章指〉(元良本)無。矢人也。 竜谷本無人字。

○孟子曰子路至与人為善

能改也。 伊佐早本改下有者字。 禹扞讜言。 広隆寺本讜作昌

伊佐早本讜作昌^当。 大舜虞也。 養安院本同。 各本虞下有帝字。

故為大也。 伊佐早本大作天^大。

以至為帝。 広隆寺本無為字。

〈章指〉(元良本)無。

○孟子曰伯夷至君子不由也

推惡惡之心。 養安院本作推惡(惡)之心。

望望代之。 広隆寺本代作去。元良本竜谷本代之作然去。 養

安院本伊佐早本八行本代之作然。恐其汙己也。 元良本恐作

惡。 婦西伯也。 伊佐早本伯下有者字。

袒裼裸裎。 広隆寺本養安院本大和本作袒裼裸裎。

云善已而已。 広隆寺本云作其。

亦不屑去已。 広隆寺本已作也。

偕俱也。 養安院本俱作共。不失己之正心而已耳援而止之

伊佐早本無耳之二字。三緇。 伊佐早本八行本緇作黜。 孟子

乃平之。 広隆寺本元良本竜谷本養安院本平作評。 伊佐早本

八行本平作評、之下有耳字。〈章指〉猶有所闕。 (元良本)無

所字、無介者以下二十字。純聖能終。 養安院本竜谷本終作

然。

孟子卷第三。 広隆寺本三下有終字。 竜谷本作音注孟子卷之三

八行本作孟子註疏解經卷第三下。

孟子卷第四。 趙氏注

公孫丑章句下。 広隆寺本公孫丑章句下有凡十四章四字双行、

無趙氏注三字。伊佐早本第作之、無趙氏注三字、無章數。元良本無趙氏注三字。養安院本公孫丑章句下有凡十四章四字。仁和寺本無趙氏注三字。大和本公孫丑章句下有凡十四章四字非小字、無趙氏注三字。其他樣式各本同各本卷第一。竜谷本同竜谷本卷第一。八行本同八行本卷第一。有章數者章數皆作十四。

○孟子曰天時至戰必勝矣

五行王相 広隆寺本元良本同。各本王作旺。城池之固也。伊佐早本作(城)地之固也。不如地利 広隆寺本養安院本。伊佐早本利下有也字。

城非不高也池非不深也 伊佐早本不高作(不)高、池作地。

民不為守 伊佐早本不下有得字。曰君其使鶴戰若是之類也。伊佐早本無其字、若是之類作余焉能戰是五字。恃仁惠也。伊佐早本惠下有者字。仗道德也。養安院本伊佐早本八行本仗下有其字、也作而已矣三字。

○孟子將朝王至不為管仲者乎

孟子雖仕於齊 伊佐早本八行本無於字。未嘗趨朝而拜也。元良本趨作趨。有惡寒之病 伊佐早本八行本病作疾。欲力疾 伊佐早本力作方、但訓タスケ。得相見否 伊佐早本否

下有也字。故稱有疾。元良本疾下有而拒之也四字。伊佐早本無故字、疾下有也字。丑以為不可 八行本作丑以為不可。按八行本此句係補刻。孟子言我昨日病 伊佐早本病作疾。將医来且問疾也 広隆寺本元良本疾作病。

造於朝我不識 養安院本無我字。學於孟子者也 伊佐早本學上有從字。權辭以對如此 広隆寺本元良本竜谷本權下有礼字。

不得已而之 竜谷本作不得已(而)。

孟子迫於仲子之言 竜谷本無於字。具以語景子 八行本下有耳字。広隆寺本養安院本具作且、子下有耳字。元良本具作且、子下有耳字。伊佐早本作且以語景丑氏耳。

齊人無以仁義 大和本齊作齊。

曰惡者深嗟歎 伊佐早本八行本歎作嘆。今人言謂王無知 広隆寺本元良本八行本言作皆。如我敬王者邪 伊佐早本八行本邪作也。

不俟駕固將朝也 養安院本無也字。

礼父召無諾而不至也 各本重無諾二字。夫子若是事宜与夫礼若不相似然乎 広隆寺本与作邪。伊佐早本無不字。曾子曰晋楚之富 伊佐早本作曾子曰晋(楚)之富。

我豈謂是君臣召呼之間。伊佐早本作我豈謂是君臣呼之間。

自以不憚晉楚之君。龍谷本養安院本作自以(不)憚晉楚之君。

我臣輕於王乎。廣隆寺本作我臣輕◎王於乎。伊佐早本無我

字。八行本王作上。天下之所通尊也。養安院本作天下之所

通尊々也。何得以一慢二乎。伊佐早本無乎字。言古之大聖

廣隆寺本古下有人字。大賢有所興為之。伊佐早本作大賢

有所興為為之。桓公能師臣而管仲。伊佐早本而作於。譏其

功烈之卑也。八行本無功字。元良本竟谷本也作耳。今天下

人君土地相類。八行本人上有之字。伊佐早本人上有之字。土

作士。可從受教者。元良本從下有而字。者下有也字。伊佐早

本八行本者下有也字。故非齊王之召己己是以不往也。竟谷

本下己字作也。廣隆寺本元良本伊佐早本八行本下己字作也、

也作而朝見於齊王也七字。養安院本也作而朝見於齊王也七

字。〈章指〉(元良本)無。尊德樂義。竟谷本樂作無。

○陳臻問曰至可以貨取乎

前日於齊王餽

大和本齊作齋齊イ

古者以一鎰。伊佐早本無者字。鎰二十兩。廣隆寺本元良本

伊佐早本二十作二十四。八行本作一鎰是為二十四兩也故云

兼金二百百鎰也。此金可鬻以作兵備。元良本以上有受字。

若於齊則。大和本齊作齋齊イ

而以貨財見取乎。伊佐早本八行本以作可、乎下有是其礼当

其可也七字。

○孟子之平陸至寡人之罪也

一日三失其行伍。伊佐早本伍作何。戒昭果毅。廣隆寺本元

良本竟谷本八行本戒作以。伊佐早本戒作以。不及待三失伍

也。伊佐早本三下有而字。

老羸轉於溝壑。養安院本作老羸(轉)於溝壑。

不肯賑窮。廣隆寺本元良本賑作振。

今有受人之牛羊。元良本無之字。

不得自尊。伊佐早本專作惠。知以不去位為罪也。伊佐早本

罪下有者字。為王言所与孔距心語者也。八行本無所与二字。

故受其罪。伊佐早本八行本罪下有也字。〈章指〉(元良本)

無。

○孟子謂臧龍曰至有余裕哉

以五戒先後。伊佐早本戒作我。刑罰。廣隆寺本元良本伊佐

早本罰作罰。母使罪麗於民。伊佐早本八行本母作無。其欲

近王似諫正刑罰之。伊佐早本正下有王字。廣隆寺本八行本

似作以。按八行本此字係補刻。又按元良本似字人偏係後補

写·広隆寺本元良本伊佐早本罰作討。

齊人曰所以 大和本齊作齋^齊。

諫使之諫而去 養安院本諫字虫損不明·各本諫作謀·元良

本下諫下有不用二字。不知自諫又不去 元良本諫下有不用

二字·伊佐早本八行本諫下有不用而三字。孟子弟子 伊佐

早本子下有也字。

有言責者不得其言 広隆寺本無者字。

諫争之官也 元良本竜谷本伊佐早本八行本争作諍。言責献

言之責 竜谷本無之字。孟子言人去 各本人下有臣居官不

得守其職諫正君不見納者皆当致仕而去二十一字。舒緩有余

裕 元良本竜谷本緩下有而字。

○孟子為卿於齊至予何言哉

出弔於滕 大和本滕作勝^滕。

反齊滕之路 大和本齊作齋。

出弔滕君 伊佐早本弔下有於字。蓋齊下邑也 広隆寺本無

也字。王驪為輔行輔副使也 養安院本驪作謹·元良本副作

嗣·伊佐早本輔行輔作輔（行輔）。王驪齊之諂人 養安院

本驪作謹。有寵於王後為右師 伊佐早本右作有·広隆寺本

養安院本伊佐早本寵作竈。

孟子不悅其為人 養安院本無為字。

公孫丑曰齊卿之位 大和本齊作齋。

不知諂於人也 伊佐早本也下有蓋言道不合者故不相与言所

以有是而言之而已二十字。〈章指〉不相与言 養安院本無

不字。

○孟子自齊至天下儉其親

孟子自齊葬於魯 大和本齊作齋。

孟子事於齊 広隆寺本同·各本事作仕。喪母歸葬於魯 伊

佐早本八行本母下有而字。古者棺槨 伊佐早本槨作槨。然

後能尽於人心所不忍也 伊佐早本無能字。謂一世之厚 各

本厚作後。孝子更去辟世 広隆寺本辟作避。我何為独不然

然如是也 元良本伊佐早本然如是也作不然者言其不如是也

九字。独不快然無所恨也 広隆寺本然下有而字。

吾聞之 大和本竜谷本之下有也字。

竭其力者也 伊佐早本也下有論語曰生事之以礼死葬之以礼

可謂孝也已矣十九字·八行本同伊佐早本、無也已二字。〈章

指〉（元良本）無。匪礼之踰 龍谷本踰作愈。

○沈同以其私至何為勸之哉

無王命而私受之於子 養安院本無而字。

勸其王伐燕 伊佐早本燕下有国字。勸齊王代燕有之 元良本竜谷本之作諸。彼然而伐之 伊佐早本八行本之下有也字。自往伐之 伊佐早本八行本之下有矣字。我何為当勸齊伐燕乎 伊佐早本八行本齊下有国字、燕下有国字·八行本無当字。〈章指〉王道之正也 養安院本王作天。

○燕人畔至又從為之辭

王歎曰是何言言周公何可及也 伊佐早本此句在故曰王無患焉六字之下、何言下有也字。知而使之是不仁也 大和本作知而使之(是)不仁也。賈欲以此說孟子也 伊佐早本說作讒。周公不知其將畔 伊佐早本八行本畔下有也字。

聖人且有過与 伊佐早本無与字。

亦不必知其將畔周公惟管叔弟也 広隆寺本作亦不必知◎將畔周公惟管叔其也。竜谷本將畔作將(畔)·八行本知作非。

周公於此過謬 八行本此作之·按八行本之字係補刻。不亦宜乎 伊佐早本乎作也。

如日月之食 伊佐早本食作蝕。

不能匡君 元良本竜谷本作不能匡国君·元良本国字傍有校語謂唐本無之。〈章指〉(元良本)無。

○孟子致為臣而歸至自此賤大夫始矣

得相見故喜也 伊佐早本八行本喜下有之字。還使寡人得相見否 各本還作遂·伊佐早本八行本否下有乎字。王欲於国中央為孟子築室使養教 伊佐早本央作而、養教作教養。使學者遠近鈞也 竜谷本伊佐早本八行本鈞作均。言之於孟子 竜谷本無於字。孟子弟子陳臻 伊佐早本八行本臻下有也字。享十万鍾之祿 伊佐早本八行本享作饗。距時子之言也 伊佐早本言下有所以有是云六字。二子孟子弟子也 竜谷本作二子孟弟子(也)。子叔心疑 元良本竜谷本伊佐早本疑下有或之二字。亦以為可就也 伊佐早本也作之矣。

不欲富貴而 伊佐早本而作之。

竜断 伊佐早本竜作龔·注文竜字皆倣此。

我則恥之 広隆寺本伊佐早本之下有也字·元良本養安院本竜谷本伊佐早本恥作耻·以下恥字倣此。

易其所無者 伊佐早本作易其(所)無者。

從而征之征商 伊佐早本征商作征之商。

左右占望見 各本占作皆·八行本占望作占視望。人皆賤其貪也 竜谷本貪下有者字。遂征商人 伊佐早本商作富。我苟貪万鍾 伊佐早本鍾作物。亦与此賤大夫 龍谷本作亦与

(此)賤大夫。

○孟子去齊至長者絕子乎

孟子去齊欲歸鄒 竜谷本鄒作雛。^鄒至昼而宿也 伊佐早本八行本昼下有地字。留孟子之行 伊佐早本八行本行下有也字。客不悅曰弟子 大和本客作客。^{容イ}

退欲去請絕也 養安院本退作進。其身乃安也 伊佐早本八行本也作矣。何為而愠恨也 伊佐早本也作矣。〈章指〉(元良本)無。

○孟子去齊至士誠小人也

見王而不遇 仁和寺本遇作過。^遇

尹士齊人也 広隆寺本土作子。孟子不知則 伊佐早本作孟子不知(則)。濡滯猶稽也 元良本猶稽作猶稽、滯下有也字。^{滯久}

・養安院本猶稽作熟稽・竜谷本伊佐早本八行本猶稽作淹久。怪其猶久 元良本伊佐早本猶作淹・竜谷本八行本猶作孰・養安院本猶作熟。士於此事不悅也 伊佐早本八行本下有

則字。浩浩有遠志 伊佐早本八行本志下有也字。若是小丈夫 大和本丈夫作大。^{丈イ}

若狷急小丈夫 広隆寺本文作大・元良本文作丈。^大八行本重狷字。論曰 八行本同・各本作論語曰。聞義則服 広隆寺

本服下有故曰士誠小人六字・伊佐早本八行本同広隆寺本、

人下有也字。〈章指〉賢者志其大 (元良本)者下有其字。不賢者志其小者此之謂也 養安院本作不賢◎志其小者此之謂也者。[◎]

○孟子去齊至吾何為不予哉

顔色不悅也 養安院本同・各本色下有故字・元良本也作者

・伊佐早本不悅作(不)悅。彼前聖賢之出 広隆寺本伊佐早本八行本彼下有時字。是有時也 伊佐早本有字傍有校語謂或作其・八行本有作其。能名正一世者 広隆寺本伊佐早

本正下有於字。何為不悅予乎 元良本竜谷本乎作哉・伊佐早本乎下有是(故)知命者不憂不懼与天消息而已矣十六字

・八行本同伊佐早本、是(故)作故。〈章指〉(元良本)無。○孟子去齊至非我志也

不受祿也 伊佐早本八行本受下有其字。不欲變故不受也 伊佐早本受作變。

非古之道也 伊佐早本無也字・八行本古下有人字。見非泰甚 伊佐早本泰作大・八行本泰作太。故不復受祿 伊佐早

本受下有其字、祿下有也字・八行本受下有其字。言我本志欲速 広隆寺本志作意。故使我久而 伊佐早本久作反。

末卷 広隆寺本作孟子卷第四終・元良本養安院本伊佐早本仁和寺

本大和本作孟子卷第四・竜谷本作音注孟子卷之四・八行本作孟子註疏解經卷第四下。

孟子卷第五

趙氏注

滕文公章句上 広隆寺本無趙氏注三字、無章數・伊佐早本無章數・仁和寺本無趙氏注三字・大和本無趙氏注三字、無章數・其他樣式各本同各本卷第一・元良本無趙氏注三字、章數非小字・其他樣式同元良本卷第一・竜谷本同竜谷本卷第一・八行本同八行本卷第一上・有章數者章數皆作五。

○滕文公章句上

文公尊敬 八行本公下有於當時三字。若弟子之問師故 八行本作猶衛靈公問陳於孔子論語因。

○滕文公為世子至厥疾不瘳

録諸侯之世 元良本録作録録 与文公相直 八行本公作正。似後世避諱改考公 元良本竜谷本八行本似作以。欲勸勉世子也 八行本作故勉世子。天下之道一言而已 広隆寺本元良本竜谷本伊佐早本天上有夫字・八行本無言字・伊佐早本已下有矣字。復何疑也 八行本也作邪。与我同丈夫耳 八行本無耳字。我何為畏之哉 八行本無我字、畏作彼 言欲有

所為 八行本無所字。以是勉世子也 竜谷本子下有者字。滕雖小 竜谷本小下有国字。德惠乃洽也 元良本洽字訓ヲサム・竜谷本洽作治、無也字・伊佐早本洽作治。

○滕定公薨至弔者大悦

故謂大喪 各本喪下有也字。父兄百官皆不欲曰 八行本欲下有也故二字。父兄百官滕之同姓 伊佐早本八行本之作文。異性諸臣也 広隆寺本也作之。吾有所受之也 大和本無也字。我軫有所承受之 八行本無承字。我受之於孟子也 八行本也下有故曰吾有所受六字・按八行本此葉係元修。故止我也為我問 伊佐早本作故止我（也）為（我）問。使信我也 竜谷本八行本使下有其字・按八行本此葉係元修。不可用他事求也 八行本他事作也是・按八行本此葉係元修。喪上哀各本上作尚。惟当以哀戚感之耳 八行本無惟当以三字・按八行本此葉係元修。嗣君但尽哀情 伊佐早本嗣上有感字。以君先哀故也 八行本故作之・按八行本此葉係元修。

草尚之風 八行本尚作上・按八行本此葉係元修。下以為俗 伊佐早本俗作倚倍 以身帥之也 元良本伊佐早本帥作帥、但訓

共ヒキウル。

可謂曰知 伊佐早本知作智。

可謂曰知 伊佐早本八行本知作智。按八行本此葉係元修。

四方諸侯之賔 八行本賔作殯。其孝行之高美也 元良本無也字。

○滕文公問為國至則在君与子矣

滕文公問為國 八行本無為字。

以政督趣 元良本趣作促。故各自載之也 元良本無也字。

竜谷本無之。道相反也 伊佐早本反作背。夏禹之世 伊佐

早本作夏禹之子^世 助公家耕百畝者 竜谷本耕下有者字。徹

猶人徹取物也 八行本猶下有取字。按八行本此字係補刻。

無善於助者也 広隆寺本作無善於助者也。謂之莫不善也

広隆寺本元良本八行本善下有於貢二字。伊佐早本善下有貢

字。反以常類少取之 伊佐早本八行本類作数。為多少与民

同也 八行本同下有之字。勤苦不休息之貌 元良本無之字。

又当拳貸子倍 伊佐早本子作子^子 至使老小^子転戸平溝壑

元良本竜谷本伊佐早本無戸字。八行本小作少、無乎字。闕

其勤勞者也 伊佐早本闕作憫。大平時 元良本竜谷本八行

本大作太。以次及我私田也 元良本以次及作以(次)及。

広隆寺本以下及上字破損不明。猶殷人助者 竜谷本人下有之字。云雨公田知雖周家時亦助也 元良本竜谷本伊佐早本亦下有有字、助下有之制二字。八行本兩作前、家下有之字、亦下有有字、助下有之之制三字。

所以明人倫也 大和本作所以明人倫(也)。

達物導氣也 元良本導作導^{通イ}。彝倫攸敘 各本敘作序。伊佐

早本攸作収^攸。謂常事所序也 元良本竜谷本序下有者字。伊

佐早本謂下有其字、所作行、序下有者字。八行本謂下有其

字、所作有、序下有者字。

其命惟新 広隆寺本仁和寺本惟作維。

以是勸勉文公 広隆寺本文下有王字[△]。庶幾新其國也 広隆

寺本也下有各去也三字。按此三字係後補写。必先正其疆界

元良本必作必^{亦イ}。竜谷本必作亦。鈞井田平穀祿 竜谷本鈞

作均。乃經土地而井牧其田野 元良本經作任^經。八行本經作

任、無牧字。

慢經界經界既正 伊佐早本不重經界二字。

不正本也 八行本無本字。

將為君子焉將為野人焉 広隆寺本野作野^小。仁和寺本野作小。

足以為善政也 伊佐早本足作是^足。井田以九頃為数 伊佐早

本頃作項・竜谷本頃作頻。時行重賦 伊佐早本八行本重下

有法字。圭絜也 伊佐早本作圭[△]祀圭絜也・元良本八行本絜

作潔、以下絜字做此。上田故謂之圭田 元良本田下有也字

・竜谷本上作士、田下有也字。重祭祀利民 広隆寺本祀作

礼。

死徙無出郷 広隆寺本仁和寺本徙作徒、仁和寺本傍音シ・伊佐

早本徙作徒、傍訓ウツルニモ。

徙謂爰土易居 広隆寺本徙作徒、爰作爰・元良本謂作道^{謂イ}・

伊佐早本徙作徒、爰土作爰士・八行本爰土作爰士。相友相

友耦也 伊佐早本無下相字。周礼太宰曰 広隆寺本同・各

本太作大。相助助察姦也 広隆寺本同・各本姦下有惡字・

伊佐早本不重助字。救其困急 伊佐早本困作困^困 睦和也

伊佐早本和下有睦字。其余二十畝 八行本二作一。以為廬

宅園圃家二畝半也 八行本廬下有井字、二作一。撫循之也

伊佐早本循作脩^循。〈章指〉救民事 竜谷本（元良本）救作

勅。鈞井田 竜谷本鈞作鈞^均。

○有為神農之言者至惡能治国家

君行仁政 伊佐早本仁作二。
神農氏也 八行本無也字。野人之称 八行本之称二字作也。

文公与之処 伊佐早本処作所。

以供食飲也 広隆寺本飲作飯・八行本食飲作飲食。神農之

道也 竜谷本道下有者字。以為滕君 伊佐早本作為（滕）

君。

賢者与民並耕而食 大和本無而字。

是厲民而以自養也 八行本厲作万。

古賢君当与民並耕 伊佐早本君作者。饗殮熟食也 伊佐早

本作饗殮（熟）食。許子自種之 伊佐早本無自字。

曰否許子衣褐 大和本作（曰）否許子衣褐。

若今馬衣者也 八行本無者字。孟子問相 八行本相下有冠

乎二字。孟子曰許子自織素与 八行本無此九字。相言許子

以粟易素 元良本素下有也字。許子自治鉄陶 広隆寺本鉄

作鉄・元良本治作治^{治イ}・八行本治作治。

舍皆取諸其宮中 伊佐早本取作敢。

何為紛紛然 竜谷本作何為紛紛（然）。

何許子之不憚煩 何許子之（不）憚煩。

不病陶冶 伊佐早本作不許子病陶冶。陶冶亦何以 八行本

治作治・按八行本治亦二字係補刻。止不肯皆自取之 広隆

寺本無止字・伊佐早本無自字。紛紛為煩也 八行本為上有

而字。

百工之事 大和本無之字。

故交易也 竜谷本也作乎。自天子以下 伊佐早本子作下。

此反可得耕且為邪 八行本無得字。不知礼也 伊佐早本八

行本礼下有者字。

有小民之事 広隆寺本民作民^人・元良本民作民^{人イ}・仁和寺本竜谷本

伊佐早本八行本民作人。

以羸路之困也 広隆寺本元良本竜谷本伊佐早本路作困、困

作路・八行本路作困、困作路、也下有故曰是率天下而路也九

字。

治人勞力者 伊佐早本力作心^力。

勞心者君也勞力者民也 八行本無者二字。

天下草木暢茂 伊佐早本木作水^本。

反交於中国 広隆寺本作反(交)於中国。故堯独憂念 広

隆寺本無堯字。禹敷土治土也 元良本治土二字作是治其土

四字・竜谷本治土二字作是言治土四字・伊佐早本八行本治

土二字作是言治其土五字。掌主也 竜谷本掌作常^掌・按八行

本以下係元修。猶古火正也 伊佐早本八行本古下有之字。

焚燒之 元良本作焚燒^{奔走イ}・八行本無燒字。遠竄也 伊佐早本

八行本遠上有奔走二字。三過其家門 八行本無也字。不得

入 竜谷本伊佐早本八行本無得字。寧得耕乎 八行本寧下

有可字。

長幼有敘 広隆寺本仁和寺本敘作序・元良本敘作叙^序。

司徒主人教 広隆寺本竜谷本主作得。貴信契之教也 元良

本信下有是字、之下有所字・伊佐早本八行本信下有是為

二字、之下有所字。

放勳日勞之來之 元良本日作日^{日印本}、傍有校語謂或作日誤朱本作日

・竜谷本日作日、傍有校語謂日兩說・仁和寺本日作日^{ヒヒニ}・大

和本日作日、傍有校語謂日兩說・八行本日作日。

振德之 伊佐早本振作賑。

放勳堯名也 八行本名作号。

振其羸窮 伊佐早本振作賑、其作善^其。加德惠也 元良本惠

作惠^{恩イ}・八行本此四字作德恩惠之德也六字。

聖人之憂民 大和本無之字。

堯以不得舜 伊佐早本不作所^不・按以上八行本皆係元修。

得人者謂之仁 元良本作得人(者)謂之仁。

不治易為已憂 広隆寺本易下有亦字・元良本竜谷本治下有

不字・八行本治易作易治。

堯舜之治天下 元良本天下作天下也三字。

有天下之位 元良本龍谷本下作子。

吾聞用夏變夷者 廣隆寺本夏作憂_夏

則其道也 八行本則作同。

北方之學者未聞或之先也 各本聞作能。

豪傑之士 伊佐早本豪作懔 注文豪字倣此。

陳良生於楚 伊佐早本良作相。不能有先之者也 八行本無

者字。思孔子而不可復見 伊佐早本思不有而字。朝夕奉事

之如事孔子 龍谷本八行本之下有禮字。春秋之五月六月

八行本無五下月字。皜皜甚白也 元良本八行本甚白作白甚。

故不肯 龍谷本肯下有者也二字。伊佐早本八行本肯下有也

字。

入於幽谷者 龍谷本作入（於）幽谷者。

今此許行 伊佐早本無行字。馱搏勞也 廣隆寺本搏作博。

元良本伊佐早本搏作博、勞下有鳥字。龍谷本搏作博、勞下有

鳥字。八行本搏作博、勞下有鳥字。穀物者也 伊佐早本物

下有馱字。許子託於大古 廣隆寺本元良本龍谷本大作太。

堯舜之道 八行本重之字。上喬木 八行本上作止。入深谷

八行本作入於幽谷。懲艾也 元良本艾作止_艾。不相偽誕 各

本誕作詐。不欺愚小也 伊佐早本作不相欺愚小人。八行本

作不相欺愚。長短謂尺丈 八行本尺丈作丈尺。皆言其同賈

八行本無其字、賈作倆。故曰無二賈者也 各本無上有市

字。伊佐早本無曰字。

或相什百 仁和寺本百作佰。

凡玉之璧 元良本凡作_凡。巨粗屨也 伊佐早本巨作_巨。人

豈肯作其細者哉 八行本無者字。特許子教人偽者耳 各本

特作時。〔章指〕不理万情 龍谷本（元良本）万作物。

○墨者夷之至命之矣

徐辭 各本辭作辟。按底本注文不作辟、作辟。

欲以弁道也 元良本弁作言_弁。復往求見 伊佐早本八行本見

下有之字。可以見夷之矣 伊佐早本之作子。不直言攻之

八行本無攻字。夷子為墨道 元良本伊佐早本道下有者字。

夷子思欲以此道 八行本無思字。易天下之化 伊佐早本化

作他_化。如使夷子葬 八行本如作始。又可鄙足為戒也 伊佐

早本八行本足下有以字。欲以此攻之也 伊佐早本八行本之

下有者字。

何謂也之則 伊佐早本作何謂也（之）則。

言儒家曰 元良本作言儒家者曰。若安赤子 伊佐早本無赤

字。先從已親屬 廣隆寺本作◎從先已親屬。

徐子以告孟子曰 大和本重孟子二字。

非赤子之罪也 大和本無也字。

與愛鄰人之子等邪 八行本邪作耶·竜谷本鄰作隣。此但以

赤子無知非其罪惡 八行本無此字、無非其罪惡四字 伊佐

早本知作如。^知夷子必以此況之 八行本以作似、況作一。人

情者也 八行本也下有故曰赤子匍匐將入井赤子之罪也十四

字。

親死則拳而 伊佐早本拳作奉。^奉

委棄之壑中也 八行本作委之棄於壑也。嘍攢共食之也 元

良本伊佐早本攢下有相字·竜谷本八行本攢作相。而掩之實

是其道 伊佐早本無而掩之三字。有以也 元良本以作以。^{道イ}

竜谷本作有道以也·伊佐早本以作道·八行本作亦有道矣。

孟子卷第五 廣隆寺本五下有終字·伊佐早本大和本第作之·竜

谷本作音注孟子卷之五·八行本作孟子註疏解經卷第五下。

孟子卷第六

趙氏注

滕文公章句下 廣隆寺本無趙氏注三字、滕文公章句下下有凡十

章三字·元良本仁和寺本無趙氏注三字·大和本無趙氏注三

字、無章數、其他樣式各本同各本卷第一·伊佐早本竜谷本同

各本卷第一·八行本同八行本卷第二上·有章數者章數皆作

一十·竜谷本作一十·三条本如左。

孟子卷第六

凡十章

滕文公章句下

趙氏注

陳代曰不見諸侯宜若小然今一見

○陳代曰至未能直人者也

請孟子 各本請下有見字。故言此介 三条本作故(言)以^{此イ}

介。輔致霸王乎 伊佐早本作輔致霸(王)乎。当以皮冠而

以旌 三条本作当以皮冠而(以)旌。故不至也 廣隆寺本

元良本伊佐早本八行本故下有招之而三字·三条本故下有招

之而三字。^{イ無}元首也 伊佐早本首作昔。^首何為也 三条本為下

有之字·八行本也下有已字·按八行本為也已三字係補刻。

尺小尋大可枉大 三条本大下有人字^無 要利也 三条本作要

(其)利也·各本作要其利也。簡子幸臣 三条本八行本臣

下有也字。乃肯行 竜谷本行下有也字·三条本行作得。^{行イ}故

謂之良工 竜谷本伊佐早本工下有也字。

我使掌与女乘 伊佐早本掌作常。^掌

不能得一 三条本一下有禽字。^{イ無}不習於礼 伊佐早本八行本

礼下有也字。三条本礼下有而已矣三字。順毛而出。広隆寺本無而字。元良本作順毛（而）出。貫臧応矢。広隆寺本元良本臧作機。三条本臧作臧。^機与射者比比而得。大和本不重比字。

商知羞恥。広隆寺本羞恥作耻羞。元良本羞恥作恥羞。竜谷本三条本伊佐早本恥作耻。子如何欲。伊佐早本無字字。而見之。竜谷本同。各本之下有乎字。陳代之言。広隆寺本元良本無之字。竜谷本代作氏。

○景春曰至此之謂大丈夫

諸侯懼安居。伊佐早本諸侯作諸（侯）。

為從横之術。西条本伊佐早本八行本從作縱。号为犀首。伊佐早本作号为犀者首。秦王之孫。竜谷本秦作秦。^{秦イ}故曰公孫。伊佐早本作故曰公孫故曰公孫。一怒則構諸侯。伊佐早本無一字。

丈夫之冠也。広隆寺本文作大。

当以義匡君。広隆寺本三条本八行本匡作正。元身本匡作正。^匡

当婉順從人。伊佐早本婉作家。男子之冠。元良本無之字。

就爾成德。元良本就有之字。今此二子。伊佐早本今作命。

男子純乾正陽之位也。伊佐早本純作絶。^純広隆寺本元良本無

也字。三者不惑乃可謂大丈夫。広隆寺本元良本可下有以字。伊佐早本可下有以字。夫下有矣字。三条本作三者不惑乃。可以為之大丈夫矣。八行本作三者不惑乃可以為之大丈夫矣。^{謂イ}〔章指〕阿意用謀。竜谷本（元良本）用作相。

○周霄問曰至鑽穴隙之類也

有所求而不得。広隆寺本八行本得下有爾字。三条本得下有爾字。^{イ無}伊佐早本求作来、得下有也字。賢者也而言。三条本作賢者也（而）言。八行本無而字。周霄怪。広隆寺本元良本三条本怪作怪。

曰士之失位也。三条本土作仕。^{士イ}

黍盛不絜。広隆寺本元良本三条本絜作潔。

牲必特殺。伊佐早本特作得。黍稷盛稻也。三条本作◎稷盛稻也。猶喪人也。三条本也作曰。^{也イ}不亦可弔乎。伊佐早本亦可作可亦。

農夫豈為出疆。広隆寺本作農夫豈（為）出疆。

農夫不可不耕。広隆寺本元良本竜谷本夫下有之字。魏本

晋也。三条本本下有曰字。^{イ無}故周霄曰。三条本作（故）周霄

曰。不知其急若此若此君子。元良本其急作（其）急。広隆

寺本若此若此作若此（若此）。

父母國人皆賤之 大和本國人作(國)人。

雖欲仕如不由其正道是与鑽穴者何異 各本穴下有隙字·元

良本竜谷本是与作(是)与。八行本無正字、是作亦·三条

本作路欲仕而不由其(正)道亦与鑽穴隙者無異。〈章指〉

行仁待礼 (元良本)待作符。而動苟容 (元良本)無動

字。

○彭更問曰至食功也

不以泰乎 竜谷本以字傍有校語謂或作亦。

泰甚也 伊佐早本作數百人泰甚也。為甚奢泰也 三条本八

行本泰下有者字。

舜受堯之天下 三条本作舜(受)堯之天下。

非以其道 広隆寺本元良本竜谷本作非(以)其道。無功事

而 三条本八行本無事字。

農有余粟女有余布子如 伊佐早本作農(有余粟女)有余市(子)

如。

梓匠輪輿 伊佐早本作梓匠子輪輿。

輸人與人作車者 広隆寺本元良本三条本八行本者下有也字。

子之所有矣 伊佐早本作子之所(有)用矣。周礼攻木之工

七 各本七作也·元良本七作七也。是其四者羨余也 三条

本作是其四◎羨余者也·八行本作是其四余羨者也。

入則孝出則悌 仁和寺本悌作弟。

守先王之道 伊佐早本作先守先王之道。

敬長順也 元良本伊佐早本順作悌·三条本順作悌·八行本

順也二字作悌。悌順也 三条本作(悌)順也。但志食也

三条本也下有已字·伊佐早本志作志。

可食而食之矣 大和本之作而。

当食志也 伊佐早本作当食之志。

曰有人於此 三条本作曰有人於(此)。

然而其意 三条本其作則。其食功也 八行本也下有非食其志

也五字·三条本也下有非「食」其志也·三条本食字虫損不

明。

○万章問曰至雖大何畏焉

今將行王政 八行本本作仁。

湯居亳 広隆寺本亳作毫·大和本亳作毫·以下倣此。

葛伯食之又不以祀 伊佐早本又作人。

何為不祀 大和本作何為(不祀)。

率其民要其有酒食黍稻者 大和本要作惡·元良本有酒食作有。

酒食·竜谷本食字傍有校語謂肉或本·三条本食作肉·伊佐

早本率其民要作率（其民要）。

不受者殺之 伊佐早本授作受。^授

書尚書逸篇也 三条本無書字；也作文。^{也イ}八行本無書字、也

作文。言湯所以伐殺葛伯 広隆寺本伐殺作伐（殺）·元良

本無殺字·三条本所以伐殺作（所以）伐。

非富天下也 伊佐早本無也字。

為匹夫匹婦 大和本匹二字共作匹。^匹

誅其君弟其民 広隆寺本元良本伊佐早本作誅其君而弟其民·竜

谷本作誅其君◎弟而其民·三条本作誅其君（而）弟其民。

湯初征從葛始也 三条本征作往、從作自·八行本從作自。再

十一者湯再出 三条本作再十一往而言湯再（出）·伊佐早

本者下有而言二字·八行本作再十一征而言湯再。不以有軍

來征 三条本作（以有）軍來往。^{征イ}

有攸不惟臣 伊佐早本作有攸（不）惟臣。

匪厥玄黃 竜谷本大和本同·各本匪作篋·注文倣此。

其小人簞食壺漿 伊佐早本其小人作其（小）人。

從有攸以下 広隆寺本元良本以作已。武王伐紂 伊佐早本

伐作代。往無不惟念 竜谷本往作征。得附就大邑 伊佐早

本作得時附就大邑。以迎其類也 三条本作以成其類也。^{迎イ}救

殷民 伊佐早本救作教。^教

大誓曰 仁和寺本元良本三条本八行本大作太。

則取于殘 元良本于作于。^{其イ}

殺伐用張于湯 広隆寺本作（殺）伐用張于湯。

大誓古尚書百二十篇之時大誓也 広隆寺本上大作太·八行

本上大字作太、下大作泰·元良本三条本大二字共作太。侵于

之疆 三条本八行本無此四字。張伐殺之功 元良本三条本

八行本伐殺作殺伐。比於湯伐桀 伊佐早本比作此。為有光

寵 広隆寺本伊佐早本寵作竈。今之尚書大誓篇 広隆寺本

元良本三条本大作太·八行本大作泰。故不与古大誓同 広

隆寺本元良本三条本八行本大作太。引大誓皆古大誓也 広

隆寺本元良本三条本大二字共作太·八行本大二字共作泰·

三条本無古字。故孟子為陳殷湯周武之事 伊佐早本無故字

·竜谷本孟作孟。^孟何畏齊楚焉 三条本八行本楚下有之國二

字。〔章指〕夏商之末民 竜谷本（元良本）未作末。

○孟子謂戴不勝曰致独如宋王何

子欲子之王之善与 広隆寺本無下之字。

使楚人傳諸 伊佐早本使作侯。

当使齊人傳之邪 広隆寺本邪作耶·三条本之邪作之（邪）

八行本無邪字。使楚人自傳相之邪。三条本相之邪作之者

乎。不勝曰使齊人。元良本作（不勝曰使齊人）。楚衆人咻

之咻之者囉也。元良本三条本八行本楚衆作衆楚。広隆寺本

元良本竜谷本伊佐早本囉作謹。齊街里名也。広隆寺本作

（齊）街里名也。誰与為不善也。三条本善下有者字。八行本

善下有者字。非居州之囉王当誰。伊佐早本重王字。竜谷本

囉作囉。〔章指〕白沙在涅不染。（元良本）涅作泥。

○公孫丑問曰至可知已矣

丑怪。広隆寺本元良本怪作恠。有好善之心。広隆寺本元良

本竜谷本善作義。伊佐早本善之作義（之）。三条本善作善。

二人距之大甚。各本大作太。

饋孔子蒸豚。元良本豚下有之字。

恐其便答拜使人也。三条本其便作其（便）。

病于夏畦。伊佐早本畦下有竦体二字。按此二字注之文。

脅肩竦体也。伊佐早本脱脅肩竦体四字。竜谷本竦作疎。詔

笑強笑也。竜谷本作詔笑強（笑）也。仲夏之月。伊佐早本夏

下有於字。心不正貌也。三条本八行本正下有之字。由于路

名。伊佐早本名下有也字。由是觀君子。各本君作曾。〔章

指〕已甚闕亡。竜谷本甚作其、亡作士。赧然不接傷夏畦也

（元良本）無此九字。竜谷本赧上有○。

○戴盈之曰至何待来年

輕之以待来年。大和本作輕之（以）待来年。

然後已如何。各本如何作何如。伊佐早本然後作然（後）。

其鄰之雞。伊佐早本雞作鷄。

孟子以此為喻。八行本子作以。月取一雞。三条本作月取

（一）雞。謂盈之之言若此類者也。広隆寺本元良本不重之

字。

○公都子曰至聖人之徒也

孟子弟子也。三条本作孟子弟子（也）。論議者也。広隆寺

本議作義。言子好与楊墨之徒弁争。八行本同。各本言下有

孟字。欲救正道。竜谷本正作王。故弁之也。三条本無也字。

迭有乱治非一世。各本乱治作治乱。伊佐早本一作二。埤

下者。竜谷本三条本八行本埤作卑。尚書逸篇也。八行本無

也字。三条本也作云。水逆行。八行本水作洪水二字。洚洞

無涯。竜谷本三条本伊佐早本涯作崖。

河漢是也。元良本作（河）漢是也。

謂沢有草者。三条本作謂沢（有）草者。流行於地而去也

伊佐早本八行本也作之。

棄田以為園囿 大和本田作由[△]。

故作邪偽之說 広隆寺本元良本八行本邪作詐・三条本邪作邪。為姦寇 広隆寺本寇作寇^寇。至衆也 伊佐早本至作室^至。

謂羿桀之時也 伊佐早本作謂羿（桀）之時也。

遠之天下大悅 竜谷本無之字。

還歸二年 伊佐早本還作遠。飛廉紂諛臣 八行本諛作諛。

王来自奄 三条本奄下有也字。

武王烈佑啓我後人 大和本佑作佐。

顯明承續烈光也 広隆寺本續作繼、以下倣此。

臣弑其君者有之 広隆寺本弑作殺。

王道遂滅 八行本王作正。我正王綱也 三条本王綱作綱紀

・伊佐早本王綱作（王）綱紀。時人見彈貶 広隆寺本元良

本竜谷本三条本彈作憚。

諸侯放恣 八行本放作故。

処士横議 伊佐早本処作所。

聖人之道不興 三条本人作王^人・各本人作王。戦国縦横 広

隆寺本戰作獸^獸。以于諸侯 伊佐早本作以于説[△]以諸侯。無尊

異君父 広隆寺本元良本竜谷本異作卑・三条本異作異^卑・伊

佐早本尊異作尊尊[△]。以横議於世也 広隆寺本横議作（縦）

横議。

此率禽獸而 三条本作此率（禽）獸而・竜谷本禽字傍有校語謂

異無・八行本無禽字。

仁義充塞則率獸 元良本率獸作率（禽）獸。

仁義塞則 元良本作仁義（充）寒則。

閑先聖之道 広隆寺本聖作王^聖。

不易吾言矣 竜谷本作不易吾言（矣）。

抑治也 竜谷本作抑治（也）。

詩云戎狄 伊佐早本云作曰。

此詩已見上篇説 竜谷本詩作説。是周公所欲伐擊也 広隆

寺本無也字。險詖之行 元良本無之字・三条本無險之二字

・八行本詖作跛。豈好之哉 三条本好下有弁字。謂名世者

也 三条本作以謂名世者也故曰聖人之徒・八行本也下有故

曰聖人之徒也七字。

○匡章曰至而後充其操者也

匍匐往 広隆寺本作匍（匍）往。

是以絶糧 広隆寺本元良本伊佐早本糧作糧・竜谷本絶糧作

絶糧^絶。餒也。伊佐早本作餒（也）虫也。仲子目不

能扱也 広隆寺本元良本三条本目作自。然無心無識 三条

本無無心二字。

盜跖之所築 伊佐早本跖作踞^跖。

抑亦盜跖之所樹 伊佐早本作(抑)亦盜踞之所樹。

得盜跖之徒使作也 三条本使作也作(使)作也。以易食宅

耳 広隆寺本食作舍。練麻曰纒 広隆寺本元良本練下有其

字・三条本伊佐早本練下有其字、纒下有故云辟纒四字。

処於於陵 伊佐早本処作所。

食采於蓋 元良本伊佐早本三条本采作菜・按八行本以下係

補刻葉。竄於於陵 三条本伊佐早本八行本陵下有也字。受

人之駟 広隆寺本元良本竜谷本三条本八行本駟作鵠。駟駟

駟鳴之聲 広隆寺本元良本駟作鵠・伊佐早本無之字、声下有

也字・三条本八行本無之字。母食以駟 広隆寺本元良本伊

佐早本駟作鵠。前所頻願 広隆寺本竜谷本願作鵠・元良本

作前(所)頻願・三条本願作鵠^鵠・伊佐早本願作願。充其操

也 三条本伊佐早本也下有是以孟子喻以蚓而比諸巨掌而已

十四字・三条本此一句傍有朱校語謂不無。

孟子卷第六 伊佐早本第作之・竜谷本作首注孟子卷之六・八行

本作孟子註疏解經卷第六下。

孟子卷第七

趙氏注

離婁章句上 広隆寺本無趙氏注三字、離婁章句上下有凡二十八

章五字・伊佐早本無趙氏注三字、無章數・元良本無趙氏注

三字・仁和寺本無趙氏注三字・大和本無趙氏注三字、無章

數・其他樣式各本同各本卷第一・竜谷本同竜谷本卷第一・

八行本同八行本卷第一上・有章數者章數皆作二十八・三条

本如左。

孟子卷第七

離婁章句上^{凡二十}_{八章} 趙氏注

離婁者古之明目者也蓋以黃帝之

孟子曰離婁之明公輸子之巧不以

○離婁章句上

離婁者 (元良本) 竜谷本者作乃。蓋以為黃帝時人也 三

条本伊佐早本八行本帝下有之字・三条本以為作以(為)。

能視於百步之外 三条本無於字・百步之外作百步(之外)¹。

秋毫之末(元良本) 三条本八行本伊佐早本毫作毫・竜谷本

毫作豪。乃成方員 元良本竜谷本伊佐早本員作圓。故以題

篇 三条本伊佐本題作名。

○孟子曰離婁至吾君不能謂之賊

公輸子之巧 大和本輸作輸。

晉平公之樂大師也 元良本三條本八行本大作太。其聽至聰

廣隆寺本聽作聰。不用六律 伊佐早本用作由。陽律太蕪

三條本伊佐早本八行本大作大。

不行先王之道也 伊佐早本之作也。

雖然猶須行 三條本作雖然(猶)須行。乃可為後法也 廣

隆寺本元良本三條本伊佐早本八行本後下有世之二字。

詩云不愆不忘 伊佐早本云作曰。

詩大雅嘉樂之篇 三條本八行本嘉作假。伊佐早本嘉樂之作

嘉(樂之)。不可忘者 三條本作不愆不忘者。未聞有過也

三條本伊佐早本八行本過下有者字。統以四者 各本以下有

其字。

為方員平直 伊佐早本員作圓、以下員字倣此。

可得而知審 三條本伊佐早本八行本知審作審知。元良本作

可得而(知)審知。

不仁而在高位 伊佐早本作不(仁)而在高位。

工不信度 伊佐早本工作士。

權於密網 廣隆寺本密網作蜜罔。竜谷本網作罔。元良本網

作綱。

兵甲不多 伊佐早本甲作申。

國無禮義必亡 伊佐早本亡下有也字。

詩曰天之方蹶 廣隆寺本元良本竜谷本曰作云。

泄泄猶沓沓也 大和本沓沓也作沓沓之也。

女無敢沓沓但為 三條本伊佐早本女作汝。背棄先王之道

三條本背棄作背(棄)。伊佐早本無棄字。人臣之道 伊佐

早本臣作心。使君勉之 伊佐早本作使君為勉。是為恭臣

伊佐早本作是為(恭)臣。三條本作是為恭君。是為敬君

伊佐早本作是敬之君。此為賊其君也 三條本也下有故有恭

敬賊三者之義九字、此句傍有朱校語謂無一。伊佐早本同三

條、之義二字作也。〔章指〕國由先王禮義 竜谷本(元良

本)國作因。

○孟子曰規矩至此之謂也

猶方員須規矩也 元良本員作員、矩作矩。莫大取法於聖人

伊佐早本大作矢。

欲為君尽君道 伊佐早本作欲為(君尽)君道。

堯之治民愛之尽也 伊佐早本無之字。名之謂諡之也 伊佐

早本無之字。在夏后之世耳 三條本伊佐早本耳作矣。鑿於

殷之所以亡也 三條本伊佐早本於作于。

○孟子曰三代至惡醉而強酒

三代之得天下也 大和本作三代之得天(下)也。

三代夏殷周 三条本伊佐早本八行本殷作商。在仁与不仁也

三条本伊佐早本也作而已。

卿大夫不仁 広隆寺本大作太。

是由惡醉而強酒 伊佐早本由作猶。

必醉也 三条本伊佐早本也下有喻惡亡而樂不仁也八字。

〈章指〉莫若為人 竜谷本(元良本)人作仁。

○孟子曰愛人至自求多福

愛人不親反其仁 伊佐早本反作乃。^反已仁独未至邪 広隆寺本元

良本竜谷本八行本独作猶・伊佐早本独作猶・邪作耶。已智

独未至邪 広隆寺本元良本竜谷本三条本独作猶・伊佐早本

八行本独作猶・邪作耶。已敬独未恭邪 広隆寺本元良本竜

谷本八行本独作猶・伊佐早本作(已敬)猶未恭耶。服其德

也 伊佐早本也下有已見上篇四字。

詩云永言配命 竜谷本云作曰・伊佐早本云作曰・永下有常字。

○孟子曰人有恒言至家之本在身。

卿大夫之家也 伊佐早本無之也二字。

家之本在身 竜谷本作家(之)本在身。

無以為本也 三条本伊佐早本也下有是則本正則立本傾則踣

固在所敬慎而已十七字。〈章指〉必須敬慎也 竜谷本敬作

故。

○孟子曰為政至溢乎四海

謂賢卿大夫之家 三条本作謂(賢)卿大夫之家。人所則效

者 広隆寺本三条本效作効・伊佐早本效作効、者下有也字。

思隨其所善惡 三条本惡作政。^{惡イ}滿溢於四海之內 三条本伊

佐早本八行本內下有也字。

○孟子曰天下至逝不以濯

齊景公曰既不能令 大和本齊作齋。

泣涕而為婚 伊佐早本婚下有也字。必得政於天下矣 竜谷

本作必得(為)政於天下矣。故百年乃治 広隆寺本元良本

三条本竜谷本治作治。

商之孫子 広隆寺本作商之◎子孫 元良本作商之◎孫子。

詩大雅文王之篇 広隆寺本元良本竜谷本無之字。孔子云行

仁者 竜谷本云作曰。

欲無敵於天下 竜谷本無於字。

猶執熱而不以濯也詩云 仁和寺本作猶(執)熱而不以濯也詩執云。

喻為國 広隆寺本三条本伊佐早本八行本喻下有其字。

違仁而無敵也 広隆寺本三条本伊佐早本八行本敵下有於天下三字。

○孟子曰不仁者至此之謂也

必以惡見亡 広隆寺本亡作忘・竜谷本作必(以)惡見亡・伊佐早本作必為安以惡見亡。而樂行其惡 三条本其作人。

其能從諫從善 伊佐早本作其能(從諫)從善。

家必自毀然後人毀之國必自伐然後人伐之 各本然二字共作而。

故見毀也 竜谷本作(故)見毀也。

大甲曰 各本大作太。

〈章指〉戰戰恐慄也 竜谷本(元良本)慄作栗。

○孟子曰桀紂至此之謂也

馘魚者獺也 伊佐早本作馘魚者猪獺也。

水樂埤下 三条本伊佐早本八行本埤作卑。

獸樂墮野 広隆寺本元良本墮作曠。

苟不志於仁 大和本志作忘、但訓ココロサシ。

而欲卒求之 伊佐早本無而字。〈章指〉一時欲仁至明鑿戒

也(元良本)作一時(欲仁猶將沈溺所以明鑿戒也)此之謂

也。

○孟子曰自暴者至而不由哀哉

是可哀傷也 竜谷本也作哉。

○孟子曰道在邇而求諸遠

邇近也 竜谷本邇作爾。苦人求之難 三条本八行本苦作患。不事其長 八行本不作以。〈章指〉邇而易也 竜谷本邇作爾。

○孟子曰居下位至未有能動者也

而治也獲於上有道 広隆寺本作而治○獲於上有道也。

悅親有道反身不誠不悅 八行本悅親有以下七字。

授人誠善之性 三条本作授人(誠)善之性。

故曰天道思行 三条本作(故曰天道)思行・伊佐早本無此

四字。人道也 三条本作人(道)也・伊佐早本無道字。故

曰未有能動者也 竜谷本同・各本曰下有不誠二字。〈章指〉

大雅矜矜 (元良本)大作太。

○孟子曰伯夷至必為政於天下矣

西伯善養老者 三条本作西伯(善)養老者・伊佐早本者下有也

字。

大公辟紂各本作太公辟紂。

子當隨父 広隆寺本元良本作有子當隨父・三条本作(有)

子當隨父。子將安如言皆將往也 広隆寺本如作知、但訓ユ

カン、下將作婦・元良本三条本伊佐早本八行本下將作婦。

竜谷本下將作婦。故七年 広隆寺本元良本伊佐早本八行本
故下有云字・三条本作故（云）七年。

○孟子曰求也至任土地者次之

為季氏宰 伊佐早本宰下有家字。

宰家臣小子弟子也 三条本作宰家臣[△]小子弟子也。不能改

季氏 広隆寺本不作可。以声其罪 元良本其作共。況於爭

地 各本於下有争城二字。殺人滿之乎 三条本之下有者字。

不足以容之 伊佐早本之作也。辟草任地 広隆寺本元良本

作辟草萊任土地也。三条本伊佐早本八行本作辟草萊任土地。

△章指▽同聞鳴鼓 竜谷本（元良本）同作固。殺民土（元

良本）土作土。

○孟子曰存乎人者至人焉慶哉

眸子目瞳子也 三条本目瞳子作（目）瞳子。八行本無目字。

安可匿哉 三条本伊佐早本匿下有之字。△章指▽目可神候

竜谷本可作為、候作候。（元良本）可作為。

○孟子曰恭者至笑貌為哉

侮奪人之君 竜谷本作侮奪人（之）君。和声諂笑之貌 広

隆寺本声下有音字・三条本諂作音^{諂イ}。八行本諂作音。

○淳于髡至援天下乎

問礼男女 竜谷本問作尚^{問イ}。

嫂溺則援之 広隆寺本伊佐早本援作授^授。仁和寺本援作授。

援之否邪 伊佐早本邪作耶。

嫂溺不援 広隆寺本援作授。

不援出 広隆寺本援作授^授。此權也權者 伊佐早本也作此。

今天下之道溺矣 三条本伊佐早本八行本無今字。何不援之

竜谷本同 各本之下有乎字。

子欲手援 広隆寺本元良本仁和寺本伊佐早本八行本欲下有以字

・三条本作子欲（以）手援。

○公孫丑曰至不祥莫大焉

一説曰 三条本伊佐早本八行本曰作云。子之心責其父 三

条本伊佐早本八行本其作於。

父子之間 広隆寺本元良本三条本無之字。

自相責以善 三条本伊佐早本八行本無相字。伊佐早本自作

自。

○孟子曰事孰至曾子者可也

為大守孰 三条本作為大事親^{△△△}為大守孰。

吾未之聞也 三条本也作矣。

失仁義則 広隆寺本八行本失仁作夫不。元良本失仁作失^{用イ}不

・竜谷本仁作不・三条本伊佐早本失仁作陷不 子孫所愛者也 伊佐早本無者也二字。乃為至孝也 元良本無也字。

○孟子曰人不足至而国定矣

政不足間也 各本足下有与字・大和本間作問。

詩云 竜谷本曰作云。

室人交徧 竜谷本室作適・元良本室作室 伊佐早本徧作徧

謫我 三条本伊佐早本八行本謫作適。不足復非說 三条本

說作說・八行本說作說・伊佐早本、說作譏・竜谷本說作說、

但訓トカムル。

正君而国定矣 竜谷本作正君（而）国定矣。

○孟子曰有不虞之譽

不度其將有名譽 元良本三条本伊佐早本八行本不下有虞字

・伊佐早本八行本將作時。尾生本与婦人 伊佐早本無本字。

水之卒至 三条本作水之卒（至）。 求全之毀 三条本伊佐

早本八行本毀下有者字。若陳不瞻將赴 伊佐早本八行本無

若字・三条本作（若）陳不瞻將赴。

○孟子曰人之患在好為人師

人之所患患於 三条本作人之所患（患）於。惑也 広隆寺

本三条本伊佐早本作乃惑也。

○樂正子至克有罪

而出此言 三条本伊佐早本八行本言下有也字。思深望重也

元良本伊佐早本八行本思深作深思・三条本作◎深思望重

也。△章指▽尊重道 竜谷本（元良本）尊下有師字。

○孟子謂樂正子曰

而以餽啜也 元良本作而（以）餽啜。

王驩也 伊佐早本八行本驩下有者字・三条本作王驩者也。

今隨從貴人 広隆寺本元良本今下有乃字。

○孟子曰不孝至以為猶告也

一不孝也 広隆寺本元良本無也字・八行本無一字。家貧

三条本作家窮^貧・八行本作家窮。不娶無子 伊佐早本娶作娶

猶告与告同也 伊佐早本上告下有言字。

○孟子曰仁之実至手之舞之

礼楽之実 三条本楽作義^樂・八行本楽作義。仁義之実也知仁

義 伊佐早本作仁義（之実也知仁義）。而中心樂之也 三条

本八行本作而作故。

悪可己也則 各本無也字。

手之舞之 伊佐早本作手（之）舞之。

豈從自覺 各本從作能。△章指▽不能自知 （元良本）不

作勿。

○孟子曰天下至此之謂大孝

為父子道者定也 伊佐早本定作足。〔章指〕底予而欣（元良本）無底字。

孟子卷第七 竜谷本作音注孟子卷之七・八行本作孟子註疏解經卷第七下。

孟子卷第八

趙氏注

離婁章句下 広隆寺本離婁章句下有凡三十三章五字、無趙氏

注三字・伊佐早本元良本仁和寺本無趙氏注三字・大和本無

趙氏注三字、無章數・其他様式各本同各本卷第一・三条本

同三条本卷第六・竜谷本同竜谷本卷第一・八行本同八行本

卷第二上・有章數者章數皆作三十三・八行本作三十二。

○孟子曰舜生至其揆一也

皆地名 三条本八行本名下有也字・広隆寺本皆作背。負負

海也 八行本不重負字・三条本作負（負）海也。書曰天子

發 各本大作太。下至于盟津 伊佐早本盟作孟。近於鄭鎬

也 広隆寺本三条本鎬下有之地二字、無也字・元良本伊佐

早本鎬下有之地二字。千有余里以外也舜至文王千二百歲

各本里下有千里二字・広隆寺本也舜作◎舜也・伊佐早本千

二百作千里^二二百。謂王也 竜谷本同・各本作蓋謂王也。節

玉節也 竜谷本作（節）玉節也。

○子產聽鄭國之政至亦不足矣

以其乘車渡之也 三条本八行本渡作度。

民未病涉也 大和本作（民）未病涉也。

惠民之用 各本用作心。周十一月夏九月 八行本十一作十。

周十二月夏十月 三条本八行本十二作十一。

得人人而濟之 伊佐早本無而字。

每人而悅之 伊佐早本而作西^而。

政事刑法 広隆寺本刑作形。每人輒欲自加恩 三条本人下

有而悅之三字、無輒字・伊佐早本人下有而悅之三字・八行

本無輒字。不足以足之也 三条本也作而已矣三字・伊佐早

本無下足字。

○孟子告齊宣王曰至何服之有

君之視臣如土芥 元良本視作親^視。

所執若是也 竜谷本執作親^執。問礼旧臣為旧君 広隆寺本上

旧下有君字。何如則可為服 竜谷本同・各本可下有以字。

有故而去則君使人導之 八行本無君字。

収其田萊及里居也 広隆寺本元良本下有里田二字・三条本
本田下有里田^{菜イ}二字、及作也^{及イ}。則為之服矣 広隆寺本元良本
矣作也・伊佐早本之作此^之。

又極之於其所往 伊佐早本又極之^{△△}又極之於其所往。

〔章指〕諷諭宣王 竜谷本（元良本）諷作風。

○孟子曰無罪而殺士

仁鳥曾逝 各本曾作增。

○孟子曰君仁莫不仁

君者一國所瞻 広隆寺本元良本伊佐早本國下有之字。故必
從之 竜谷本作故必從（之）・三条本故作政、之下有是上為
下則也六字、此句傍有朱校語謂イ無・八行本故作政・之下
有最上為下則効者也八字。

○孟子曰非礼之礼

長拜之 三条本無長字。

若義而非義 伊佐早本作（若）義非（義）。藉交報仇 広
隆寺本交下有父字・伊佐早本報作執^報・八行本仇作讎。此皆
大人所不為也 三条本也下有已矣^{イ無・イ無}。

○孟子曰中也至不能以寸

樂有賢父兄也 大和本無也字。

不養其所當養 広隆寺本元良本八行本所下有以字・三条本
所下有以字^{イ無}。

○孟子曰人有不為也

千乘之志 元良本三条本志下有也字。

○孟子曰仲尼不為已甚者

仲尼彈邪 伊佐早本邪作耶^邪。不欲其已甚 広隆寺本不上有
故字・元良本不上有（故）字・三条本伊佐早本八行本不上有
故字、其作為。泰過也 三条本八行本也下有孟子所以譏踰
牆距門者也十一字・三条本此句傍有朱校語謂イ無。〔章指〕
論曰 竜谷本論作語。

○孟子曰大人者言不必信

若親在不得以其身 三条本作若親在（不得）以其身。惟義
所在 元良本三条本伊佐早本在下有也字。

○孟子曰大人者不失

当如赤子 広隆寺本作当（愛）如赤子。少小之心 三条本
心作子^心・伊佐早本八行本心作子。為真正大人也 伊佐早本
貞作直^貞。

○孟子曰養生者不足以当大事

奉大事也 広隆寺本元良本伊佐早本事下有者字。

○孟子曰君子至欲其自得之也

孟子曰君子深造之 伊佐早本作孟子(曰君子)深造(之)。

君子學問之法 伊佐早本法下有也字。以知道意 伊佐早本

作欲以知道意。如性自有之也 広隆寺本伊佐早本之下有然

字 三条本之下有然字、也下有故曰欲其自得之而已九字。

君子欲目得之也 各本目作自・広隆寺本八行本欲下有其字。

知其原本也 八行本無也字。

○孟子曰博學而詳說之

將以反說約也 広隆寺本作將以反說(約)也。

不能要言之也 三条本伊佐早本也下有是謂広尋道意還反於

樸說之美者也十五字・三条本此句傍有朱校語謂イ無・八行

本同伊佐早本、無者下也字。

○孟子曰以善服人者

然後能服天下天下不心服 竜谷本能服天下作(能)服天下・大

和本不重天下二字。

文王治岐是也 広隆寺本伊佐早本岐下有邑字・三条本八行

本作若文王治於岐邑是也。

○孟子曰無實不祥

不祥不祥之實 伊佐早本作(不祥)不祥之實。

蔽賢者當之 元良本之作也。^之

○徐子曰至君子恥之^x

至於四海者 広隆寺本元良本無者字。夏五六月 伊佐早本

無五字。潦水卒集 三条本作潦水(卒)集。滿然潤乾 三

条本潤乾作潤(乾)・伊佐早本作滿然潤乾[△]。可立待者 三

条本待下有之字。無本之故也 広隆寺本無上有以其二字・

元良本無上有其字・三条本無上有以其二字、無之字。

君子恥之 広隆寺本元良本伊佐早本竜谷本恥作耻・注文倣此。

人無本行 広隆寺本作人無(本)行。

○孟子曰人之至非行仁義也

倫序 広隆寺本元良本伊佐早本序作叙・人事之序序字倣此。

察識也 伊佐早本識作誠。非彊力 各本彊作強・三条本作

(非)強力。必稱堯舜 八行本稱下有於字・三条本稱下有

於字、舜下有但君子存之庶民去之而不由爾十三字。

○孟子曰禹惡至坐以待旦

儀狄作酒 広隆寺本狄作狄。遂疏儀狄 三条本疏下有其字[△]。

書曰禹拜讜言 各本讜作昌。不致誅於紂也 広隆寺本元良

本伊佐早本不下有敢字・三条本作不致誅於紂也。不遺忘遠^{取イ}

善 伊佐早本善作^善。

坐以待旦 伊佐早本待作得^待

不合已行有不合世 元良本已作力·伊佐早本世下有者字。

坐而待旦 三条本八行本而作以字。△章指▽大平之隆 竜

谷本(元良本)大作太。

○孟子曰王者至竊取之矣

大平道衰 元良本大字虫損不明·八行本同·各本大作太。

楚之櫛杙 伊佐早本作楚(之)櫛杙。

齊桓晉文其文則 大和本齊作肅·三条本其文則作(其文)則。

此三大國 三条本此作是。史記之名異 三条本伊佐早本八

行本名異作異名。春秋以二始 三条本作春秋(以)二始。

五伯所理也 広隆寺本伯作伯^調·三条本伯作霸^伯·伊佐早本八

行本伯作霸。五伯之盛者 三条本伯作霸^伯·伊佐早本八行本

伯作霸。故拳之 三条本作故^伯之拳。故言竊 竜谷本竊作

切。謙辭 三条本辭下有爾字^無·伊佐早本八行本辭下有爾字。

△章指▽ (元良本)無。大平時 竜谷本大作太。

○孟子曰君子之沢五世而斬

五世而斬 竜谷本作五世(而)斬。

五世而斬 伊佐早本斬作斯^斬。

淑諸人也 大和本作淑諸人也。

我私善之 伊佐早本我作予。恨不得学於大聖也 広隆寺本

元良本伊佐早本八行本恨上有蓋字、聖下有人字·三条本恨上

有蓋字、恨下有其字、聖下有人字。△章指▽ (元良本)無。

○孟子曰可以取

傷此名 竜谷本此下有三字。不陷於惡也 竜谷本惡下有列

士病惡四字。△章指▽ (元良本)無。

○逢蒙学射至發乘矢而後反

逢蒙学射於羿 広隆寺本元良本無於字。

以下事喻之 伊佐早本之作也。鄭子鄭大夫 広隆寺本孺上

有僕御二字。

問其僕曰追我者誰 大和本問作問^問。

其樸曰庾公之斯衛之善射者也 大和本其樸作(其)樸。

不邪僻 各本僻作辟。詩云四矢反兮 伊佐早本矢作矣。有

逢蒙之禍 元良本三条本伊佐早本八行本禍下有乎字。△章

指▽ (元良本)無。

○孟子曰西子至以祀上帝

不絮 竜谷本同·各本絮作潔·注文倣此。

蒙其頭也 三条本伊佐早本無也字。皆掩鼻 三条本伊佐早

本八行本皆有自字。△章指▽ (元良本)無。

○孟子曰天下至可坐而致也

言天下 三条本作今天下之伊佐早本言上有今字。情性当

順至失其利矣 三条本作事性則以故而已矣以言其故者以利

為本耳。失其利 広隆寺本元良本利作性。不順物 各本物

下有之性而改道以養之八字。

如智者亦行 伊佐早本作如(智)者亦行。

禹之用智 伊佐早本作由、如用智者用字倣此。空虚 竜

谷本作虚空。不妄改作作事循理 三条本八行本作事二字作

但·伊佐早本不重作字。無事之処 三条本作無事(処)·伊

佐早本八行本無之処二字。故常之行 三条本作故常之行。

·伊佐早本無之字·八行本無之行二字。可坐知也 三条本

八行本作可坐而致。△章指▽(元良本)無。

○公行子至不亦異乎

右師往弟 広隆寺本作右師(往)弟。

齊貴臣 三条本八行本齊下有之字。字子敖 三条本敖下有

也字。

諸君子皆 竜谷本作諸君(子)皆与。

相揖也 伊佐早本作(相)揖也。

為簡異也 竜谷本八行本異作易·三条異作略異イ·惡子敖 広

隆寺本惡作要惡。

○孟子曰君子至君子不患矣

君子之在心 伊佐早本在作存。人必反之已也 広隆寺本三

条本作人亦必反報之於己也·元良本作人亦必反之己也·伊

佐早本作人亦必報之己也·八行本作人必反報之於己也。以

此事來加我 元良本伊佐早本我下有也字·三条本作來加於

我也。何足難也 三条本也作矣。

有終身之憂無一朝 広隆寺本元良本伊佐早本憂下有而字。

未免為鄉人也 八行本無為字。

当如之何乎 三条本八行本無之字。終身憂也 伊佐早本也

作之。不致意 各本意作患。常行仁行礼 三条本作常行仁

(行)礼·八行本無下行字。非已愆也 伊佐早本也作之。

○禹稷当平世至雖閉戸可也

当乱世 伊佐早本乱作礼乱。

不用於也 伊佐早本作由。窮而樂道也 八行本道下有者

字。孔子俱賢之 広隆寺本之下有也字。

由己溺之 各本之下有也字。

天下有飢者 八行本飢作饑·以下飢字倣此。

由己飢之也 伊佐早本無也字。

異矣 八行本無矣字。

纓冠而救之可也 八行本冠作寇・大和本而下有往字。

鄉人非其事 広隆寺本八行本人作隣。

○公都子曰至是則章子已矣

父母之養一不孝 竜谷本作父母(之)養一不孝。

闕很 元良本仁和寺本伊佐早本很作狼・広隆寺本很作狼、但訓

モトリ。

情解不作 伊佐早本八行本解作懈。

父子責善 伊佐早本子作母_子。

章子子父親教 伊佐早本作章子(子)父親教。有母子之屬

伊佐早本作有母子之屬。

章子已矣 広隆寺本元良本子下有而字・伊佐早本作章子(而已

矣)。

以為人得罪 八行本無人字。

責罰是則 三条本罰作罪_罪・伊佐早本罰作罪_罪・広隆寺本罰作罪

大矣是章子之行已矣何為不可与言 広隆寺本三条本伊佐早

本無是章子以下十三字。△章指▽不得養(元良本)養作籍。

○曾子居武城至易地則皆然

無寓人於我室 八行本無我字。

恐其傷 伊佐早本無其字。我将来反 三条本反下有而已矣

三字。言武城邑大夫 三条本作(言武)城邑大夫。先生寇至

広隆寺本至作去。則復来還 伊佐早本無復字。怪曾子何

以 広隆寺本三条本怪作恠。先生嘗從門徒 竜谷本嘗作當_嘗

率弟子去之 広隆寺本元良本子下有而字・伊佐早本子下有

而字 之作也_之。師資 竜谷本同・各本作資師。不与臣同

三条本伊佐早本八行本同下有耳字。

或曰寇至 伊佐早本作或(曰寇)至。

故去留無毀 伊佐早本留作留_留。易処同然 広隆寺本処作地

・三条本伊佐早本八行本処作地、同作皆。△章指▽謂得其

同 竜谷本(元良本)同作宜。

○儲子曰至与人同耳

孟子曰 大和本作孟(子)曰。

与凡同耳 竜谷本同・各本凡下有人字。△章指▽頭員足方

(元良本)方作人。

○齊人有一妻至幾希矣

矚良人之所之 各本所之下有也字。

冢間也 広隆寺本冢作塚。施施猶扁扁 八行本作施從之扁

者。喜悦之貌 八行本同・各本貌下有也字。以為妻妾 竜

谷本無以字。

人之所以求 伊佐早本無之字。

觀今求富貴 伊佐早本觀下有之字。由此良人 八行本無由

字。所差為所泣傷也 伊佐早本無為所二字。八行本所作而。

八章指 恥之甚焉 竜谷本（元良本）恥作耻。

孟子卷第八 三条本欠。竜谷本作古注孟子卷之八。八行本作孟

子註疏解經卷第八下。

孟子卷第九

趙氏注

万章章句上 広隆寺本無趙氏注三字。伊佐早本孟子卷第九下有

趙氏注三字、無章數。万章章句上五字下连接有注双行。元良

本仁和寺本無趙氏注三字。大和本無趙氏注三字、無章數。

其他樣式同各本卷第一。竜谷本同竜谷本卷第一。八行本同

八行本卷第一上。有章數者章數皆作九。

○万章章句上

題篇 八行本題下有其字。

○万章問曰至于大舜見之矣

謂耕於歷山之時 広隆寺本元良本於作于、時下有然也二字

・ 龍谷本八行本於作于。舜何故怨 八行本無怨字。

吾既得聞命 伊佐早本既下有往[△]字。

曾子弟子 伊佐早本作曾子（弟子）。旻天秋也 広隆寺本元

良本八行本秋下有天字。憂陰氣也 竜谷本同。各本憂作幽。

故曰非爾所知 元良本知下有也字。伊佐早本所作訴^所。竜谷本

故曰作故故[△]。因為万章 八行本為作以。胤嗣之子 竜谷

本胤作胤^胤。亦不復見 元良本作亦不復見經。伊佐早本作亦

不見於經。八行本作亦不復見於經。無所歸往也 広隆寺本

往作性。解憂獨見愛於父母 伊佐早本憂作愛^愛、愛下有独[△]字。

貴人之所欲 伊佐早本作（貴）人之所欲。

有妻子則慕妻子 伊佐早本作有妻子則（慕妻子）。

人少年少也 伊佐早本年少作少年。三十在位 竜谷本伊佐

早本三作五。八章指按（元良本）此章指在於章首章尾二所、

此校異依在於章首者。夫孝者 竜谷本（元良本）無者字。

六合婦仁矣 （元良本）作四海六合婦仁矣。

○万章問曰至喜之奚偽焉

齊風南山之篇 広隆寺本元良本竜谷本齊下有国字。娶妻之

礼 伊佐早本作娶（妻）之礼。帝堯知舜大孝 広隆寺本元

良本堯作亦。亦不告 広隆寺本元良本八行本告下有也字。

捐階瞽瞍焚 大和本作捐[○]瞽瞍階焚。

一說旋階 八行本旋作掄。蓋其井 八行本蓋下有掄字。以
為死矣 伊佐早本八行本為下有舜字。取其善者 竜谷本其
作於。

朕琴朕抵 伊佐早本作朕（琴朕）抵。

棲牀也 広隆寺本元良本牀作床、以下牀字做此。伊佐早本

牀作將。使治牀 伊佐早本牀作將。象見舜生在牀 広隆寺

本元良本竜谷本無生字。惟念此臣衆 伊佐早本衆作象。不

知舜不知象之將之与 広隆寺本舜作象、象作舜、之作己。竜

谷本八行本之作己。仁人愛其弟 元良本作（故）仁人愛其

弟。偽詐也 八行本作詐偽也。公孫僑大賢人也 伊佐早本

公孫僑作公（孫）僑。

孰謂子產智 元良本謂作言。謂イ

其愛兄之言 八行本言作道。是亦其類也故誠信 広隆寺本

作是亦◎類也故誠其信。

○万章問曰至此之謂也

怪舜放之何故 広隆寺本元良本怪作恠。伊佐早本故作也。

孟子曰封之也 伊佐早本封作對^封

舜封象于有庠 伊佐早本于作放。各本于作於。

舜誅四佞 広隆寺本佞作倮。在弟則封之 伊佐早本之作也。

仁人之於弟也 竜谷本作仁人之於弟（也）。
欲其富也封之 伊佐早本也作已、封作對^封。

孟子言仁人 竜谷本言作曰。身為天子 広隆寺本身下有既

字。八行本身下有既已二字。

故源源而來 伊佐早本源源作深深、注文源字作源。

兄弟之恩 伊佐早本恩作思。流水之与源 伊佐早本与作子。

親親之恩也 伊佐早本作親親之親恩也。常常已下 元良本

八行本已作以。

此之謂也 大和本無也字。

○咸丘蒙問曰至不得而子也

堯帥諸侯 広隆寺本大和本伊佐早本帥作師、但訓ヒキイ。

故問齊野人之言 各本問作聞。

舜撰也 広隆寺本撰作搆。

二十有八載 伊佐早本作二十（有）八載。

乃徂落 大和本徂作祖。

舜撰行事耳 広隆寺本元良本撰作搆。

放勳 仁和寺本勳作勳。

徂落死也 八行本徂作祖。按八行本此字係補刻。哀思甚也

広隆寺本元良本八行本思下有之字。

又帥天下諸侯 大和本伊佐早本帥作師、但訓ヒキイ。

北山之篇 伊佐早本作北山之(篇)。徧天下循土 広隆寺本

元良本天下有之字。非王者之臣 伊佐早本作非王者之(臣)。

子遺 大和本子作子。

所引以興事也 伊佐早本無也字。靡有子遺 竜谷本作靡

(有)子遺 伊佐早本靡作廉^靡。舜臣父也 八行本臣下有其字。

尊親之至 広隆寺本無之字。

為天子父 八行本子下有之字。

孝思惟則此之謂也 仁和寺本惟作維。

齋慄 広隆寺本齋作齊 竜谷本八行本大和本慄作粟 伊佐早本

仁和寺本作齊粟 注文此二字各本倣此。

書尚書逸篇 竜谷本無此五字。

戰慄 竜谷本伊佐早本八行本慄作粟。以是解 八行本是作

此。

○万章曰堯以至此之謂也

堯不与之 広隆寺本之作云。欲知示之意 伊佐早本八行本

重之字 元良本作欲知示之(之)意。

能薦人於天子 伊佐早本無於字。

暴之於民而民受之 元良本作暴之於民(而)民受之。

民受之如何 伊佐早本作民受之其如何[△]。

使之主事而事治 伊佐早本作使之主事(而事)治。

百姓安之是民受之也 伊佐早本是作見。

非人為也 伊佐早本無也字。

逼堯之子 伊佐早本逼作逼^逼。

丹朱訟獄不決其罪 伊佐早本不重獄字。故訟之謳歌舜德

也 八行本同 各本重謳歌二字。

大誓曰 元良本竜谷本仁和寺本大和本大作太 八行本大作泰 元良本竜谷本八行本注文大字倣此。

○万章問曰人有言至其義一也

有之否 伊佐早本同 各本否下有乎字。

謳歌啓曰吾君之子也 大和本無之字。

莫之致而至者命也 広隆寺本無之字。

而此事自至者 伊佐早本無而此事三字。是其命祿也 伊佐

早本八行本作是其命而已矣故曰命也。故不得有天下 元良

本八行本得下有以字。襲父之位 伊佐早本襲作襲、但訓ッ

ク。大甲能改過 元良本同 各本大作太。

大丁 各本大作太。

大甲 各本大作太。

於之於桐 元良本無於字。

勉仁遷義 伊佐早本作勉仁遷仁[△]義。

〈章指〉義於仁 竜谷本（元良本）作篤志於仁。聖位莫繼

（元良本）位作仁。

○万章問曰人有言至朕載自毫

人有言 伊佐早本作人有（言）。

天之生此民也 広隆寺本作天下之生此民也。元良本作天下^無之生

此民也。

我欲以此仁義之道 竜谷本作欲（以）此仁義之道。広隆寺

本義作儀。未知之民 広隆寺本民作人。己推排内之溝壑中

也 八行本已作已、内作空。按八行本已推排空四字係補刻。

自任其重 八行本其作之。救民之厄也 広隆寺本元良本無

之字。伊佐早本救作^教殺。

正天下者乎 伊佐早本無者字。

聖人之行不同也 伊佐早本同作行。^同

不去者云焉能 八行本云作爾。婦於身絮 広隆寺本絮作潔

・八行本作婦潔於身。元良本作婦潔於身。^{潔イ}

要湯未聞 伊佐早本要下有道字。我聞伊尹 広隆寺本聞作

登、不聞以割烹聞字做此。干湯致湯 伊佐早本作干湯致[△]致

湯。

朕載自毫 大和本伊佐早本毫作毫。

○万章問曰或謂至何以為孔子

於齊主侍人瘠環 大和本齊作齋。

癰疽之医也 広隆寺本元良本伊佐早本医下有者字。

孟子曰否不然也好事者為之也 広隆寺本作孟子曰◎不然也好事

者為之否也。◎

為之辭也 八行本也作爾。進以礼退應義 広隆寺本元良本

八行本應作以。若主此二人 八行本此作女。宋桓魋之故

伊佐早本之作也。不暇扞大賢臣 広隆寺本大作人。於衛齊

無阨 広隆寺本衝下有而字。主癰疽瘠環也 八行本環下有

者字。主於卑幸之臣 伊佐早本幸作^幸堯。得見称为聖人 伊

佐早本八行本人下有乎字。〈章指〉君子大居正 竜谷本（元

良本）大作夫。

○万章問曰或曰至賢者為之乎

秦繆公 仁和寺本繆作穆。

虞之賢臣諫 広隆寺本元良本八行本諫下有之字。以傳相成

立其君 伊佐早本以作已。元良本八行本傳作伝。〈章指〉不

為苟合 （元良本）無為字。

孟子卷第九 龍谷本作音注孟子卷之九·八行本作孟子註疏解經卷第九下。

孟子卷第十 趙氏注

萬章章句下 廣隆寺本無趙氏注三字、萬章章句下有凡九章三字。

伊佐早本無章數·元良本無趙氏注三字·仁和寺本無趙氏注

三字·大和本作音注孟子卷之十、萬章章句下有凡九章三字

非小字無趙氏注三字、其他樣式同各本卷第一·龍谷本同龍谷

本卷第一·八行本同八行本卷第二上·有章數者章數皆作九。

○孟子曰伯夷至非爾力也

嗟伯夷伊尹 伊佐早本作嗟養伯夷伊尹。至於數四·元良本

四字傍有朱校語謂或作回·伊佐早本四作回。

予天民之先覺者 各本者下有也字。

如已推而內之溝中 仁和寺本如作若。

爾為爾我為我 伊佐早本作爾為爾我（為我）。

袒裼裸裎 廣隆寺本作袒裼裸裎·仁和寺本作袒裼裸裎·八行本

作袒裼裸裎·伊佐早本程作袒

爾焉能浼我 伊佐早本浼作浼。

柳下惠之風 伊佐早本無之字。

不及炊 炊作煩。

玉振之也 廣隆寺本元良本無之字。

如金聲之有殺 八行本聲作者。含五德而 廣隆寺本元良本

八行本作合三德而·伊佐早本作合五德而。智者智理物 伊

佐早本作智者（智）理智物。以智譬由人 八行本作智譬猶

人。以聖譬由 八行本由作猶。不可及也 伊佐早本作不可

反也。爾努力也 伊佐早本作爾之努力。〈章指〉由可踰 龍

谷本（元良本）由作猶。

○北宮錡問曰至以是為差

周室班爵祿也 龍谷本作周室班爵祿（也）。

問周家班列 八行本問作門·按八行本此葉係明修。

去其籍 伊佐早本作去（其）籍。

周禮司祿之官 廣隆寺本祿作錄。軻孟子名 八行本名下有

也字。今考之禮記 伊佐早本禮記作孔說。

侯一位子男同 各本位下有伯一位三字。

自天子以下 八行本自作白·按八行本此字係補刻。

公侯皆方百里 大和本作公侯皆方百里。

大夫受地視伯 伊佐早本地下有視侯大夫受地六字。

十分之一也上士之祿 各本也下有大夫祿居於卿祿四分之一

也十二字。以祿代耕也。八行本耕作祿。大夫祿居卿祿三分之一也。伊佐早本上祿作祿。

与庶人在官者同祿。伊佐早本在官作(在)官。

亦有此五等。元良本此字傍有朱校語謂比イ作。

一夫百畝。大和本畝下有之字。

○万章問曰至其義一也

長年長貴貴勢。元良本年字傍有朱校語謂年作主。有富貴者

伊佐早本富作富。五人屈礼而就也。各本就下有之字。

百乘之家。元良本作百乘(之)家。

吾於子思。伊佐早本吾作吾。

非惟小国之君。竜谷本無惟字。

晋平公於亥唐也。広隆寺本元良本仁和寺本八行本公下有之字

伊佐早本亥作亥。

疏食菜。八行本疏作蔬。

隱居陋巷者平公常往。広隆寺本者下有晋字、常作嘗。元良

本常作嘗。八行本者作晋、常作嘗。士之尊賢者也。伊佐早

本作士之尊(賢)者也。

非王公尊賢。各本公下有之字。

友匹夫也。伊佐早本匹作而。

舜在畎畝之時。伊佐早本畎畝作畝(畝)。是天子之友匹夫也。広隆寺本元良本之作而。

○万章敢問至公養之仕也

為可者。伊佐早本可作何。八行本者作也。

卻之卻之。伊佐早本作卻之(卻之)。

故弗卻。広隆寺本卻作欲。

其來求交己。八行本求交作交求。言可受也。広隆寺本元良

本八行本作蓋言可受之也。

其交以道其餽也。各本交下有也字。

奪之貨。元良本之作之。以礼道来接己。各本來下有交字。

如之何其受之。伊佐早本作如之何其受(之)。

今諸侯。八行本今下有之字。君子謂孟子。元良本八行本子

下有也字。魯人之獵較獵較者田獵相較。伊佐早本作魯人之

獵較(者田獵相較)。時俗。伊佐早本俗作倍。孔子之仕

伊佐早本之下有事字。行其道与。広隆寺本与作也。

曰事道也。伊佐早本曰下有然字。大和本無也字。

孔子欲仕道。竜谷本同。各本仕作事。

曰孔子先簿正。伊佐早本作曰孔(子)先簿正。難常有之絶。伊

佐早本乏作之。八行本乏作之。何為不去。元良本去下有也

字。

為之兆也兆足以行矣。伊佐早本上兆作非、下兆作非。^兆
不行而後去。伊佐早本作不行而不後去。[△]
占其事始而退。元良本退作既。^退

於季桓子見行可之仕也。伊佐早本無之字。

於衛孝公公養之仕也。竜谷本作於衛孝公(公)養之仕也。

養孔子故。広隆寺本八行本重孔子二字。

○孟子曰仕至而道不行恥也

仕非為貧也。伊佐早本貧作貪。

為貧娶妻。伊佐早本娶作取。

為貧者。伊佐早本貧作貪。

居貧。伊佐早本貧作貪。

為貧之仕。伊佐早本貧作貪。辭尊貧者。各本貧作富。

道不行恥也。広隆寺本元良本竜谷本恥作耻、注文倣此。

茁茁生長貌也。元良本作茁(茁)生長貌也、当行不行為己

之恥。伊佐早本作当行為不行(為)己之恥。

○万章曰士之至尊賢者

受粟何義也。竜谷本作受粟何義(也)。民之常科也。広隆

寺本八行本科作料。元良本科作料。^利横加也。伊佐早本加下

有之字。可食於上祿。八行本祿作有。繼續而常來致。広隆
寺本作繼續(而)常來致。

稽首再拜。伊佐早本作稽(首)再拜。

不受曰今而。伊佐早本作不受曰曰今而。[△]

子思以君命。広隆寺本元良本以下有為字。後知君犬馬。八

行本君下有以字。孟子譏。伊佐早本譏作既。^譏八行本譏作議。

行礼拜受之。広隆寺本作行礼拜受。○(省略)厨之宰之人。子

思所以。伊佐早本子作孟。^子已說於上篇。伊佐早本作已(說)

於上篇。〈章指〉不弘也。竜谷本(元良本)無也字。

○万章曰敢問至其官召之也

市井之人。元良本八行本人作臣。

在野野居之人莽亦草也。伊佐早本人下有曰草莽之臣五字。

八行本同伊佐早本、不重野字。衆庶之人。八行本衆庶作庶

衆。往供事。元良本竜谷本八行本供下有役字。不肯往見何

也。八行本肯作月。以是欲見之也。八行本無之字。

子思之不悅也。伊佐早本子上有孟字。

古人曰見賢人。竜谷本無曰字。

孔子奚取焉哉。各本無哉字。

因章曰旃。伊佐早本作因有章曰旃。注旃首者。八行本作註

旄首者者。況以不賢人 伊佐早本作況(以)不賢人。不賢之招不以礼也 広隆寺本招下有是字、也作者・元良本礼下有者字・八行本招下有是字、礼下有者字。欲人之入 広隆寺本作欲人(之)入。何得而入 広隆寺本元良本何作可。

閉門 八行本門作閉。

周道如底 伊佐早本底作砥・竜谷本底作底・注文底字倣此。

周道平直 広隆寺本作周道(平)直。效君子 八行本效作

効。孟子言孔子 伊佐早本言作曰。有当職之事 各本当作

官。賢者無位 広隆寺本八行本者作人・元良本者作人_{者イ}。

○孟子曰万章曰至是尚友也

国国中之善者 元良本作(一)国_{無イ:中イ}之善者・八行本作

一国之善者。四海之内也 八行本無也字。疇匹也 広隆寺

本元良本無也字。

頌其詩 伊佐早本作頌其(詩)。

詩歌頌之 元良本作詩歌頌之(風)・八行本作詩歌_国近。

〔章指〕無友 竜谷本(元良本)無作母。

○齊宣王問卿至不聽則去

為三卿也 元良本三作王_{三イ}・八行本三作王。

諫反覆之 伊佐早本諫作誅_諫。

孟子曰貴戚之卿 伊佐早本作孟子曰(貴戚之)貴卿_△。王勿怪也 広隆寺本元良本怪作恠。不以其正義對 広隆寺本正作王。三而待放遂不聽之 広隆寺本元良本竜谷本遂作逐・八行本三作王、放作旅。

孟子卷第十 伊佐早本十下有之終二字・竜谷本大和本作音注孟

子卷之十・八行本作孟子註疏解經卷第十下

孟子卷第十一 趙氏注

告子章句上 広隆寺本無趙氏注三字、告子章句上下有凡二十章

四字・大和本作音注孟子卷之十一、無趙氏注三字、無章數・

仁和寺本無趙氏注三字・其他樣式同各本卷第一・伊佐早本

元良本竜谷本同各本卷第一・八行本同八行本卷第一上・有

章數者章數作二十・龍谷本作二十二。

○告子章句上

兼治 伊佐早本兼作樂_兼。性命之難言 伊佐早本無之字。弟

子之問 伊佐早本弟作才。

○告子曰至必子之言夫

為桮棬也 伊佐早本無也字。子能順完 八行本子作所。將

以斤斧 伊佐早本八行本無以字。殘賊之乃 伊佐早本賊作

賤賊。

如將戕賊 八行本無戕字。

以為仁義与 竜谷本作（以）為仁義与。

転性以為仁義 伊佐早本八行本無以字。夫歎辭也 伊佐早

本八行本作夫蓋嘆辭也。〈章指〉順夫自然 竜谷本（元良

本）夫作天。殘木為器 （元良本）作（殘）木為器。

○告子曰至其性亦猶是也

湍者圓也 伊佐早本者作水、圓作^圓。八行本者作水。湍湍

潔水也 伊佐早本不重湍字。八行本作湍水湍潔水也。無本

善不善之性也 伊佐早本作無之性也本善不善。無分於東西

伊佐早本作無（分）於東西。水豈無分 伊佐早本作水豈無

無分。[△]猶水欲下也 伊佐早本八行本水下有之字。額額也

八行本作額願。所誘迫耳 元良本作（所）誘迫耳。〈章指〉

激躍 竜谷本躍作濯。

○告子曰至人之性与

皆同性 広隆寺本性作生。無異性也 伊佐早本八行本無也字。

白玉之白与 八行本与作歟。

問告子子以 元良本作問告子以。八行本作問告子以。三白

之性同邪 伊佐早本邪作耶。

牛之性猶人之性与 伊佐早本牛之性作牛性。孟子言犬之性 竜

谷本言作曰。〈章指〉是在其中 竜谷本是作人。

○告子曰至耆彘亦有外与

孟子怪告子 元良本怪作恠。竜谷本伊佐早本怪作性。^怪彼人

年長大 伊佐早本八行本下有老字。非在於我也 広隆寺

本元良本八行本我下有者字。見於外也 竜谷本同。各本外

下有者字。敬老人邪 元良本伊佐早本邪作耶。

謂老者為有義乎 伊佐早本乎作耶。^乎敬老者已也 元良本伊

佐早本八行本敬上有且字。

秦人之彘 伊佐早本彘作^彘。

耆彘同等 竜谷本同作何。伊佐早本彘作^彘。敬楚人之老

竜谷本楚作是。情往敬之 広隆寺本元良本竜谷本八行本往

作性。伊佐早本往作^往。雖非已彘同美 伊佐早本美作之。

豈在外邪 伊佐早本邪作耶。

○孟季子問至飲食亦在外也

故言内 伊佐早本八行本内下有也字。先酌誰 伊佐早本八

行本作誰先酌。鄉人在賓位 竜谷本同。各本人下有以字。

敬在鄉人也 伊佐早本八行本無也字。

飲食亦在外也 伊佐早本無也字。

○公都子曰至故好是懿德

或人以為可教 伊佐早本作或人(以)為可教。

以堯為君而 伊佐早本而作西_而。

公都子曰或人者 伊佐早本作公都子曰或(人)者。人各有

性善惡 元良本有作自_有。亦不能使此二子 伊佐早本八行本

此作其。亦各有性也 元良本也作矣。皆非邪 伊佐早本八

行本作皆為非歟。

可以為善矣 伊佐早本作可以為(善)矣。

相為表裏 伊佐早本裏作理。從之孝經曰 伊佐早本之作善_之

曰作去。八行本曰作云。非從外消鑠我也 伊佐早本八行本

消作銷。則亡失之 伊佐早本亡作七_亡。故人之善惡 伊佐早

本無之字。譬如被疾 伊佐早本作譬若乎被疾_△。八行本作

譬若乎被疾。所謂童昏也 広隆寺本元良本昏作昏。

詩曰天生蒸民 竜谷本曰作云。

民之秉夷好是 八行本夷作彝。以下經文注文共倣此。

天生衆民 伊佐早本八行本衆作蒸。常好美德 竜谷本美作

美_善。人皆有善 元良本作人皆有善(者)·伊佐早本作人皆有

是善惡_者·八行本作人皆有是善者。

○孟子曰富歲至悅我口

富歲豐年也凶歲飢饉也 広隆寺本作富歲凶豐年也(凶)歲

飢饉也·竜谷本也作也也_△。人之子弟也 広隆寺本竜谷本也

作言。天降下才性 伊佐早本作天降下(才)性。

人事之不齊也 大和本齊作齋。

麩麥 元良本麥作麥·以下注文倣此。

詩云詒我来麩 各本詒作貽·元良本來麩作來_{イ無イ來}。麩·竜谷

本麩作麩_牟。其不同者 伊佐早本作其(不)同者。蓋体類与

人同 各本蓋作故。故拳相似也 元良本似下有之字。古賢

者也 伊佐早本八行本者作人。

易牙先得 竜谷本先作亦·亦字傍有校語謂先_大按大全指四書大全。

至於味天下 伊佐早本作(至於味)天下。

天下期於師曠 竜谷本作天下期_◎師曠於_◎·大和本曠作曠。

目之同耳 各本耳作也。

有同美焉於心独無所同然乎 広隆寺本作有同美_◎於心_{……}乎焉_◎。

草牲曰芻穀養曰豢 八行本無此八字。〔章指〕或為小人

(元良本)無為字。勗而進之 竜谷本進作集。

○孟子曰牛山至惟心之謂与

是以若彼濯濯也 伊佐早本作是以若是_△以彼濯濯也。

牛山未嘗盛美 各本未作木·元良本木字傍有朱校語謂未_イ。

非山之性 広隆寺本作非山◎性之。

雖存乎人 大和本存作在。

且且而伐之可以為美乎 広隆寺本元良本伊佐早本八行本無以字

・竜谷本可以為作可為。以大全

雖在人之性 伊佐早本無之字。

豈人之情也哉 伊佐早本無哉字。

且昼昼曰也 伊佐早本八行本作且昼曰昼也。未嘗有善才性

伊佐早本八行本有作存。孔子曰持之 元良本作孔子曰

持イ無：イ無曰持之。則在縦之 広隆寺本元良本竜谷本八行本在作

存・伊佐早本作則存縦。〈章指〉使邪不干 竜谷本干作平。

不伐牛山 竜谷本山作止。

○孟子曰無或至非然也

為數小數 伊佐早本小作少。

圍碁 元良本伊佐早本碁作碁。

雖与之俱学 元良本之下有為聽一人雖聽之一八字。

謂之善奕曰奕秋 伊佐早本作謂之善奕曰奕秋・竜谷本

奕秋作奕(秋)。其一人念欲射 伊佐早本八行本念作志。

〈章指〉十人惡之 竜谷本十作一。

○孟子曰魚我至失其本心

二者不可得兼含生而取義者也 伊佐早本生作至。生

如使人之所欲莫甚於生則 広隆寺本作◎使人之所欲……生則如。

使人之所惡 大和本作如使人之所惡。

勿喪亡之也 伊佐早本也作乎。

弔得則死 大和本作弗得則無。死

道中凡人 八行本無道中二字。乞人不絜 伊佐早本無乞字、

絜作潔・八行本絜作潔。

不辯礼義 仁和寺本弁作辨。

所知之人窮乏者 広隆寺本知作智・元良本伊佐早本竜谷本

八行本者不有也字。可以止乎 伊佐早本無乎字。失其本心

也 伊佐早本八行本心下有者字。

○孟子曰至求其放心而已矣

可哀憫哉 広隆寺本元良本憫作閔。人知求雞狗 伊佐早本

八行本狗作犬。學問所以求之 伊佐早本八行本之下有矣字。

○孟子曰今有至不知類也

非手之用指也 伊佐早本無之字。妨害於事 広隆寺本妨作

好。為指不若人故也 伊佐早本八行本指下有之字・按八行

本此葉係元修。

○孟子曰拱把之桐梓

苟欲生之皆知所以養之者 広隆寺本作苟欲◎皆知所以養生之之◎

者。把以一手把之也 伊佐早本無把之二字。知灌漑而養之

広隆寺本概作激。不思之甚也 伊佐早本作不思之甚者也

宜孟子有是以言之歟 八行本甚下有者字。按八行本此葉係

元修。

○孟子曰人之至尺寸之膚哉

体有貴賤有大小 各本大小作小大。按八行本此葉係明修。

害貴養其小者 伊佐早本作害貴賤養其小者。

頭頸貴者也 伊佐早本頭作頤。指拇賤者也 広隆寺本拇作

拇。伊佐早本拇作拇。為大人 元良本伊佐早本作為大人故

也。

楨棘 広隆寺本楨作楨。注文倣此。

為賤場師焉 伊佐早本作為賤(場師)焉。

失其肩背 大和本失作告^{失イ}以下失二字倣此。伊佐早本作失其肩

(背)。

口腹豈適 広隆寺本腹作復。

所以賤之者 伊佐早本八行本無以字。失道德耳如使不失道

德。元良本作失道(德耳如使)不失道德。存仁義 元良本存

有^{有イ}存 伊佐早本存作有。尺寸之膚邪 伊佐早本八行本邪作

哉。亦為懷道者也 伊佐早本八行本作亦以懷其道德也。元

良本道下有德字^無。

○公都子問曰至大人而已矣

縱恣情慾 伊佐早本情作情^情。

而蔽於物 元良本作而(蔽)於物。

利欲之事來交 伊佐早本欲作慾。八行本欲作慾、來作交。

善勝惡 伊佐早本作善勝(惡)。惡不能奪 広隆寺本奪下

有而已矣三字。元良本伊佐早本奪下有之而已矣四字。

○孟子曰有天爵者至必亡而已矣

此人爵也 伊佐早本無也字。

脩其天爵 伊佐早本無天字。

今之人脩其天爵 伊佐早本作今之(人)修其天爵。

終必亡之 伊佐早本之作也。

○孟子曰欲貴者至人之文繡也

人之同心也 伊佐早本同作固^同。

人皆同欲貴之心 伊佐早本作人(皆)同欲貴之心。凡人之

所貴富 広隆寺本竜谷本八行本富下有貴字。元良本富下有

貴也二字。伊佐早本作凡人之所貴(富貴)。非良貴者 伊

佐早本者下有也字。人所自有者 各本人下有之字。

施於身 伊佐早本作施(於)身。

飽仁義之於身 龜谷本作飽仁義(之)於身。不願人膏梁矣

膏梁細梁 八行本人下有之字。伊佐早本作不願人之膏梁

(矣膏梁) 紬梁。

○孟子曰仁之勝不仁也

勝不仁 大和本作勝(不)仁。

猶水勝火 伊佐早本水下有之字。

何能勝 廣隆寺本元良本龜谷本無能字。伊佐早本八行本勝

作救。以此謂水不勝火 伊佐早本此下有則字。亡猶無也

龜谷本猶作由。終必無仁矣 伊佐早本八行本無作亡。

○孟子曰五穀者種之美者也

苟為不熟 伊佐早本作苟(為)不熟。

夫仁亦在乎 龜谷本大和本仁作人。不成不如 伊佐早本八行本

成下有則字。

○孟子曰羿之至亦必以規矩

工射者 伊佐早本八行本工作善。穀張也弩 各本無也字。

攻木之工 伊佐早本無之字。

孟子卷第十一 龜谷本大和本作音注孟子卷之十一。八行本作孟

子註疏解經卷第十一下。

孟子卷第十二

告子章句下

趙氏注

廣隆寺本無趙氏注三字。告子章句下有凡十六章四字。仁

和寺本無趙氏注三字。大和本作音注孟子卷之十二。無趙氏

注三字。章數非小字。元良本無趙氏注三字。其他樣式同各

本卷第一。伊佐早本龜谷本同各本卷第二。八行本同八行本

卷第二上。有章數者章數作十六。龜谷本大和本作一十六。

○任人有問至則將摟之乎

孟子弟子屋廬連問二者 伊佐早本弟作才。連作速。廣隆寺

本龜谷本問作曰。

明日之鄉 大和本鄉作雛。

齊其末 大和本齊作齋。

以齊等其末 廣隆寺本末作本。高於山耶 伊佐早本同。各

本耶作邪。金重於羽耶 各本羽下有謂多少同而金重耳一帶

鉤之金豈重一車羽十八字。各本耶作邪。《章指》其輕重以

禮 (元良本) 無重字。

○曹交問曰至有餘師

當如何 伊佐早本八行本如下有之字。

今日拳百鈞 伊佐早本作曰。

為有力人矣則 広隆寺本伊佐早本仁和寺本大和本八行本矣下有

然字・竜谷本矣則作奚然則・元良本矣則作也然則。

拳鳥獲之任 広隆寺本鳥作鳥。

無力之人 伊佐早本無之字。拳百鈞百鈞三千斤也 竜谷本

不重百鈞二字。有力之人矣 伊佐早本八行本無矣字。人誰

不能徐行者 伊佐早本無人字。

子服堯之服 大和本作子服堯之(服)。

是桀而已矣 伊佐早本無矣字。

堯言行義之言 各本作行仁。堯行孝弟之行 伊佐早本作堯

(行孝)悌之行。桀行淫虐之行也 広隆寺本作桀行行淫虐

之行也。似桀 元良本伊佐早本桀下有而已矣三字。

得見於鄒君 伊佐早本鄒作雛。

若大路 大和本若作若_{若イ}。

子婦曹而求行 広隆寺本元良本無而字。留此学也 伊佐早

本此作留。〈章指〉一言以蔽之 竜谷本蔽之作蔽也。(元良

本)之作也。

○公孫丑問曰至五十而慕

怨親之過 伊佐早本過下有之字。

小弁之怨親親也 伊佐早本無也字。

高叟之為詩也 伊佐早本作高叟之(為)詩也。

高子年長 伊佐早本年作季。何辜於天 各本於作于。詩人

之意甚也 伊佐早本無甚字。

愈疏不孝也 伊佐早本愈下有亦字。

尚或墮之 広隆寺本墮作墮。元良本竜谷本八行本墮作墮。

伊佐早本墮作埋。孝子不怨思其親 広隆寺本無不字。孝子

感激 伊佐早本感作感_{感イ}。思慕其親 伊佐早本作思慕(其)親。

○宋擘將之楚至何必曰利

故謂之先生 竜谷本故作欲_故。欲何之 伊佐早本八行本之下

有也字。說而罷之 竜谷本作說(而)罷之。

有所遇焉 大和本遇作過_過。

往說二王 伊佐早本作往說(二)王。從其志 元良本伊佐

早本八行本志下有也字。問願聞其指 伊佐早本無願聞二字。

其國亡矣 元良本伊佐早本八行本國下有從而二字。不忍興

兵 伊佐早本不作未。何必以利為名也 伊佐早本作何必

(以)利為名也。

○孟子居鄒至得之平陸

守其國也 伊佐早本無也字。致幣帛之礼 竜谷本作致幣

(帛)之礼。未報也。伊佐早本無也字。以交孟子而未答也。

竜谷本作以交孟子[◎]而未答也[◎]。伊佐早本作以交於孟子孟子受而不答也。

由平陸之齊。大和本齊作齋。

季子之齊。伊佐早本作季(子)之齊。大和本齊作齋。

與之間隙也。伊佐早本隙作源^隙。故輕之邪。伊佐早本邪作耶。

惟不役志於享。各本於作于。

物事也儀不及。伊佐早本也作其。

季子不得。伊佐早本作季(子)不得。

何為若是屋廬子曰季子守国。伊佐早本是作之、曰季子作

(曰)孟子^季。至鄒。竜谷本鄒作雛^鄒。但遊交礼。各本遊作遙。

故答而不見。伊佐早本作故礼答而不見之也。〈章指〉亢答

不差。竜谷本亢作無。或不答以其宜也。竜谷本不答作否作

名各。(元良本)不答作否各。

○淳于髡曰至衆人固不識也

先名実者。伊佐早本実作宝^実、後名実者実字倣此。

齊之辯士。竜谷本同。各本辯作辨。固当然邪。伊佐早本作

固当然弗耶[△]。見貢於桀桀。伊佐早本不重桀字。竜谷本貢作

貢、復貢之貢字倣之。歸湯湯。広隆寺本作歸(湯)湯。冀

得施行。伊佐早本施作旋^施。雖異道。伊佐早本作雖異(道)

・広隆寺本作[◎]雖道異[◎]。子思礼扱也。竜谷本同。各本孔下

有子之孫三字。二人皆師傳之臣。広隆寺本竜谷本伊佐早本

八行本皆作為。元良本皆作為^皆。淇水名。伊佐早本淇作淇^淇。

北流活活。伊佐早本活作治^活。故曰処於淇。広隆寺本元良本

八行本淇下有水字。竜谷本伊佐早本無於字、淇下有水字。

高唐齊西邑。伊佐早本唐作君^唐。城為之崩。伊佐早本崩作削^崩。

效其哭。広隆寺本效作郊^效。伊佐早本效作郊^效。尚能變俗。伊

佐早本作尚能(變)俗。見外為之。伊佐早本無之字。如有

之則。竜谷本作如有(之)則。必識知之。伊佐早本之下有

矣字。孔子為魯賢臣。伊佐早本作孔子為司寇為賢臣。不能

用其道也。伊佐早本也下有有用其道也^{△△△}四字。未及稅解。伊佐

早本作來反稅解^{未及}。固不能知君子。伊佐早本能知作識。賢

者之志。伊佐早本志作甚。〈章指〉見機。竜谷本(元良本)

機作幾。不俟。竜谷本(元良本)俟作候。

○孟子曰五霸至諸侯之罪人也

乘直道。竜谷本乘作乘^乘。夏禹殷湯。伊佐早本八行本殷作商。按

八行本此葉係明修。謂當孟子之時。竜谷本作(謂當)孟子

之時。

諸侯朝於天子 大和本作諸(侯)朝於天子。

補不足 伊佐早本補作稱^補。

培克在位 大和本措作接、但訓ホウ。

諸侯伐而不討 広隆寺本作諸侯(伐)而不討。

在位賞之 広隆寺本之作也。搜牽諸侯以伐諸侯不以王命也

広隆寺本無以伐諸侯四字。乃罪人也 伊佐早本八行本乃

下有為之二字。

不敵血 大和本敵作軟^{軟敵}。

不敢負也 伊佐早本八行本也作之。誅不孝 広隆寺本孝作考。

為嫡也 伊佐早本八行本嫡下有妻字。勿忘忽也 竜谷本忘

字傍有校語謂妄欺。仕為大臣 伊佐早本仕作任^仕。必得賢立

之無方也 伊佐早本賢下有也字、之作賢^之。私怒行誅戮也

八行本無誅字。遏止穀羅 伊佐早本作遏止穀(羅)。有所封

賞 伊佐早本無所字。不告盟主也 伊佐早本告作造。

逢君之惡其罪大 元良本君作君^其。

逢迎也 竜谷本無此三字。臣以諂媚逢迎而 伊佐早本作臣

以諂(媚)逢媚逢迎之而。八行本迎下有之字。按以上八行

本係明修。

○魯欲使慎子至志於仁而已

堯舜之也 伊佐早本作(堯)舜之也。

不足以待諸侯 伊佐早本待作得^待。

太公 伊佐早本太作大。

亦為方百里 伊佐早本作亦為方(百)里。

天子諸侯地制 伊佐早本地制作制正。在所損之中邪 伊佐

早本八行本中邪作乎。在所益之中也 広隆寺本元良本也作

乎。伊佐早本八行本中也作乎。但取彼与此 竜谷本但作且。

求広土地乎 伊佐早本広作廉^広、土作王^土。輔君以仁 伊佐早

本仁下有也字。〔章指〕既其用兵 竜谷本(元良本)既作

賤。

○孟子曰今之至不能一朝居也

今之事君者曰 伊佐早本八行本者下有皆字。

我能為君辟土地 各本辟作辟。広隆寺本為君作為(君)。

侵鄰国 伊佐早本鄰作少。重賦斂也 伊佐早本賦作賊^賦。所

謂良臣者 伊佐早本八行本無者字。為民賊傷民 伊佐早本

八行本賊下有者也賊三字、民下有也字。按八行本為民賊者

四字係補刻。

求富之 大和本無之字。

求必勝也 伊佐早本作求以勝之也^必。八行本勝下有之字。

求為之強戰 大和本作為之求強戰。

〔章指〕不化 竜谷本（元良本）化作仕。

○白圭曰至大桀小桀也

欲省賦利民 伊佐早本無欲字。

万室之邑 各本邑作国。

貉之稅二十 八行本悅作說。使一人陶瓦器 伊佐早本一作

二。白圭之所言也 伊佐早本圭作至也作而已矣三字。

宮室宗廟 伊佐早本作宮室（宗）廟。

幣帛饗飧 広隆寺本元良本飧作飧。伊佐早本飧作饗。

無中国之礼 広隆寺本作◎中〔無〕国之礼、無字虫損不明。

可二十取一而足也 広隆寺本無也字。伊佐早本十下有而字。

陶以寡 伊佐早本寡作寡。

今之居中国 伊佐早本居作君。二十稅一者 伊佐早本十下

有而字。夷貉為大貉子 広隆寺本作夷貉為大貉（子）。過

什一則夏桀 伊佐早本八行本則下有是字。為大桀子為小桀

也 伊佐早本作為大桀而子為之小桀也。〔章指〕裔土簡情

竜谷本（元良本）土作王。

○白圭曰至吾子過矣

当諸侯時 伊佐早本八行本候下有之字。按八行本此葉係元

補刻。謂過禹也 伊佐早本作謂過半禹也。八行本作謂過乎

禹也。禹除中国 伊佐早本除作降。仁人惡為之 伊佐早本

為作之。子亦過甚矣 伊佐早本子上有故是二字。按八行本

以上係元補刻。

○孟子曰君子不亮惡乎執

舍信 伊佐早本八行本舍作捨。將安執之 伊佐早本安下有

所字、之下有耶字。按八行本以上係補刻。

○魯欲使樂正子至国欲治可得乎

為之喜 広隆寺本之作人。能好善故為之喜 伊佐早本作

（能）好善故為之善。丑問人但 伊佐早本人作以。按八行本以上係補刻。懷善言之士 伊佐早本無言字。〔章指〕来

道（元良本）来作求。

○陳子曰至免死而已矣

陳臻問 伊佐早本作陳臻（問）。得何礼可以仕也 伊佐早

本作謂何以礼可仕也。

雖未行其言也迎之致 大和本無之字。

朝不食夕不食 伊佐早本作朝不食（夕不食）。

其下者困而 伊佐早本困作周、矜其困而困字做此。〔章指〕

備此 竜谷本（元良本）備作漏。

○孟子曰舜堯至而終於安樂也

百里奚 伊佐早本奚作之。

忍性曾益 広隆寺本曾作增・伊佐早本曾作曾^{増也}。

管夷吾 各本作管仲。

隱於都市而以為相也 各本市下有穆公舉之於市六字・元良

本穆字傍有朱校語謂穆一作繆。不能行 広隆寺本行下有者

也二字・元良本行下有者字・伊佐早本行下有之者也三字。

知勤 竜谷本勤作勤^勤。

人恒過然後 広隆寺本重後字。

乃更其所為 伊佐早本作乃更其所為。

腎臆之中 広隆寺本元良本竜谷本八行本腎作腎・伊佐早本

腎作胸、無之字。見而怪之 竜谷本怪作恠。後喻 伊佐早

本喻作諭。寤戚 広隆寺本戚作厥。商歌 元良本商作商^{高イ}。

伊佐早本商作高・八行本商作角。異之 伊佐早本之下有是

而已三字。輔弘之士 伊佐早本弘作弼、土作臣・八行本土

作臣。荒忽 各本忽作怠。国常 竜谷本常作常^常。怠惰 元

良本作怠惰^{慢正作}・伊佐早本作怠慢。其知能也 元良本伊佐早本

能下有者字。

○孟子曰教亦多術矣

而已矣 広隆寺本無矣字。

屑絜也 竜谷本伊佐早本絜作潔。我不絜其人之行 広隆寺

本無之字・伊佐早本絜作潔。退自脩学 伊佐早本退上有通[△]

字。亦我教誨 伊佐早本無我字。

孟子卷第十二 竜谷本大和本作音注孟子卷之十二・八行本作孟

子註疏解經卷第十二下。

孟子卷第十三 趙氏注

尽心章句上 広隆寺本無趙氏注三字、尽心章句上下有凡四十六

章五字・元良本無趙氏注三字、無章數・仁和寺本無趙氏注三

字・大和本作音注孟子卷之十三、無趙氏注三字、章數非小字

・其他樣式同各本卷第一・伊佐早本竜谷本同各本卷第一・

八行本同八行本卷第一上・章數広隆寺本竜谷本仁和寺本大

和本作四十六・伊佐早本八行本作四十五。

○尽心章句上

為精氣主 竜谷本主作生。維綱 伊佐早本八行本維綱作綱

維。拱之 竜谷本八行本拱作共。曰存其心 伊佐早本八行

本曰作苟。其性 伊佐早本性作性^性。題篇 伊佐早本八行本

作篇題。

○孟子曰：「其至所以立命也。」

所以事天。伊佐早本天下有也字。立命之本也。伊佐早本無也字。〔章指〕乘心。龍谷本兼作乘。

○孟子曰：「莫非至非正命也。」

為受其正也。伊佐早本也下有已字。欲趨於正。廣隆寺本元良本趨作趨。為得正命也。伊佐早本八行本無為字。畏庄溺龍谷本同。各本溺下有死字。非正命也。伊佐早本也下有已字。〔章指〕人必趨命。龍谷本必作必。君子遠之。（元良本）作君（子）遠之。

○孟子曰：「求則至求在外者也。」

故言得之。伊佐早本八行本言作曰。龍谷本作故言得（之）。無益於得也。伊佐早本作無益（於）得也。求在外也。伊佐早本八行本外下有者字。

○孟子曰：「万物至求仁莫近焉。」

求仁之術。元良本無之字。此最為近。廣隆寺本龍谷本近作樂。元良本近作樂。樂字下有校語謂近焉。伊佐早本近下有也字。

○孟子曰：「行之而不著焉。」

不著焉習矣。伊佐早本無焉字、無矣字。

其所愛。伊佐早本無所字。著明其道。龍谷本著作着。以為

自然。廣隆寺本然作終。〔然〕廣隆寺本然字虫損不明。〔章指〕以為道。龍谷本無以字。

○孟子曰：「人不至無恥矣。」

不可以無恥。廣隆寺本元良本八行本恥作耻。以下此卷恥字皆做之。

有恥。伊佐早本恥下有也字。

○孟子曰：「恥之至何若人有。」

穿陷之巧。元良本穿字傍有校語謂阱。伊佐早本八行本穿作阱。取為一切。伊佐早本取作恥。

不恥不若人何若人有。伊佐早本恥作知。何若作何（若）。

宜無以錯。伊佐早本無作天。不恥不如。伊佐早本恥作知。〔章指〕佐齊桓。（元良本）作（佐）齊桓。

○孟子曰：「古之至得而臣之乎。」

而忘勢。伊佐早本作而（若）忘勢。

高宗也。伊佐早本宗作宋。

樂其道而忘人之勢。伊佐早本無而字。

見且由不得亟。龍谷本見且作（見）且。元良本由字傍有校語謂

猶新注。

伊尹樂堯舜之道不致 伊佐早本樂下有道字 堯舜之道作堯舜(之道)。可得而臣之 伊佐早本八行本之下有者乎二字。

〔章指〕樂道忘勢 竜谷本樂作祭。

○孟子謂宋句踐至兼善天下

無欲之貌 伊佐早本貌下有也字。獨治其身 伊佐早本獨作猶。

○孟子曰待文王而後興者

猶興 竜谷本猶字傍有校語謂獨イ。無異知 伊佐早本異作自。

八行本無異字。故須文王之大化 八行本須作由。豪傑才知

伊佐早本八行本傑下有之字。守身正行 広隆寺本作守其身無正行。伊佐早本作守其身正其行。〔章指〕君子特立 竜

谷本特作時。(元良本)特作持。

○孟子曰附之以韓魏之家

〔章指〕不如人非 (元良本) 重人字。卓絕乎凡也 竜谷本

作章絕乎此也。(元良本) 凡字傍有校語謂此イ。

○孟子曰以佚道至不怨殺者

佚道 元良本竜谷本大和本佚作送。広隆寺本佚作佚。

趨農 広隆寺本元良本竜谷本趨作趨。當時雖勞 伊佐早本

八行本時作其。殺此罪人者 伊佐早本無者字。不怨殺者

広隆寺本怨作死。

○孟子曰霸者至豈曰小補之哉

故曰殺人而不怨也 伊佐早本人作之、無也字。使日遷善

伊佐早本八行本使上有又字。言化大也 伊佐早本作言化遷

善為之大道者也。使成人知其小補益也 元良本使成人作使

(成)人。伊佐早本也作之者哉三字。八行本無成字、也作

之者哉三字。

○孟子曰仁言至善教得民心

仁言政教 伊佐早本仁作行。仁声樂声雅頌也 伊佐早本無

樂声二字。

得民也 広隆寺本作得民(也)。元良本無也字。

得民心 大和本得作教。

畏之不逋 伊佐早本逋作過。

○孟子曰人之至達之天下也

無不知愛其親 伊佐早本作無(不)知愛其親。

敬其兄也 竜谷本作敬其兄(也)。

無他達之天下 広隆寺本作◎他達之無天下。

欲為善者 竜谷本作欲(為)善者。天下人而已 伊佐早本

八行本而已作也。

○孟子曰舜之至莫之能禦也

木石之間 伊佐早本八行本無之字·按八行本以下係元修。

豈遠哉 伊佐早本無哉字。

聞一善言 伊佐早本善作書^善。

見人一善行則識之 伊佐早本見人作見(人)·竜谷本則識之

作(則)識之。所欲行 竜谷本同·各本行下有也字。〈章

指〉潛隱 (元良本) 無隱字。

○孟子曰無為其所不為

以身況之 伊佐早本況作先。

○孟子曰人之至深故達

德慧術知 広隆寺本元良本竜谷本大和本知作智。

在於有疾疾 広隆寺本八行本在上有以其二字·伊佐早本在

作以存二字。

○孟子曰有事至而物正者也

悅君而已 伊佐早本八行本而已作者也。後悅也 広隆寺本

作後為悅也·元良本作後(為)悅也·伊佐早本八行本作後

為悅者也。化成也 広隆寺本化作他^化·按以上八行本係元修。

〈章指〉社稷 竜谷本社作礼。行道 竜谷本作行行動[△]。四科

竜谷本科作利。

○孟子曰君子至不与存焉

又不作人 広隆寺本作作作。無邪也 竜谷本作無邪(也)。

孟子重言 八行本孟作君。〈章指〉孟子重焉 竜谷本焉作為^焉。

○孟子曰広土至不言而喻

所樂不存焉 伊佐早本無焉字。

所性不存焉 大和本作所(性)不存焉。

謂性仁義也 広隆寺本性下有於字·伊佐早本作乃所謂性於

仁義者也。

君子所性雖大行 大和本作君子所(性)雖大行。

潤沢之貌也 広隆寺本無也字 元良本貌也作貌(也)。而

知之也 各本無之字。

○孟子曰伯夷至此之謂也

太公 広隆寺本太作大。

東海之濱聞文王作興 伊佐早本聞作万^聞。

教之樹畜 伊佐早本作教(之)樹畜。

非家賜而人益 竜谷本非作作。〈章指〉不凍餒二老 竜谷本

作不餒之二老。斯類也 (元良本) 無類字。

○孟子曰易其至有不仁者乎

教民 広隆寺本元良本教下有庶字・伊佐早本八行本教作庶
・按八行本此章係元修。

不生活 伊佐早本活作治。

如水以而民 広隆寺本元良本而作則。

何有不仁者也 八行本何上有而字。

○孟子曰孔子至不成章不達

登太山 元良本太作大。

所覽大者 伊佐早本覽作觀。照幽微也 伊佐早本作照[△]照幽

微也。科飲也 伊佐早本八行本飲作坎・竜谷本飲作坎^飲。君

子学 伊佐早本八行本子下有之字・按八行本之学二字係補

刻。必成章乃仕進也 広隆寺本元良本必下有至字、進下有

者字・伊佐早本作必至成章（乃仕進者也）・八行本必下有

至字・按八行本章乃仕三字係補刻。

○孟子曰雞鳴而起

臠之徒也 仁和寺本伊佐早本八行本臠作跖・此章臠字皆倣此。

与臠 広隆寺本臠字傍有校語謂跖イ。

以此別之 伊佐早本以上有故字、之下有也字・八行本以上

有故字・按八行本係補刻

○孟子曰楊子至而廢百也

不為也 元良本伊佐早本八行本不下有肯字・按八行本此章
係明修。中和專一者也 伊佐早本重和字。不得時變也 伊

佐早本八行本得作知。廢百道也 伊佐早本無也字。

○孟子曰飢者至不為憂矣

害其本 広隆寺本本本木。

無以飢渴之害 広隆寺本作無飢^x以飢渴之害。

○孟子曰柳下惠

柳下惠 伊佐早本無柳字。三公 広隆寺本三作二。

○孟子曰有為者

有為者中道 広隆寺本元良本伊佐早本者下有能於二字。棄
前行也 伊佐早本八行本行下有者字。〈章指〉論之一簣 竜

谷本論下有語字。

○孟子曰堯舜至其非有也

五霸若能 竜谷本若作方・伊佐早本八行本若作而。譬若

伊佐早本八行本若作如。

○公孫丑曰至則篡也

太甲于桐 伊佐早本桐作相^桐。

丑怪 広隆寺本元良本怪作恠。大臣秉忠志若 各本大作人

・竜谷本秉忠志作秉忠^秉（志）。復之 伊佐早本復作後^復。

○孟子曰楊子至而廢百也

〔章指〕 志異 竜谷本志作忠。

○公孫丑曰至孰大於是

不素餐兮君子 伊佐早本無兮字。

我檀之篇也 伊佐早本檀作担。食謂之 伊佐早本食下有則字。有不耕而食者何也 広隆寺本耕作畊・伊佐早本八行本無者字。

其君用之 大和本無君字。

君安国富 八行本君作身。〔章指〕謂也 竜谷本無也字。

○王子墊問曰至大人之事備矣

齊王子 竜谷本王作士^力。為事 伊佐早本事下有者耶二字。

事備也 伊佐早本也作矣。〔章指〕過差也 (元良本)無也字。

○孟子曰仲子至奚可哉

以其不廉 広隆寺本元良本竜谷本八行本不作小・伊佐早本不作少。〔章指〕有大小 竜谷本大小作小大。

○桃応問曰至樂而忘天下

桃応以為 伊佐早本作桃応以(為)・八行本無為字。不禁止

邪 伊佐早本邪作耶。孟子曰夫舜 伊佐早本無夫字。

逃遵海濱 伊佐早本遵作道^遵。

可蹤者也 八行本無者字。為貴也 広隆寺本元良本伊佐早

本為下有至字・竜谷本作為(至)貴也。

○孟子自范之齊

不与人同還 伊佐早本還作遠^還 謂諸弟子 広隆寺本諸作言

・竜谷本無諸字・伊佐早本弟作才。供養之移 伊佐早本之作云^之。豈非是人之子也 元良本竜谷本豈作皆。

○孟子曰王子至居相似也

若彼者其居 伊佐早本作若彼者其者^{△△}其居。

埳沢 広隆寺本埳作堰。故其自發声 伊佐早本八行本声下有耳字。

○孟子曰食而弗愛豕交之也

不可虚拘 竜谷本伊佐早本大和本八行本可下有以字。

但食之而 伊佐早本食下有留字。若養豕也 伊佐早本豕作象^豕。

○孟子曰形色天性也

如薜華 広隆寺本華作花・伊佐早本作如薜(華)・八行本薜

作舜。然後能以正道 伊佐早本無後字。不言居色主名尊陽

抑陰之義也 龍谷本同・各本色主名三字作而言踐三字。

○齊宣王至弗為者也

愈於已乎 大和本作愈於已(乎)。

不行喪者 元良本伊佐早本八行本者下有也字·按八行本自
此章以下皆係元補刻。徐之為老 元良本伊佐早本八行本重
徐字。勿復戾其兄之臂也 竜谷本作勿復戾其[△]戾其兄之臂也。
若此者 大和本若^若着[△]。

數月喪 八行本喪作長。

不可得也 広隆寺本作不(可)得也。

終服其子礼 竜谷本其作^其若[△]。

○孟子曰君子至所以教也

沾洽也 伊佐早本沾作濟。

有私淑艾者 広隆寺本作(有)私淑艾者。

此教之道 元良本伊佐早本八行本道下有也字。淑善 伊佐

早本作淑(善)。〈章指〉教人之術 竜谷本人作之。英才

竜谷本才作未。所不倦 竜谷本所作人。

○公孫丑曰至能者從之

道則高矣美矣 広隆寺本無下矣字。

為可幾及而日 伊佐早本無而字。

大高遠 各本大作太。不能及也 伊佐早本能作可。

大匠 伊佐早本匠作^匠近。

磨繩墨 伊佐早本磨下有其字。穀弩張 広隆寺本作穀張弩。

〈章指〉故曰人能弘道 (元良本) 作故曰(人)能引道。

○孟子曰天下有道

從道守道而 伊佐早本無守道二字。從俗人也 広隆寺本

作從俗(人)也。

○公都子曰至滕更有二焉。

恃此五者 伊佐早本恃作^特待[△]。

○孟子曰於不可已而已者

已棄也 広隆寺本棄作^棄貴。〈章指〉所紀 竜谷本紀作純。

○孟子曰君子至仁民而愛物

不知人仁 広隆寺本作不加以仁。元良本作不^知加以(人)仁

·竜谷本作不知^{加以}人仁。伊佐早本作不加以仁。八行本作不加

之仁。

仁之而弗觀 元良本作仁(之)而弗親。

先視其親戚 各本視作親。

用恩之次也 伊佐早本作用^恩思之次之者也。

○孟子曰知者至謂不知務

愛賢 元良本伊佐早本八行本愛下有其字。

不三三自往 広隆寺本二三作一一 伊佐早本作(不)一一

自往。

加恩惠也。伊佐早本恩作思。^恩

謂不知務。大和本作謂不知(務)。

小功之礼。伊佐早本小作少。賜食大飯。伊佐早本作賜食

(大飯)。小過耳言之先務。広隆寺本作◎過耳言之之小先

務。伊佐早本小作少。舎大。伊佐早本八行本舎作捨。譏小

若此之類也。伊佐早本作譏少有若不[△]大飯長歎而問無齒決若

此之類也。

孟子卷第十三。伊佐早本三下有終字。竜谷本大和本作音注孟子

卷之十三。八行本作孟子註疏解經卷第十三下。

孟子卷第十四。趙氏注

尽心章句下。広隆寺本無趙氏注三字、尽心章句下有凡三十八章

五字。元良本無趙氏注三字。仁和寺本無趙氏注三字。大和

本作音注孟子卷之十四、無趙氏注三字、章数非小字。其他様

式同各本卷第一。伊佐早本竜谷本同各本卷第二。八行本同

八行本卷第二上。章数広隆寺本元良本竜谷本仁和寺本大和

本作三十八。伊佐早本八行本作三十九。

○孟子曰不仁至及其所愛也

蒙其恩沢。伊佐早本蒙作象。^蒙

有災傷加所愛之臣民。広隆寺本元良本加作而、所下有親字

。竜谷本伊佐早本八行本無加字、所下有親字。

糜爛。広隆寺本糜作糜。^糜

殉從也。竜谷本殉作殖。^殉〔章指〕戒人君也。竜谷本作戒(人)

君也。

○孟子曰春秋無義戰

春秋所載。伊佐早本作春秋所(載)。拳毫毛之善。竜谷本

毫作豪。不得相征。伊佐早本八行本無得字。不得其正。伊

佐早本八行本不上有皆字。

○孟子曰尽信書則不知無書

廉誥曰冒聞。伊佐早本作康誥曰冒聞。[△]甫刑曰帝清問。元

良本作甫刑曰(皇)帝清問。伊佐早本作甫刑曰皇帝請問。

八行本作甫刑曰皇帝清問。不能聞天天不能問民。伊佐早本

問下有於字。八行本天天二字作天下二字、問下有於字。不

可得為書豈可案文而。広隆寺本作不可得為◎豈書可案父而。

戰鬪殺人血流春梓。伊佐早本鬪作鬪、流作洗。^鬪迎其師。広

隆寺本伊佐早本八行本其下有王字。元良本作迎其(王)師。^正

按八行本師字係補刻。則不取也。伊佐早本八行本取下有

之字。按八行本取字係補刻。

○孟子曰有人至焉用戰

北夷怨東面而征 竜谷本夷作狄夷 広隆寺本面作西面

遲願見征 元良本遲作遲速 竜谷本遲作速速 何為後我 八行

本作何謂而後我。已說於上篇 伊佐早本八行本篇下有矣字。

虎賁綴衣趣馬小尹 広隆寺本綴作贅、趣作取、尹作君 竜谷

本綴作贅、趣作取 元良本伊佐早本八行本綴作贅。安正爾

也 広隆寺本無正字 元良本作安（正）爾也 竜谷本伊佐

早本八行本正作止。犀至地稽首 広隆寺本竜谷本伊佐早本

八行本作額角犀厥地稽首 元良本作額角犀其至地稽首。〈章

指殷民（元良本）作殷（夷）。

○孟子曰梓匠輪輿

雖得規矩不以成器也 伊佐早本作雖得規矩之法亦不能成器

也 美喻人不志仁雖誦典憲不能以善 八行本作雖得規矩之

法亦不能成器也蓋喻人不志仁雖誦典憲不能以善。

○孟子曰舜之飯糗茹草也

果待也 伊佐早本無也字。

○孟子曰吾今而後知殺人親之重也

殺人之父 伊佐早本無之字。

一聞耳 伊佐早本作一聞（耳）。

与自害其親 伊佐早本八行本害作殺。

○孟子曰古之為閔也將以禦暴

今之為閔也 伊佐早本作今之（為）閔也。

譏閉非常也 竜谷本作譏閉問非我常也。今之為閔 伊佐早本無

之字。

○孟子曰身不行道不行於妻子

妻子不肯定行 広隆寺本伊佐早本八行本妻上有雖字 竜谷

本作（雖）妻子不肯定行。況於他人者乎 伊佐早本八行本

無於者二字。

○孟子曰周于利者凶年不能殺

苟得之利 伊佐早本利作則利。〈章指〉蹈紆 竜谷本紆作姦。

○孟子曰好名人能讓千乘之國

子臧 広隆寺本作子臧伯夷 元良寺本作子臧伯夷 伊佐早本八行本

作伯夷。季札之儔是也 伊佐早本八行本儔作類。鄭子公

竜谷本同 各本作鄭公子。鮒羹 元良本鮒字傍有校語謂龜

正作 伊佐早本八行本鮒作龜。

○孟子曰不信仁賢則國空虛

曰空虛也 広隆寺本竜谷本伊佐早本曰作日 元良本曰作

日。上下之序 伊佐早本八行本序作叙。財用不足 広隆寺

本伊佐早本八行本作財用有所不足故也。

○孟子曰不仁而得国者

不仁而得国 伊佐早本作不仁仁而得国。

得天下 各本作得天下者。

若象封有庠 伊佐早本八行本無若字、封下有於字。天下元

子 広隆寺本下作子。元良本下作子、子字傍有校語謂一作

下。竜谷本下作子。伊佐早本下作子。有天下也 伊佐早本

八行本也作焉。

○孟子曰民為至則變置社稷

諸侯封以為大夫 元良本封作封^能。伊佐早本八行本封作能。

既絜 広隆寺本元良本竜谷本伊佐早本絜作潔。

絜精 広隆寺本元良本伊佐早本絜作潔。更置也 伊佐早本

八行本也作之。

○孟子曰聖人至況於親炙之者乎

柳下惠是也 広隆寺本無也字。

奮乎百世之上 伊佐早本作(奮)乎百世之上。

鄙狹也 竜谷本狹作狡。何能感人 伊佐早本感作盛^感。若是

隄聞尚然況親見熏炙者也 広隆寺本隄作論、況下有於於字、

見下有而字。元良本隄作論、熏作薰、竜谷本隄作論。伊佐早

本親作於、見下有而字、熏作薰、炙下有之字、也作乎。八行本

隄作論、況下有於於字、見下有而字、熏作薰、炙下有之字、也作

乎。〈章指〉柳下 竜谷本作柳下惠。

○孟子曰仁也者人也

仁也者人也 伊佐早本無上也字。

〈章指〉弘道也 (元良本) 弘作引。

○孟子曰孔子之去魯曰遲遲吾行也

去他国之道也 広隆寺本無也字。

說已見上篇 広隆寺本元良本竜谷本作注義見万章下首章。

伊佐早本八行本篇下有言矣此不復說焉七字。

○孟子曰君子之居於陳蔡之間

君子之道 広隆寺本元良本無之字。君臣皆惡 竜谷本皆作

皆^昏。

○貉稽曰至文王也

如之何 伊佐早本何下有也字。審己之德口無傷也離於凡人

而為士者益多口 伊佐早本無此十九字。広隆寺本者下有亦

字。八行本無為字。

愠于羣小 伊佐早本作愠乎^群辟小。

孔子之所苦也 伊佐早本之作云。

○孟子曰賢者以其昭昭使人昭昭

昭昭明於道德 伊佐早本下昭作明。躬化之道 八行本化作行。欲使他人昭明 伊佐早本八行本無他字。〈章指〉責明 闡 竜谷本責作貴。

○孟子謂高子曰山徑之蹊

孟子謂高子曰 伊佐早本作孟子曰謂高子曰。

山之嶺 竜谷本嶺作嶺。中止比若山路 伊佐早本作正 八行本比作止。

○高子曰至兩馬之力与

尚貴声染 伊佐早本八行本無貴字。追鐘鈕也 元良本鈕作鈕。鈕擊齧 伊佐早本擊作磨。蟲蟲欲絶之貌也 元良本伊佐早本八行本不重蟲字。文王之鐘 広隆寺本元良本竜谷本文上有此字。是何足 伊佐早本無是字。按八行本何足二字

係補刻。先代之樂器 伊佐早本代作伐。後王皆用之 伊佐早本用下有孟子二字。春秋外伝 伊佐早本外作丹。足以行 関 伊佐早本関作間。足以称賦 広隆寺本伊佐早本八行本

賦下有是兩馬也四字。〈章指〉三王 (元良本) 作 (三) 王。

○齊饑陳臻曰至其為士者笑之

齊饑 大和本齊作齋。

国人皆以夫子 竜谷本作国人皆(以)夫子。

棠齊邑也 伊佐早本無也字。孟子嘗 伊佐早本作孟子棠嘗。夫子復若發棠時 元良本伊佐早本八行本子下有將字。不可復言之 伊佐早本作不可復言之。

趨而迎之 広隆寺本元良本趨作趨。竜谷本作趨而迎(之)。

善士者以善搏 伊佐早本者下有笑字。故進以為士 竜谷本進作追。梭迫也 竜谷本迫作追。恥不如前 八行本同。各本恥作耻。走而迎之 伊佐早本八行本無之字。不知止也 伊佐早本止作正。人欲復使我 各本人作今。〈章指〉善見 竜谷本見作貝。

○孟子曰口之至不謂命也

君子不謂性也 伊佐早本不作所。

音声 伊佐早本八行本作五音。按八行本音字係補刻。解倦 伊佐早本八行本解作懈。思安佚 伊佐早本佚作使。触情從 欲 伊佐早本触作有。按八行本触字係補刻。礼節為制 伊佐早本節下有以字。君子不謂性也 伊佐早本謂下有之字。

知之於賢者也 仁和寺本作作智。

施於君臣 伊佐早本臣作子。好礼敬 各本礼下有者得以礼四字。按八行本上礼字係補刻。任天而已 広隆寺本任作在

元良本任作在¹任。按八行本任字係補刻。〈章指〉不追佚性
(元良本)無追字。

○浩生不害問曰至四之下也

不害問曰 大和本作不害問(曰)。

何謂善 伊佐早本作(何)謂善。

不可知之 各本之下復有之字。

己之所欲乃 広隆寺本元良本竜谷本八行本所作可。伊佐早

本所作可、乃作可^乃。不意不信也 広隆寺本元良本竜谷本八

行本意作億。伊佐早本意作億^意。在二者之中四者之下也 伊

佐早本在作有。八行本也作下。按八行本之下下三字係補刻。

〈章指〉二科 竜谷本科作耕。

○孟子曰逃墨至又從而招之

無親疏之別 伊佐早本疏作既^疏。

今之与楊墨 大和本今下有鷄字。

曾之太甚以言去揚墨歸儒則可又復從而 伊佐早本無此十七

字。広隆寺本則作婦即二字。按八行本言至婦五字係補刻。

罪之亦云太甚 元良本罪字傍有校語謂非^正作。八行本罪作

非。〈章指〉伊佐早本以下有章指。反正正斯 (元良本)

作反正(正)斯。來者 竜谷本來作求。

○孟子曰有布至而父子離
力役之征 広隆寺本無之字。

布軍卒 竜谷本卒作率。粟米軍糧也 伊佐早本粟作事^粟。広

隆寺本元良本糧作糧。負荷 広隆寺本重負荷二字。斯養

広隆寺本元良本伊佐早本八行斯作斯。若並用三 八行本三

下有則字。

○孟子曰諸侯之寶三

民不離散 八行本民作居。若宝珠玉 伊佐早本作若宝珠

(玉)。和民之璧 各本民作氏。

○益成括至殺其軀

知其必死 伊佐早本死作無^死。害其身也 伊佐早本無也字。

〈章指〉終吉 伊佐早本吉作苦^吉。

○孟子之滕至斯受之而已矣

孟子舍止 八行本止作上。

廢也 竜谷本作廢(也)。

業織之有次業 竜谷本次作廢^次。伊佐早本之作乏^之。次業作(次)

業。故曰侍從者 伊佐早本作(故)日侍從者。來事夫子也

伊佐早本來作養^來。問之過 竜谷本八行本過下有也字。

夫子之設科也 竜谷本予作子^予。伊佐早本八行本予作子^予。

往者不追 大和本往作征。

孟子曰堯舜至以俟命而已矣

亦不距逆 八行本距作拒。不保異心也 広隆寺本八行本保

湯武反之也 竜谷本無也字。

下有其字。元良本保下有其字、其字傍有朱校語謂イ無。見

加美於民 八行本民下有也字。

館人言殆非為是來 八行本無言字。伊佐早本見上有是字、言

動容周旋 伊佐早本旋作施。^旋行其節邪 各本邪作操。待命而已

殆二字作(言)殆。謙以答之 伊佐早本八行本以下有益字、

矣 八行本作行法以待之而已矣。〈章指〉不惑 伊佐早本

之下有而已二字。〈章指〉造次伊佐早本次作順。^次

惑作感。脩心 竜谷本脩作後。^修俟終 竜谷本終作紹。^終

○孟子曰人皆至穿踰之類也

○孟子曰說大至吾何畏彼哉

謂富貴也 伊佐早本作(謂)富貴也。此者義人也 伊佐早

藐之勿視 大和本之下有之字。

本者作有。^者穿踰之心 八行本踰作窳。義不可勝用 各本用

大人謂 広隆寺本元良本竜谷本無謂字。說此大人之法 伊

下有也字。按八行本以下係元修。人之為士者 八行本者作

佐早本八行本無此字。言語得尽 伊佐早本八行本尽下有而

未。以言取之也 伊佐早本作以言取之(也)。是失言也

已二字。

八行本也作而。是皆趨利 竜谷本趨作入。^趨元良本趨作趨。

堂高数仞椳題数尺 伊佐早本数二字共作類。^数

無知之人 竜谷本人下有也字。按以上八行本係元修。〈章

高堂数仞 竜谷本同 各本高堂作堂高。振屋数尺 元良本

指其美 伊佐早本美作善。^美不知 伊佐早本作(不)知。

作椳題数尺。伊佐早本八行本作椳題数尺。奢汰之室 伊佐

○孟子言近至自任者輕

早本汰作大。八行本汰作太。不居此堂也 伊佐早本居作屋。^居

施德於天下也 伊佐早本無於字。不下帶 広隆寺本元良本

方一文 竜谷本無一字。田獵從車 八行本從作後。般于遊

八行本帶下有而道存焉四字。欲責人治 八行本治下有是字。

田也 伊佐早本遊作道。^遊

求人大重自任大輕 伊佐早本同。各本大二字共作太。〈章

在彼者 伊佐早本在志彼者。

指以妄 竜谷本妄作安。^妄

我所恥為也 広隆寺本元良本竜谷本恥作耻。〈章指〉遺咎

竜谷本咎作各。以賤 伊佐早本賤作賦。

○孟子曰養心至雖有存焉者寡矣

欲欲利也 元良本八行本作欲利欲也。少欲而亡者 広隆寺

本亡作已。先人德業 広隆寺本先作也。^先 晋樂鑿之類也 八

行本晋下有国字、樂作樂。元良本晋下有国字。不存者衆也

八行本無也字。〈章指〉招福濁者速禍 伊佐早本作招福

(濁者速禍)。(元良本) 禍作福。

○曾皙嗜羊棗至名所独也

曾子不忍食 伊佐早本作(曾)子不忍食。

惟念其親 八行本惟作唯。公孫丑徑之 広隆寺本怪作問。

八行本怪作恠。羊棗孰与膾炙美也 伊佐早本炙作樂。八行

本作羊棗与膾炙孰美也。故諱之也 八行本無之也二字。

〈章指〉情礼 (元良本) 礼字傍有校語謂理イ。竜谷本作

青理。

○万章問曰至斯無邪惡矣

吾党之士 元良本伊佐早本八行本之下有小字。

孔子扈陳 伊佐早本扈作在。按八行本陳字係補刻。思魯之

狂士也 伊佐早本魯作魯。八行本土下有者字。

狂猥 伊佐早本猥作猥、以下猥字皆做此。竜谷本猥作猥。

猥者 八行本猥作猥、以下猥字皆做此。

何如斯則可謂之狂也 元良本無則字。按八行本如斯二字係

補刻 師也僻 竜谷本僻作辟。

又不可得 大和本作又不可(得)。

不絜之士 仁和寺本元良本絜作潔。元良本注文絜字做此。

汙行 元良本伊佐早本汙作惡。是猥人 伊佐早本八行本同。

不入我室 広隆寺本作(不)入我室。

孔子之門 伊佐早本無之字。以其賊德故也 広隆寺本伊佐

早本其下有鄉原二字。

可謂之鄉原矣 竜谷本作可謂之鄉原(矣)。

鄉原之惡云何 広隆寺本惡下有之字。

古之人古之人 大和本作古之人(古之人)。

何以是嚶嚶 伊佐早本無是字。善人則可矣 八行本矣作以

。按八行本以字係補刻。

行之似廉絜衆皆悅之 広隆寺本作行之◎廉潔衆似皆悅之。元良

本仁和寺本絜作潔。

同於流俗之人 広隆寺本流作沐。廉絜 広隆寺本元良本絜

作潔。

恐其乱苗也惡佞恐其乱義也 広隆寺本作恐其乱◎惡佞恐本其乱

義也苗也。

似真而非真者 伊佐早本作似真（而）非真（者）。

庶民興斯 伊佐早本庶上有斯字。

皆孔子之所惡也 元良八行本無皆字。婦其常經 八行本其

作於。家給人足矣 伊佐早本給作給。〔章指〕孰敢不正也

伊佐早本作孰不敢不正也。

○孟子曰由堯至則亦無有乎爾

聖人一出 伊佐早本一作天。按八行本以下係元修。佐行之

伊佐早本佐上有輔字。仲虺居薛 伊佐早本薛作孽。太公望

伊佐早本太作大。有勇謀 広隆寺本元良本竜谷本勇謀作

謀勇。按八行本以上係元修。至今之世当孟子時也 広隆寺

本作至今者。今之世当孟子時也。猶可應備名世 元良本

作猶可兼備名世。此乃天不欲使我行道也 広隆寺本不作下。

歎而不怨之辭也 元良本歎作難。〔章指〕遇不遇 伊佐早本

作遇（不遇）。趣也 竜谷本無也字。

孟子卷第十四 竜谷本大和本作音注孟子卷之十四。八行本作孟

子註疏解經卷第十四下。

孟子篇叙

以仁義為上 身延本以字傍有校語謂印本無 曾西之所羞

（元良本）羞作嗟。身延本羞作羞。政莫美於反古之道滕文

公 広隆寺本作政奚。於反古之道滕文公美。莫作

奚。當明其行 身延本其作甚。故次以萬章問舜往于田号泣

也 身延本作故次。萬章問舜往于田号泣以也。在於情性

身延本在作在。主於心 広隆寺本主作至。元良本主作生。

璿璣 広隆寺本身延本璿作璇。七政分離（元良本）政作改。

故取其三時 広隆寺本（元良本）身延本其作於。成歲之要

時 広隆寺本成歲作盛。七政之紀 広隆寺本紀作化。論

曰 身延本作論。分章賦篇篇趣五千 身延本下篇下有

之字。論四百八十六章章次（元良本）無下章字。亦無所

法也 身延本作亦無所。崇宣先聖之指勢（元良本）

無宣字。具存乎斯文矣 広隆寺本無矣字。身延本存存。

広隆寺本斯文二字下低七格有孟子篇叙終五字。身延本次行

有孟子卷第十四六字。又低一格有從事郎試國子録臣陽孝本

校正十三字。